

～高知県の絶滅のおそれのある野生植物～
高知県レッドリスト（植物編）
２０２０年改訂版

高 知 県
林業振興・環境部環境共生課
令和２年３月

目 次

1. 高知県レッドリスト（植物編）改訂の背景と目的	1
2. 調査と評価の概要	
2-1 調査対象種選定基準	2
2-2 調査の優先順位	3
2-3 カテゴリーと判定基準について	4
2-4 注目種リストについて	8
3. 高知県レッドリスト（植物編）2020 年改訂版の概要	
3-1 概要	9
3-2 高知県レッドリスト（植物編）2010 年改訂版との比較と変更点について ..	10
4. 高知県レッドデータブック 2021 植物編の作成について	1
5. 改訂の体制	11
別紙1 「高知県レッドリスト（植物編）2020 年改訂版」	
カテゴリー順	12～29
50 音順	30～47
除外した種類のリスト	48～50
別紙2 注目種リスト	51

1. 高知県レッドリスト（植物編）改訂の背景と目的

高知県は、黒潮の影響と1,800mを越える山々により暖温帯から亜高山帯までの気候帯があり、多くの野生動植物が生息・生育し、生態系の中で命を育んでいる。多くの生き物の関係によって作られる生態系は、私たちに自然の恵みをもたらし、暮らしを支えてくれている。近年、人間活動による自然環境の改変やその逆の人間活動の縮小、外来種及び気候変動が、多くの野生動植物に負の影響を及ぼしている。また、ニホンジカなどの野生動物の極端な増加が、他の生物の絶滅の要因の一つになってきている。こうした状況の中、動植物への保護対策を適切に推進していくためには、野外での実態を正しく把握することが不可欠である。

これまでに、高知県は県内に生育する絶滅のおそれのある植物の実態をとりまとめた「高知県レッドデータブック〔植物編〕」を平成12（2000）年2月に発行した。その後、平成13（2001）年度から平成20（2008）年度にかけて行った高知県植物誌編纂事業によって得られた標本情報と調査ボランティアや有識者への聞き取りにより、平成23（2011）年1月に「高知県レッドリスト（植物編）2010年改訂版」を公表した。前回の改訂版の公表からおおよそ10年が経過し、評価が現状と合わなくなってきたため、今回「高知県レッドリスト（植物編）2020年改訂版」として評価を見直した。

レッドリストは、「高知県希少野生動植物保護条例」に基づく県指定希少野生動植物の選定、各種事業の計画作成時及び事業実施時において、守るべき種の保護・保全へ配慮するための基礎資料として、環境アセスメント等に活用されることを目的としたものである。また、広くその普及を図ることで、高知県の自然や絶滅のおそれのある野生植物の種の保存への理解を深めてもらい、ふるさとの自然を知る、守るための指標となることを期待して公表するものである。

2. 調査と評価の概要

2-1 調査対象種選定基準

下記の条件に該当する分類群を調査対象種とした。

① 学術的条件

1. 高知県植物誌調査で確認された種類及び高知県レッドリスト（植物編）2010年改訂版で EX、EW、CR、EN、VU、NT、DD に指定されている種類で、種、亜種または変種（分類学上亜種または変種に細分される場合は、原則として亜種、変種）を対象とする（例：変種のシコクトリアシショウマ *Astilbe thunbergii* var. *shikokiana* と基本変種のアカショウマ *A. thunbergii* var. *thunbergii* は個別に扱う）。
2. 品種及び雑種を除く。ただし、次の条件に当てはまるものは調査対象種とする。
 - a) 県内に品種に分類される分類群のみが分布しているもの（例：ホソバヤマブキソウ）。
 - b) 雑種については、次の条件に1つ以上当てはまるもの（例：クロガネシダモドキ、ヒメムカゴシダ）。
 - i) 推定片親が絶滅危惧種である。
 - ii) 推定片親が日本から絶滅している。
3. 今後の分類学的研究が必要であると考えられる種類。
4. 植物誌調査以降の野外調査、標本調査で新たに確認された日本在来の高知県新産種。
5. 新種。

② 生物学的条件

1. 近縁種との交雑が懸念される種類。
2. 現在は減少していないが、外来種の侵入などによって少なくなることが予測される種類。
3. 生活史の一部または全部で特殊な環境条件を必要とする種類。
4. 県内の主な生育地が、石灰岩地、蛇紋岩地、湿地、湖沼、河川、水路、塩湿地、海、草地といった特殊な立地に限られる種類。
5. 生育立地が脆弱、あるいは環境条件が極めて限定される種類（例：着生、菌従属栄養の植物）。
6. 確認可能時期が極端に短い、あるいは生育環境の特殊性のため、確認が極めて困難である種類。
7. シカの被食、あるいは食害による環境条件の変化により減少のおそれのある種類。

③ 分布域の条件

1. 県内における生育地面積あるいは分布地点が極めて限定される種類。
2. 過度の乱獲や採取、開発などの人為の影響によって、極端に少なくなるおそれがある種類。
3. かつては普通にみられたが、近年著しく減少している種類。
4. IUCN（国際自然保護連合）の VU の B 基準^{*1}に基づき、県内（面積 7,105km²）における高知県植物誌調査で判明している生育地点数（市町村数ではない）が 10 地点以下の種類。
5. 帰化、栽培、植栽の逸出でない種類。

④ 個体数の条件

1. IUCN の VU の D 基準^{*2}に基づき、県内に生育する開花個体（雌雄異株の場合、雄性株は含まない）が少なくとも 1,000 個体未満であると推定される種類。

※ 1・・・出現範囲が 20,000 km² 未満もしくは生育地面積が 2,000 km² 未満であると推定され、また次のうち 2 つ以上の兆候が見られる場合。

（ア）生育地が過度に分断されているか、10 以下の地点でしか生育が確認されていない。

（イ）出現範囲、生育地面積、成熟個体数等について、継続的な減少が予測される。

（ウ）出現範囲、生育地面積、成熟個体数等に極度の減少が見られる。

※ 2・・・個体群が極めて小さく、成熟個体数が 1,000 未満と推定されるか、生育地面積あるいは分布地点が極めて限定されている場合。

2-2 調査の優先順位

調査対象種選定基準に従い、初版本作成時にまとめられた情報に、新しい情報を追加して調査対象種リストを作成した。追加した新しい情報は、平成13（2001）年から平成20（2008）年の期間に行われた高知県植物誌編纂事業の標本情報、徳島県立博物館の高知県産の標本情報、首都大学東京牧野標本館の標本情報、東北大学標本館の標本情報（一部）、図鑑・論文等の知見である。これらのデータを取りまとめたところ、条件を満たす情報は約2万件にものぼり、2年間では全ての地点での確認調査や情報そのものを全て精査することは不可能であると考えられた。そこで、絶滅危惧種及び準絶滅危惧種、新種、新産種を対象に、種ごとに調査の優先順位をつけることにした。次の条件、①直近の絶滅危惧評価（高知県RL2010、環境省RDB2014）、②生活型による種の脆弱性、③生活環境の不安定度、④個体と集団の数、⑤加味すべき要因（環境に因らない事項）として採取圧とシカの食害、について点数化し、種ごとに評価した（表2.1）。

表2.1 調査優先順位点数表

① 直近の絶滅危惧評価

	高知県 RL2010	環境省 RDB2014
EX（再発見種）	20	—
CR	8	6
EN	6	4
VU	4	2
NT	1	1
新産・新種	20	

② 生活型による種の脆弱性

1	地上生の木本・低木
2	地上生の多年生草本、常緑のシダ植物
3	地上生の多年生季節性シダ植物、水生の木本・低木、寄生生の木本・低木
4	地上生の一回繁殖生の多年生草本、地上生の一年生草本、水生の多年生草本、菌従属栄養の多年生草本、寄生生の多年生草本
5	水生の一年生草本、菌従属栄養の一年生草本、寄生生の一年生草本

③ 生育環境の不安定度

1	高標高域の森林、崖地、無人の離島など
2	低標高域の山地の常緑樹林の林内、林縁
3	二次林、人工林、竹林の林内、林縁
4	水田、法面（農地、山地）
5	水湿地、海岸、草地、開放地

④ 個体と集団の数

1	地域は限られるが、集団に含まれる個体数が非常に多い（100以上）、面積が広い
2	点々とある：1地域あたりの個体数が50～100
3	点々とある：1地域あたりの個体数が10～50
4	点々とある：1地域あたりの個体数が10未満
5	1箇所のみ（個体数の多少は考慮しない）

⑤ 加味すべき要因（環境に因らない事項）

採取圧

1	中
3	大
5	特大

シカの食害

1	シカ食害のある地域に生育する（影響は分からない）
2	シカの食害を受けないが、環境の変化で影響を受ける
3	食害される

2-3 カテゴリーと判定基準について

判定基準については、基本的に IUCN（国際自然保護連合）が発表している Red List でも使用されている「IUCN レッドリストカテゴリーと基準（IUCN Red List Categories and Criteria: Version 3.1.）」（2001）を使用することとした。しかし、数値基準による評価が可能となるようなデータが得られない種も多いことから、絶滅危惧種及び準絶滅危惧種に関しては環境省レッドリストのカテゴリー基準と同様に、「定性的要件」と「定量的要件（数値基準）」を併用した。数値基準に基づいて評価が可能な種については原則「定量的要件」を適用することにした。詳細は表 2.2 に示す通りである。なお、「定性的要件」と「定量的要件」は、必ずしも厳密な対応関係にあるわけではない。

表 2.2 カテゴリー区分及び基本概念と判定基準

区分及び基本概念		判定基準	
Extinct (EX) 絶滅		① 最後の個体が死亡したことに疑いの余地がない。 ② 分類群の生活史と生活型に合った時間とその範囲を超えた期間、適切な時期（日、季節、年）に、既知の生育地と予想される生育地の両方あるいはどちらか一方で行われた徹底的な調査によって、個体が記録できなかった場合。 ③ 信頼できる生育の情報が得られなくなって 50 年が経過した場合。	
Extinct of the Wild (EW) 野生絶滅		分類群の生活史と生活型に合った時間とその範囲を超えた期間、適切な時期（日、季節、年）に、既知の生育地と予想される生育地の両方あるいはどちらか一方で行われた徹底的な調査によって、個体が記録できなかった場合で、栽培下あるいは過去の分布域の明らかに外側のみで生存している場合。	
絶滅危惧 THREATENED	Critically Endangered+ Endangered (絶滅危惧 I 類)	定性的要件	次のいずれかに該当する種 ① 既知のすべての個体群で、危機的水準にまで減少している。 ② 既知のすべての生育地で、生育条件が著しく悪化している。 ③ 既知のすべての個体群がその再生産能力を上回る採取圧にさらされている。 ④ ほとんどの分布域に交雑のおそれのある別種が侵入している。 ⑤ それほど遠くない過去（30 年～50 年）の生育記録以後確認情報がなく、その後信頼すべき調査が行われていないため、絶滅したかどうかの判断が困難なもの。
	Critically Endangered (CR) 深刻な危機 野生での絶滅の危険性が極めて高いもの (A 類)	定量的要件	A. 以下のいずれかに基づく個体群サイズの「縮小」 A1. (a)～(e)のいずれか（特定できること）に基づき、過去 10 年間あるいは 3 世代（そのどちらか長い方）の間に、個体群サイズが 90%以上縮小していることが観察、推定、推量、あるいは推論され、縮小の原因が明らかに可逆的で、かつ理解されており、かつなくなっている場合。 A2. (a)～(e)のいずれか（特定できること）に基づき、過去 10 年間あるいは 3 世代（そのどちらか長い方）の間に、個体群サイズが 80%以上縮小していることが観察、推定、推量、あるいは推論され、縮小やその原因がなくなっていない、理解されていない、あるいは可逆的でないような場合。 A3. (b)～(e)のいずれか（特定できること）に基づき、次の 10 年間あるいは 3 世代（そのどちらか長い方で、最長 100 年まで）の間に、個体群サイズが 80%以上縮小することが予期、あるいは推論された場合。 A4. (a)～(e)のいずれか（特定できること）に基づき、過去と未来の両方を含む、10 年間あるいは 3 世代（そのどちらか長い方で、将来最長 100 年まで）の間に、個体群サイズが 80%以上縮小していることが観察、推定、推量、あるいは推論され、縮小やその原因がなくなっていない、理解されていない、あるいは可逆的でないような場合。 B. 出現範囲もしくは占有面積のいずれか、あるいは両方の形で表わされる地理的範囲 B1. 出現範囲が 100km ² 未満と推定され、かつ下記の a～c のうち少なくとも 2 つに該当する場合。 B2. 占有面積が 10km ² 未満と推定され、かつ下記の a～c のうち少なくとも 2 つに該当する場合。 a. 個体群が強度に分断されている場合、あるいは知られている生育地が 1 地点のみの場合。 b. (i) ～ (v) のいずれかにおいて連続的減少が観察、推量、あるいは予期された場合。 c. (i) ～ (iv) のいずれかにおいて極度の変動がある場合。 (i) 出現範囲 (ii) 占有面積 (iii) 生育環境の面積、大きさ、あるいは質 (iv) 分布地点あるいは下位個体群の数 (v) 成熟個体の数 (a) 直接の観察 (A3 を除く) (b) 当該分類群にとって適切な個体数レベルをあらわす指数 (c) 出現範囲、占有面積、あるいは生育環境の質のいずれか（あるいはすべて）の減少 (d) 実際の、あるいは想定される採取のレベル (e) 導入分類群、雑種形成、病原体、汚染物質、競争者あるいは寄生者の影響

区分及び基本概念		判定基準	
絶滅危惧 THREATENED	Critically Endangered (CR) 深刻な危機 野生での絶滅の危険性が極めて高いもの (A 類)	定量的要件	C. 成熟個体が 250 未満と推定され、かつ以下のいずれかに該当する場合 C1 連続的に減少していると推定され、3 年間あるいは 1 世代（そのどちらか長い方で、将来最長 100 年まで）の減少率が少なくとも 25%である。 C2 成熟個体の数の連続的減少が観察、予期、あるいは推論されており、かつ以下の a～b の少なくとも 1 つに該当する場合。 a. 個体群構造が以下の 1 つに該当する。 (i) 50 以上の成熟個体を含んでいると推定される下位個体群はない。 (ii) 1 つの下位個体群中に 90%以上の成熟個体が含まれる。 b. 成熟個体数の極度の変動。 D. 個体群サイズが成熟個体 50 未満と推定される場合。 E. 野外における絶滅確率の定量的予測値が、10 年間あるいは 3 世代（そのどちらか長い方で、最長 100 年まで）において 50%以上の場合。
	Endangered (EN) 危機 野生での絶滅の危険性が非常に高いもの	定量的要件	A. 以下のいずれかにもとづく個体群サイズの「縮小」 A1. (a)～(e)のいずれか（特定できること）に基づき、過去 10 年間あるいは 3 世代（そのどちらか長い方）の間に、個体群サイズが 70%以上縮小していることが観察、推定、推量、あるいは推論され、縮小の原因が明らかに可逆的で、かつ理解されており、かつなくなっている場合。 A2. (a)～(e)のいずれか（特定できること）に基づき、過去 10 年間あるいは 3 世代（そのどちらか長い方）の間に、個体群サイズが 50%以上縮小していることが観察、推定、推量、あるいは推論され、縮小やその原因がなくなっていない、理解されていない、あるいは可逆的でないような場合。 A3. (b)～(e)のいずれか（特定できること）に基づき、次の 10 年間あるいは 3 世代（そのどちらか長い方で、最長 100 年まで）の間に、個体群サイズが 50%以上縮小することが予期、あるいは推論された場合。 A4. (a)～(e)のいずれか（特定できること）に基づき、過去と未来の両方を含む、10 年間あるいは 3 世代（そのどちらか長い方で、将来最長 100 年まで）の間に、個体群サイズが 50%以上縮小していることが観察、推定、推量、あるいは推論され、縮小やその原因がなくなっていない、理解されていない、あるいは可逆的でないような場合。 (a) 直接の観察 (A3 を除く) (b) 当該分類群にとって適切な個体数レベルをあらわす指数 (c) 出現範囲、占有面積、あるいは生育環境の質のいずれか（あるいはすべて）の減少 (d) 実際の、あるいは想定される採取のレベル (e) 導入分類群、雑種形成、病原体、汚染物質、競争者あるいは寄生者の影響 B. 出現範囲もしくは占有面積のいずれか、あるいは両方の形で表わされる地理的範囲 B1. 出現範囲が 5,000km²未満と推定され、かつ下記の a～c のうち少なくとも 2 つに該当する場合。 B2. 占有面積が 500km²未満と推定され、かつ下記の a～c のうち少なくとも 2 つに該当する場合。 a. 個体群が強度に分断されている、あるいは知られている生育地が 5 地点のみの場合。 b. (i) ～ (v) のいずれかにおいて連続的減少が観察、推量、あるいは予期された場合。 c. (i) ～ (iv) のいずれかにおいて極度の変動がある場合。 (i) 出現範囲 (ii) 占有面積 (iii) 生育環境の面積、大きさ、あるいは質 (iv) 分布地点あるいは下位個体群の数 (v) 成熟個体の数 C. 成熟個体が 2,500 未満と推定され、かつ以下のいずれかに該当する場合。 C1. 連続的に減少していると推定され、5 年間あるいは 2 世代（そのどちらか長い方で、将来最長 100 年まで）の減少率が少なくとも 20%である。 C2. 成熟個体の数の連続的減少が観察、予期、あるいは推論されており、かつ以下の a～b の少なくとも 1 つに該当する場合。 a. 個体群構造が以下の 1 つに該当する。 (i) 250 以上の成熟個体を含んでいると推定される下位個体群はない。 (ii) 1 つの下位個体群中に 95%以上の成熟個体が含まれる。 b. 成熟個体数の極度の変動。 D. 個体群サイズが成熟個体 250 未満と推定される場合。 E. 野外における絶滅確率の定量的予測値が、20 年間あるいは 5 世代（そのどちらか長い方で、最長 100 年まで）において 20%以上の場合。

区分及び基本概念		判定基準	
絶滅危惧 THREATENED	Vulnerable (VU) 危急 野生での絶滅の危険性が高いものの (絶滅危惧II類)	定性的要件	次のいずれかに該当する種 ①大部分の個体群で個体数が大幅に減少している場合。 ②大部分の生育地で生育条件が明らかに悪化しつつある。 ③大部分の個体群がその再生産能力を上回る採取圧にさらされている。 ④分布域の相当部分に交雑可能な別種が侵入している。
		定量的要件	A. 以下のいずれかに基づく個体群サイズの「縮小」 A1. (a)～(e)のいずれか（特定できること）に基づき、過去10年間あるいは3世代（そのどちらか長い方）の間に、個体群サイズが50%以上縮小していることが観察、推定、推量、あるいは推論され、縮小の原因が明らかに可逆的で、かつ理解されており、かつなくなっている場合 A2. (a)～(e)のいずれか（特定できること）に基づき、過去10年間あるいは3世代（そのどちらか長い方）の間に、個体群サイズが30%以上縮小していることが観察、推定、推量、あるいは推論され、縮小やその原因がなくなっていない、理解されていない、あるいは可逆的でないような場合。 A3. (b)～(e)のいずれか（特定できること）に基づき、次の10年間あるいは3世代（そのどちらか長い方で、最長100年まで）の間に、個体群サイズが30%以上縮小することが予期、あるいは推論された場合。 A4. (a)～(e)のいずれか（特定できること）に基づき、過去と未来の両方を含む、10年間あるいは3世代（そのどちらか長い方で、将来最長100年まで）の間に、個体群サイズが30%以上縮小していることが観察、推定、推量、あるいは推論され、縮小やその原因がなくなっていない、理解されていない、あるいは可逆的でないような場合。 B. 出現範囲もしくは占有面積のいずれか、あるいは両方の形で表わされる地理的範囲 B1. 出現範囲が20,000km²未満と推定され、かつ下記のa～cのうち少なくとも2つに該当する場合。 B2. 占有面積が2,000km²未満と推定され、かつ下記のa～cのうち少なくとも2つに該当する場合。 a. 個体群が強度に分断されている、あるいは知られている生育地が10地点のみの場合。 b. (i) ～ (v) のいずれかにおいて連続的減少が観察、推量、あるいは予期された場合。 c. (i) ～ (iv) のいずれかにおいて極度の変動がある場合。 (i) 出現範囲 (ii) 占有面積 (iii) 生育環境の面積、大きさ、あるいは質 (iv) 分布地点あるいは下位個体群の数 (v) 成熟個体の数 C. 成熟個体が10,000未満と推定され、かつ以下のいずれかに該当する場合。 C1. 連続的に減少していると推定され、10年間あるいは3世代（そのどちらか長い方で、将来最長100年まで）の減少率が少なくとも10%である。 C2. 成熟個体の数の連続的減少が観察、予期、あるいは推論されており、かつ以下のa～bの少なくとも1つに該当する場合。 a. 個体群構造が以下の1つに該当する。 (i) 1,000以上の成熟個体を含んでいると推定される下位個体群はない。 (ii) 1つの下位個体群中にすべての成熟個体が含まれる。 b. 成熟個体数の極度の変動。 D. 個体群が非常に小さく、あるいは限定されており、以下のどれかに合致する。 D1. 個体群サイズが成熟個体1,000未満と推定される場合。 D2. 危急 (VU) カテゴリーのみに適用。個体群が非常に限定された占有面積（典型的には20km²以下）がある、もしくは少ない地点の数（典型的には5以下）。 このカテゴリーの種類の個体群はある将来の非常に短い期間に人間活動や偶発的な出来事の影響を受けやすいため、非常に短い期間で「深刻な危機 CR」や「絶滅 EX」になりうる。 E. 野外における絶滅確率の定量的予測値が、100年以内に10%以上の場合。
			(a) 直接の観察（A3を除く） (b) 当該分類群にとって適切な個体数レベルをあらわす指数 (c) ③出現範囲、占有面積、あるいは生育環境の質のいずれか（あるいはすべて）の減少 (d) 実際の、あるいは想定される採取のレベル (e) 導入分類群、雑種形成、病原体、汚染物質、競争者あるいは寄生者の影響

区分及び基本概念	判定基準	
Near Threatened (NT) 準絶滅危惧	定性的要件	生育状況の推移から見て、種の存続への圧迫が強まっていると判断されるもの。具体的には、分布域の一部において、次のいずれかの傾向が顕著であり、今後さらに進行するおそれがあるもの。 a) 個体数が減少している。 b) 生育条件が悪化している。 c) 過度の採取圧による圧迫を受けている。 d) 交雑可能な別種が侵入している。
	定量的要件	適用要件 ・ 個体群が過去 3 世代で推定 20～25%減少した。 ・ VU の（出現範囲 <20,000 km² と占有範囲 <2,000 km² の両方あるいは一方）基準 B の面積要件を満たし、減少しているが、個体群は極端に断片化されておらず、10 以上の場所で発生し、極端な変動はない。 ・ VU（出現範囲 <20,000 km² と占有範囲 <2,000 km² の両方あるいは一方）基準 B の面積要件を満たし、ひどく断片化されているが、個体群が減少しておらず、10 以上の場所で発生し、極端な変動はない。 ・ 分類群は減少しており、10 カ所で発生するが、出現範囲は 30,000km²、占有範囲は 3,000 km² で、これは不確実な推定値である。 ・ 分類群は減少しており、断片化しているが、出現範囲は 30,000km²、占有範囲は 3,000 km² で、これは不確実な推定値である。 ・ 分類群は減少しており、断片化しているが、出現範囲は 22,000 km²、占有範囲は 3,000 km² で、非常に高い推定値である。 ・ 個体群は過去 3 世代で推定 10%減少し、減少を続けており、成熟個体は約 15,000 である。 ・ 分類群は、約 15,000 が単一の下位個体群に存在し、減少している。 ・ 個体群には約 1,500 の成熟個体がいる。 ・ 個体群サイズの最善の推定値は 2,000 の成熟個体であるが、この推定値は非常に不確実であり、少なくとも 1,000 の成熟個体を除外することはできない。 ・ 分類群は 3 つの場所に存在し、12km² の面積を占めている。個体群は収穫されているが、減少していない。現在の脅威はないが、種の減少を引き起こす可能性のある出来事があるものの、短期間に絶滅危惧種になる可能性は低い。 ・ 最近 3 世代で個体群は 40%減少したが、減少は止まっており、その減少の原因は理解されている。
	除外要件	・ 個体群は過去 3 世代で推定 10%減少し、成熟個体数は 20,000 を超えている。 ・ 個体群は変動の一部として推定 30%減少した。 ・ CR（出現範囲 <100km² と占有範囲 <10km² の両方あるいは一方）の基準 B の要件を満たしているが、減少しておらず、断片化が深刻ではなく、極端な変動もなく、明らかな脅威もない。 ・ 分類群は長生きで成長が遅いが、基準 A～E を満たしていない。 ・ 個体群には 2,000 以上の成熟個体がいる。 ・ 分類群は 3 つの場所に存在し、30km² の面積を占めている。個体群は減少していない。現在の脅威はなく、短期間に絶滅危惧種になる可能性は非常に低い。
Data Deficient (DD) 情報不足	適用要件	・ 全ての評価が実施されており、5 つの基準のそれぞれが適用できない理由がある。 ・ 地点名がない、あるいは非常に不確かな地域の情報を持つ、1 つあるいはそれ以上の標本が知られてはいるが、置かれている状態についてさらなる推論ができない。 ・ 種のレベルとして認めることができる複数の分類群を含むと広く受け入れられており、レッドリスト種別及び基準を適用するには（直接的または間接的な）情報が不十分。 ・ データが非常に不確かです CR～NT にはあてはまらないか CR となるか分からない場合。 ・ その分布と個体群の状態の両方あるいはどちらか一方に基づいて、絶滅のリスクを直接的または間接的に評価するための情報が不十分。
	除外要件	・ よく知られていない分類群（その生育地やその他の原因因子の悪化の情報に基づいてカテゴリーを割り当てなければならない）。 ・ 分類学的に不確実性をもつ分類群。

2-4 注目種リストについて

平成 29（2017）年に公表された高知県レッドリスト（動物編）2017 改訂版から新たに設けた。本県では身近に見られている野生生物が、全国的には希少であったり、特徴のある分布や生育の状況であったりすることがある。そうした種類について県民に広く理解していただくとともに、生物多様性の保全が推進され、豊かな自然が次世代につながることを期待するものである。対象種は、本県では「絶滅」から「情報不足」までの各カテゴリーのいずれにも該当しない種類で、具体的要件は表 2.3 に示す通りである。

表 2.3 注目種の具体的要件

区分	具体的要件
高知県注目種	① 本県にのみ生育している。 ② 本県の生育地が北限や南限等となっている。 ③ 本県では普通であるが、全国的には希少である。 ④ 本県の生育地が他の生育地から地理的に隔離されている。

3. 高知県レッドリスト（植物編）2020 年改訂版の概要

3-1 概要

高知県レッドリスト（植物編）2020 年改訂版は、別紙1 のとおりとした。また、今回のレッドリスト見直しにより選定した種の内訳は次のとおりである。

表 3.1 レッドリストカテゴリー別集計表

		絶滅	野生絶滅	絶滅危惧			準絶滅危惧	情報不足	合計
		EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
高知県レッド データブック 〔植物編〕 2000	シダ植物	3	1	51	34	13	8	8	118
	裸子植物	0	0	0	0	6	0	0	6
	被子植物	36	0	240	164	118	62	31	651
	小計	39	1	291	198	137	70	39	775
高知県 レッドリスト (植物編) 2010 年改訂版	シダ植物	4	1	59	25	31	16	14	150
	裸子植物	0	0	0	0	7	0	0	7
	被子植物	42	0	224	161	176	82	104	789
	小計	46	1	283	186	214	98	118	946
高知県 レッドリスト (植物編) 2020 年改訂版	シダ植物	5	1	50	29	31	16	8	140
	裸子植物	0	0	1	0	5	0	0	6
	被子植物	38	1	192	201	163	77	41	713
	小計	43	2	243	230	199	93	49	859
RL2010 からの増減	シダ植物	1	0	-9	4	0	0	-6	-10
	裸子植物	0	0	1	0	-2	0	0	-1
	被子植物	-4	1	-32	40	-13	-5	-63	-76
	小計	-3	1	-40	44	-15	-5	-69	-87

3-2 高知県レッドリスト（植物編）2010 年改訂版との比較と変更点について

平成 23（2011）年のレッドリスト（以降、RL2010 とする）の改訂では現地調査を行わなかったが、今回のレッドリスト（以降、RL2020 とする）の改訂では現地調査を 2 年半実施し、61 名の調査員とそのほか約 120 名の協力者により延べ 4,400 件ほどの情報を収集した。現地調査では、個体数と生育環境の記録のほか、GPS データの取得、写真（遠景、近景）の撮影、可能な場合証拠標本の採集を行った。証拠となる標本はラベルに調査票の番号を記載し、調査データと対応するようにした。証拠標本は、調査対象種の確認のためだけでなく将来分類群が変更になった場合に重要な役割を果たす。

本改訂で、RL2010 よりランクが下がった種類の中には、調査員の努力により調査精度が上がり、確認された生育地点と個体数が増加したものがある。調査を行うにあたり、種類に優先順位はつけたものの、調査対象種とする種類が過去に確認されていた全地点について調査するのは不可能であった。今後、調査の精度が上がり、情報が集まれば、ランクが下がる種類が増える可能性がある。

RL2010 以降、絶滅種となっていた種類で再確認されたものは、シダ植物で 1 種類、種子植物で 6 種類あった。そのうちツクシキオトギリは、故山脇哲臣氏より 2015 年に栽培株が牧野植物園に寄贈され、栽培中であるため野生絶滅となった。新たに絶滅種となったのは、表 2.2 の絶滅（EX）の要件を満たした 4 種類、イヌタマシダ、ヒロハヒメウラボシ、トサノコゴメグサ及びタカサゴソウである。結果として、絶滅種は 46 種類から 43 種類となった。

深刻な危機（CR：絶滅危惧ⅠA 類）は、283 種類から 243 種類となり、全体として 40 種類減少した。危機（EN：絶滅危惧ⅠB 類）は、186 種類から 230 種類となり、全体として 44 種類増加した。危機（EN）のランクの種類が増加したのは、他のランクに変更になった種類よりも、深刻な危機（CR）からランクが下がったものと危急（VU）からランクが上がったものが多かったためである。これは、現状を把握できた地点が増えた結果である。危急（VU：絶滅危惧Ⅱ類）は、214 種類から 199 種類となり、全体として 15 種類減少した。準絶滅危惧（NT）は、98 種類から 93 種類となり、全体として 5 種類減少した。情報不足（DD）は、118 種類から 49 種類となり、全体として 69 種類減少した。情報不足（DD）種のうち、危機の状況が明らかになった種子植物 22 種が絶滅危惧ⅠA 類になり、シダ植物で 8 種類、種子植物で 43 種類が除外となった。ランク変更の理由、和名を変更した分類群については、別紙 1 のリストの「変更の理由等」に示した。それ以外の RL2010 にあって RL2020 の絶滅危惧種等になく、除外種リストにもない“和名”および分類群の変更状況については、「除外した種類のリスト」の後の注釈に示した。

そのほか注目種として、種子植物で 11 種類を選定した。その中にはタキユリやシコクフクジュソウのように地域の保護活動が実を結んで個体数が増加し、準絶滅危惧から外れたものも含まれる。

カテゴリー順リストの科の配列は、シダ植物は PPG I 分類体系に、裸子植物は Christenhusz ら（2011）に、被子植物は APG IV 分類体系に従い、それ以下は学名のアルファベット順である。科の和名、一部の和名と学名については下記の文献に従って変更した。

【科の順番についての参考文献】

- Angiosperm Phylogeny Group (2016) An update of the Angiosperm Phylogeny Group classification for the orders and families of flowering plants: APG IV. *Botanical Journal of the Linnean Society* **181**: 1-20
Christenhusz M. J. M., Reveal J. L., Farjon A., Gardner M. F., Mill R. R., Chase M. W. (2011) A new classification and linear sequence of extant gymnosperms. *Phytotaxa* **19**: 55-70
The Pteridophyte Phylogeny Group (2016) A community-derived classification for extant lycophytes and ferns. *Journal of Systematics and Evolution* **54**: 563-603

【学名・科の和名・一部の学名の参考文献】

- 海老原淳（2016）日本産シダ植物標準図鑑Ⅰ. 学研
海老原淳（2017）日本産シダ植物標準図鑑Ⅱ. 学研
大橋広好・門田裕一・邑田仁・米倉浩司・木原浩（編）（2015）改訂新版日本の野生植物 1. 平凡社
大橋広好・門田裕一・邑田仁・米倉浩司・木原浩（編）（2016）改訂新版日本の野生植物 2. 平凡社
大橋広好・門田裕一・邑田仁・米倉浩司・木原浩（編）（2016）改訂新版日本の野生植物 3. 平凡社
大橋広好・門田裕一・邑田仁・米倉浩司・木原浩（編）（2016）改訂新版日本の野生植物 4. 平凡社
大橋広好・門田裕一・邑田仁・米倉浩司・木原浩（編）（2017）改訂新版日本の野生植物 5. 平凡社
高知県・財団法人高知県牧野記念財団（編）（2009）高知県植物誌. 高知県
米倉浩司（2019）新維管束植物分類表. 北隆館
米倉浩司・梶田忠（2003-）「BG Plants 和名－学名インデックス」（YList）, <http://ylist.info>（2020 年 2 月 5 日）

4. 高知県レッドデータブック 2021 植物編の作成について

レッドリスト掲載種について、種ごとに解説を付したレッドデータブックの作成作業を行い、2021 年中に発行する予定である。

5. 改訂の体制

高知県レッドデータブック（植物編）改訂委員会

（敬称略。委員、アドバイザーは 50 音順。所属は令和 2 年 3 月末現在。）

委員長	石川 慎吾	高知大学 名誉教授、高知県環境審議会委員
副委員長	鴻上 泰	土佐植物研究会 会長、高知県立牧野植物園 解説員
委員	坂本 彰	高知県自然観察指導員連絡会 代表世話人、三嶺の森をまもるみんなの会 副代表
	比嘉 基紀	高知大学教育研究部自然科学系理工学部門 講師
	細川 公子	土佐植物研究会 副会長、高知県環境審議会委員
	前田 綾子	高知県立牧野植物園 研究員

アドバイザー	茨木 靖	徳島県立博物館 学芸員
	海老原 淳	独立行政法人国立科学博物館植物研究部 研究主幹
	矢野 興一	岡山理科大学生物地球学部生物地球学科 講師
	米倉 浩司	一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究センター 研究員

高知県レッドリスト（植物編）2020 年改訂版（カテゴリー順）

※表の見出しの数字、2020 は RL2020、2010 は RL2010、2000 は RDB2000 を示す。

絶滅（EX）：43 種類

No.	和 名	学 名		高知県			環境省 2020	変更の理由等
				2020	2010	2000		
1	オオバショウマ	Thelypteris quelpaertensis	ヒメシダ	EX	EX			
2	イヌタマシダ	Dryopteris hayatae	オシダ	EX	CR	CR		標本(確認・同定済)が採集されてから 50 年が経過した。
3	アスカイノデ	Polystichum fibrillosopaleaceum	オシダ	EX	EX	EX		
4	クラガリシダ	Lepisorus miyoshianus	ウラボシ	EX	EX	CR	EN	
5	ヒロハヒメウラボシ	Oreogrammitis nipponica	ウラボシ	EX	CR	DD	CR	標本(確認・同定済)が採集されてから 50 年が経過した。
6	マルハハモダカ	Caldesia pamassiiifolia	オモダカ	EX	EX	EX	VU	
7	イバラモ	Najas marina	トチカガミ	EX	EX	DD		
8	サギソウ	Pecteilis radiata	ラン	EX	EX	EX	NT	
9	ショウキスイセン	Lycoris traubii	ヒガンバナ	EX	EX	EX		
10	ミズアオイ	Monochoria korsakowii	ミズアオイ	EX	EX		NT	
11	ヒロハノコウガイゼキショウ	Juncus diastrophanthus	イグサ	EX	EX	DD		
12	クロカワズスゲ	Carex arenicola	カヤツリグサ	EX	EX	EX		
13	ケヒエスゲ	Carex mayebarana	カヤツリグサ	EX	EX	EN		
14	アワボスゲ	Carex nipposinica	カヤツリグサ	EX	EX	EX		
15	ボウキガヤツリ	Cyperus distans	カヤツリグサ	EX	EX	EX	CR	
16	オノエテンツキ	Fimbristylis fusca	カヤツリグサ	EX	EX	EX	VU	
17	メアゼテンツキ	Fimbristylis velata	カヤツリグサ	EX	EX	DD		
18	ヒナザサ	Coelachne japonica	イネ	EX	EX	EX	NT	
19	ヒゲシバ	Sporobolus japonicus	イネ	EX	EX	EN		
20	ヒキノカサ	Ranunculus extorris var. extorris	キンボウゲ	EX	EX		VU	
21	ヨコグラブドウ	Vitis saccharifera var. yokogurana	ブドウ	EX	EX	EX		
22	カワラサイコ	Potentilla chinensis	バラ	EX	EX	CR		
23	ヒメキカシグサ	Rotala elatinomorpha	ミシハギ	EX	EX	EX	CR	
24	ボンテンカ	Urena lobata subsp. sinuata	アオイ	EX	EX	EX		
25	ヤナギヌカボ	Persicaria foliosa var. paludicola	タデ	EX	EX		VU	
26	ヒゲネワチガイソウ	Pseudostellaria palibiniana	ナデシコ	EX	EX	CR		
27	ハウンボク	Styrax obassia	エゴノキ	EX	EX	CR		
28	オオバヨシバムグラ	Galium kamtschaticum var. acutifolium	アカネ	EX	EX			
29	マメダオシ	Cuscuta australis	ヒルガオ	EX	EX	VU	CR	
30	ノタヌキモ	Utricularia aurea	タヌキモ	EX	EX	EX	VU	
31	ヒメシロネ	Lycopus maackianus	シソ	EX	EX			
32	ヒメキセフタ	Matsumurella tuberifera	シソ	EX	EX	EX	VU	
33	ナミキソウ	Scutellaria strigillosa	シソ	EX	EX	EX		
34	トサノコメグサ	Euphrasia insignis subsp. insignis var. makinoi	ハマウツボ	EX	CR	CR		標本(確認・同定済)が採集されてから 50 年が経過した。
35	マムコナ	Melampyrum roseum var. japonicum	ハマウツボ	EX	EX			
36	ヒメシオン	Aster fastigiatus	キク	EX	EX	CR		
37	モリアザミ	Cirsium dipsacolepis	キク	EX	EX	CR		
38	ブクヨウサイ	Dichrocephala integrifolia	キク	EX	EX	EX		
39	タカサゴソウ	Ixeris chinensis subsp. strigosa	キク	EX	CR	CR	VU	標本(確認・同定済)が採集されてから 50 年が経過した。
40	オナモミ	Xanthium strumarium subsp. sibiricum	キク	EX	EX		VU	
41	ホタルサイコ	Bupleurum longiradiatum var. breviradiatum	ゼリ	EX	EX	CR		
42	カノツメソウ	Spuriopimpinella calycina	ゼリ	EX	EX	CR		
43	ヒロハヌマゼリ	Sium suave var. ovatum	ゼリ	EX	EX			

野生絶滅（EW）：2 種類

No.	和 名	学 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
				2020	2010	2000		
1	オオタニワタリ	Asplenium antiquum	チャセンシダ	EW	EW	EW	VU	
2	ツキヌキオトギリ	Hypericum sampsonii	オトギリソウ	EW	EX	EX	EN	県内産の栽培されている個体が確認された。

深刻な危機 (CR : 絶滅危惧 IA 類) : 243 種類

No.	和 名	学 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
				2020	2010	2000		
1	ナンカクラン	<i>Phlegmarius hamiltonii</i>	ヒカゲノカズラ	CR	CR	EN		
2	ヒモラン	<i>Phlegmarius sieboldii</i>	ヒカゲノカズラ	CR	CR	CR	EN	
3	ミズニラ	<i>Isoetes japonica</i>	ミズニラ	CR	CR		NT	
4	オニクラマゴケ	<i>Selaginella doederleinii</i>	イワヒバ	CR	CR	CR		
5	ヤマクラマゴケ	<i>Selaginella tamamontana</i>	イワヒバ	CR	CR			
6	エゾフユノハナワラビ	<i>Botrychium multifidum</i> var. <i>robustum</i>	ハナヤスリ	CR				RL2010 以降に新たに標本採集・同定された。
7	ナガホノナツノハナワラビ	<i>Botrychium strictum</i>	ハナヤスリ	CR	CR	CR		
8	ハマハナヤスリ	<i>Ophioglossum thermale</i>	ハナヤスリ	CR	CR	CR		
9	チチブホログケ	<i>Crepidomanes schmidtianum</i> var. <i>schmidtianum</i>	コケシノブ	CR	EN	EN		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
10	リュウキュウコケシノブ	<i>Hymenophyllum niukuense</i>	コケシノブ	CR	EX	EX		再発見 標本採集・同定された。
11	デンジソウ	<i>Marsilea quadrifolia</i>	デンジソウ	CR	CR	CR	VU	
12	サンショウモ	<i>Salvinia natans</i>	サンショウモ	CR	CR	CR	VU	
13	ヘゴ	<i>Cyathea spinulosa</i>	ヘゴ	CR	CR	EX		
14	シンエダウチホングウシダ	<i>Lindsaea orbiculata</i> var. <i>commixta</i>	ホングウシダ	CR	EN	EN		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
15	サイゴクホングウシダ	<i>Osmolindsaea japonica</i>	ホングウシダ	CR	CR	EN		
16	ホングウシダ	<i>Osmolindsaea odorata</i>	ホングウシダ	CR	CR			
17	コノミネシダ	<i>Histiopteris incisa</i>	コバノイシカガマ	CR	CR			
18	ウスノイシカガマ	<i>Microlepia subtrigosa</i>	コバノイシカガマ	CR	CR	CR	NT	
19	ヒメムカゴシダ	<i>Monachosorum</i> × <i>arakii</i>	コバノイシカガマ	CR	CR	CR	EN	
20	キドイノモトソウ	<i>Pteris kidoi</i>	イノモトソウ	CR	CR	CR	VU	
21	ヒカゲアマクサシダ	<i>Pteris tokioi</i>	イノモトソウ	CR	CR		EN	
22	ウスヒメワラビモドキ	<i>Acystopteris taiwaniana</i>	ナヨシダ	CR				RL2010 以降に新たに標本採集・同定された。
23	イワウサギシダ	<i>Gymnocarpium robertianum</i>	ナヨシダ	CR	CR	EN		
24	カミガモシダ	<i>Asplenium oligophlebium</i> var. <i>oligophlebium</i>	チャセンシダ	CR	CR	CR		
25	コタニワタリ	<i>Asplenium scolopendrium</i>	チャセンシダ	CR	EN	EN		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
26	クロガネシダモドキ	<i>Asplenium</i> × <i>tosaense</i>	チャセンシダ	CR	CR	CR		
27	タチヒメワラビ	<i>Phegopteris bukoensis</i>	ヒメシダ	CR	CR	CR		
28	シバサトメシダ	<i>Athyrium neglectum</i> subsp. <i>australe</i>	メシダ	CR	CR		CR	
29	イワイヌワラビ	<i>Athyrium nikkoense</i>	メシダ	CR	CR	DD		
30	サカバサトメシダ	<i>Athyrium palustre</i>	メシダ	CR	CR	CR	VU	
31	トゲカラクサイヌワラビ	<i>Athyrium setuligerum</i>	メシダ	CR	CR	CR		
32	シマイヌワラビ	<i>Athyrium tozanense</i>	メシダ	CR	CR	CR	CR	
33	コウライイヌワラビ	<i>Deparia coreana</i>	メシダ	CR	CR	CR	VU	
34	ミドリワラビ	<i>Deparia viridifrons</i>	メシダ	CR	CR	CR		
35	ヒロハノコギリシダ	<i>Diplazium dilatatum</i> var. <i>dilatatum</i>	メシダ	CR	CR	CR		
36	ニセヒロハノコギリシダ	<i>Diplazium dilatatum</i> var. <i>heterolepis</i>	メシダ	CR	CR			
37	イヨクジャク	<i>Diplazium okudairae</i>	メシダ	CR	CR	CR	EN	
38	キンモウワラビ	<i>Hypodematum crenatum</i> subsp. <i>fauriei</i>	キンモウワラビ	CR	CR	CR	VU	
39	オトコシダ	<i>Arachniodes yoshinagae</i>	オシダ	CR	CR	CR		
40	サツマシダ	<i>Ctenitis sinii</i>	オシダ	CR	CR		EN	
41	ツクシオウクジャク	<i>Dryopteris handeliana</i>	オシダ	CR	EN	EN		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
42	ミヤマベニシダ	<i>Dryopteris monticola</i>	オシダ	CR	CR			
43	アツギノスカイタチシダマガイ	<i>Dryopteris paomowanensis</i>	オシダ	CR	CR			
44	ムラサキベニシダ	<i>Dryopteris purpurella</i>	オシダ	CR	CR	CR	CR	
45	ヨゴレイタチシダ	<i>Dryopteris sordidipes</i>	オシダ	CR	CR	EN		
46	マルバノスカイタチシダモドキ	<i>Dryopteris tsuguiwoi</i>	オシダ	CR	CR	CR	CR	
47	アツイタ	<i>Elaphoglossum yoshinagae</i>	オシダ	CR	CR	CR	VU	
48	オニノデ	<i>Polystichum rigens</i>	オシダ	CR	CR	CR	VU	
49	ミヨギシダ	<i>Goniophlebium someyae</i>	ウラボシ	CR	CR		EN	
50	ヤクシマウラボシ	<i>Selliguea yakuinsularis</i>	ウラボシ	CR	CR	CR	EN	

深刻な危機 (CR : 絶滅危惧ⅠA類)

No.	和 名	学 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
				2020	2010	2000		
51	シコクシラベ	<i>Abies veitchii</i> var. <i>reflexa</i>	マツ	CR	VU	VU		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
52	オグラコウホネ	<i>Nuphar oguraensis</i> var. <i>oguraensis</i>	スイレン	CR			VU	過去の採集標本が同定され、情報が集まり評価された。
53	ベニオグラコウホネ	<i>Nuphar oguraensis</i> var. <i>akiensis</i>	スイレン	CR	CR			
54	サイコクヒメコウホネ	<i>Nuphar saikokuensis</i>	スイレン	CR	CR			分類学的な検討により、ヒメコウホネ及びヒメコウホネ(広義)から変更。
55	スナヅル	<i>Cassytha filiformis</i>	クスノキ	CR				RL2010以降に新たに標本採集・同定された。
56	ツルギテンナンショウ	<i>Arisaema abei</i>	サトイモ	CR	CR	CR	EN	
57	イシヅテンナンショウ	<i>Arisaema ishizuchiense</i>	サトイモ	CR	CR	CR	CR	
58	シコクヒロハテンナンショウ	<i>Arisaema longipedunculatum</i>	サトイモ	CR	CR	CR	EN	
59	ハコネハナゼキショウ	<i>Tofieldia coccinea</i> var. <i>gracilis</i>	チシマゼキショウ	CR	CR			
60	マルミスバタ	<i>Blyxa aubertii</i>	トチカガミ	CR	CR	EX	VU	
61	ムサシモ	<i>Najas ancistrocarpa</i>	トチカガミ	CR			EN	RL2010以降に新たに標本採集・同定された。
62	サガミドリガモ	<i>Najas chinensis</i>	トチカガミ	CR	CR	CR	VU	
63	イトドリガモ	<i>Najas gracillima</i>	トチカガミ	CR	CR	CR	NT	
64	オヒルムシロ	<i>Potamogeton natans</i>	ヒルムシロ	CR	CR			
65	ヒロハノエビモ	<i>Potamogeton perfoliatus</i>	ヒルムシロ	CR	CR	DD		
66	タカクマソウ	<i>Sciaphila tenella</i>	ボンゴウソウ	CR			EN	RL2010以降に新たに標本採集・同定された。
67	クルマバツクバネソウ	<i>Paris verticillata</i>	シュロソウ	CR	CR	CR		
68	タチシオデ	<i>Smilax nipponica</i>	サルトリイバラ	CR	CR	CR		
69	カタクリ	<i>Erythronium japonicum</i>	ユリ	CR	CR	CR		
70	キバナノアマナ	<i>Gagea nakaiana</i>	ユリ	CR	CR	CR		
71	ヒメユリ	<i>Lilium concolor</i>	ユリ	CR	CR	CR	EN	
72	イワチドリ	<i>Amitostigma keiskei</i>	ラン	CR	CR	CR	EN	
73	ギリシマエビネ	<i>Calanthe aristulifera</i>	ラン	CR	EX	CR	EN	再発見、標本採集・同定された。
74	キンセイラン	<i>Calanthe nipponica</i>	ラン	CR	EN	CR	VU	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
75	サルメンエビネ	<i>Calanthe tricarinata</i>	ラン	CR	CR	CR	VU	
76	ササバギラン	<i>Cephalanthera longibracteata</i>	ラン	CR	CR	CR		
77	コウシュンラン	<i>Cephalanthera subaphylla</i>	ラン	CR	EN	EN	VU	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
78	モイウラン (トシマサイハイランを含む)	<i>Cremastra aphylla</i>	ラン	CR			CR	RL2010以降に新たに標本採集・同定された。
79	トケラン	<i>Cremastra unguiculata</i>	ラン	CR	CR	CR	VU	
80	アキザキナギラン	<i>Cymbidium aspidistrifolium</i>	ラン	CR	CR	CR	EN	
81	カンラン	<i>Cymbidium kanran</i>	ラン	CR	CR	CR	EN	
82	ゴアツモリソウ	<i>Cypripedium debile</i>	ラン	CR	CR	CR	NT	
83	アオチドリ	<i>Dactylorhiza viridis</i>	ラン	CR	CR	EN		
84	イチヨウラン	<i>Dactyloctenium aegyptium</i>	ラン	CR	EN	CR		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
85	コイチヨウラン	<i>Ephippianthus schmidtii</i>	ラン	CR	CR	CR		
86	エソスズラン	<i>Epipactis helleborine</i>	ラン	CR	EN	CR		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
87	オサラン	<i>Eria japonica</i>	ラン	CR	CR	CR	VU	
88	イモネヤガラ	<i>Eulophia zollingeri</i>	ラン	CR			EN	RL2010以降に新たに標本採集・同定された。
89	カモメラン	<i>Galearis cyclochila</i>	ラン	CR	CR	CR	NT	
90	モミラン	<i>Gastrochilus toramanus</i>	ラン	CR	CR	EN	VU	
91	オニノヤガラ	<i>Gastrodia elata</i>	ラン	CR	CR	CR		
92	シロテンマ	<i>Gastrodia elata</i> var. <i>pallens</i>	ラン	CR	除外	CR	CR	分類学的な検討による。品種としてオニノヤガラ(CR)に含めていたが、変種として再評価した。
93	ナヨテンマ	<i>Gastrodia gracilis</i>	ラン	CR	CR	CR	EN	
94	ツリシスラン	<i>Goodyera pendula</i>	ラン	CR	CR	CR		
95	ダイサギソウ	<i>Habenaria dentata</i>	ラン	CR	CR	CR	EN	
96	ムカゴソウ	<i>Hemimium lanceum</i>	ラン	CR	CR	CR	EN	
97	トサノクロムヨウラン	<i>Lecanorchis nigricans</i> var. <i>patipetala</i>	ラン	CR	DD	DD		情報が集まり評価された。
98	ムロトムヨウラン	<i>Lecanorchis taiwaniana</i>	ラン	CR	DD			情報が集まり評価された。
99	ギボウシラン	<i>Liparis auriculata</i>	ラン	CR	CR	EN	EN	
100	アキタスズムシソウ	<i>Liparis japonica</i>	ラン	CR	VU	EN		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。分類学的研究により、セリタスズムシソウから変更。

深刻な危機 (CR : 絶滅危惧ⅠA類)

No.	和 名	学 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
				2020	2010	2000		
101	スズムシソウ	<i>Liparis makinoana</i>	ラン	CR	CR	EN		
102	ササバラン	<i>Liparis odorata</i>	ラン	CR	CR	EN	EN	
103	シテンクモキリ	<i>Liparis purpureovittata</i>	ラン	CR				RL2010 以降に新たに標本採集・同定された。
104	ボウラン	<i>Luisia teres</i>	ラン	CR	CR	EN	NT	
105	ホザキイチヨウラン	<i>Malaxis monophyllos</i>	ラン	CR	EN	EN		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
106	ノビネチドリ	<i>Neolindleya camtschatica</i>	ラン	CR	EN	EN		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
107	コフタバラン	<i>Neottia cordata</i>	ラン	CR	EN	EN		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
108	オオハヨウラクラン	<i>Oberonia makinoi</i>	ラン	CR	CR	CR	CR	
109	ダケトンボ	<i>Peristylus hatusimanus</i>	ラン	CR				過去の採集標本が同定され、情報が集まり評価された。
110	ジンバイソウ	<i>Platanthera florentii</i>	ラン	CR	CR	CR		
111	イヌマムカゴ	<i>Platanthera iinumae</i>	ラン	CR	CR	CR	EN	
112	ツレサギソウ	<i>Platanthera japonica</i>	ラン	CR	CR	CR		
113	ハシナガヤマサギソウ	<i>Platanthera mandarinorum</i> subsp. <i>mandarinorum</i> var. <i>mandarinorum</i>	ラン	CR	CR	CR		
114	キシチドリ(広義)	<i>Platanthera ophrydioides</i>	ラン	CR	DD	EN		分類学的な検討により、カバキ/ナ/リ(RL2010: CR)を含める。
115	トキシソウ	<i>Pogonia japonica</i>	ラン	CR	CR	CR	NT	
116	ヒナチドリ	<i>Ponerorchis chidori</i>	ラン	CR	CR	CR	VU	
117	ナゴラン	<i>Sedirea japonica</i>	ラン	CR	CR	CR	EN	
118	ヒメトケラン	<i>Tainia laxiflora</i>	ラン	CR	CR	EX	VU	
119	ヤクシマネツタイラン	<i>Tropidia nipponica</i> var. <i>nipponica</i>	ラン	CR	CR	CR	EN	
120	キバサノショウキラン	<i>Yuania amagiensis</i>	ラン	CR	EN	CR	EN	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
121	ショウキラン	<i>Yuania japonica</i>	ラン	CR	CR	CR		
122	キヌラン	<i>Zeuxine strateumatica</i>	ラン	CR				RL2010 以降に新たに標本採集・同定された。
123	ノハナショウブ	<i>Iris ensata</i> var. <i>spontanea</i>	アヤメ	CR	CR	CR		
124	サイコウイワギボウシ	<i>Hosta longipes</i> var. <i>caduca</i>	クサスギカズラ	CR	EN			確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
125	ミスギボウシ	<i>Hosta longissima</i>	クサスギカズラ	CR	CR	CR		
126	オオバギボウシ	<i>Hosta sieboldiana</i>	クサスギカズラ	CR	CR	CR		
127	ヒメミクリ	<i>Sparganium subglobosum</i>	ガマ	CR	CR		VU	
128	オオホシクサ	<i>Eriocaulon buergerianum</i>	ホシクサ	CR	CR	CR		
129	アオコウガイゼキショウ	<i>Juncus papillosus</i>	イグサ	CR	CR	CR		
130	ウキヤガラ	<i>Bolboschoenus fluviatilis</i> subsp. <i>yagara</i>	カヤツリグサ	CR	EN			確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
131	オオナキリスゲ	<i>Carex autumnalis</i>	カヤツリグサ	CR	VU	VU		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
132	ウマスゲ	<i>Carex idzuroei</i>	カヤツリグサ	CR	CR	EX		
133	サワヒメスゲ	<i>Carex mira</i>	カヤツリグサ	CR	EX	EX		再発見、標本採集・同定された。
134	ササノハスゲ	<i>Carex pachygyna</i>	カヤツリグサ	CR	CR	CR		
135	クサスゲ	<i>Carex rugata</i>	カヤツリグサ	CR	CR	CR		
136	アゼスゲ	<i>Carex thunbergii</i> var. <i>thunbergii</i>	カヤツリグサ	CR	CR	EN		
137	ムギガラガヤツリ	<i>Cyperus unioides</i>	カヤツリグサ	CR	CR	EX	CR	
138	ヤリハライ	<i>Eleocharis congesta</i> var. <i>subvivipara</i>	カヤツリグサ	CR	CR	CR		
139	イヌクログワイ	<i>Eleocharis dulcis</i>	カヤツリグサ	CR	CR	CR		
140	スジヌマハライ	<i>Eleocharis equisetiformis</i>	カヤツリグサ	CR	CR		VU	分類学的な検討により、コツブヌマハライから変更。
141	ノハラテンツキ	<i>Fimbristylis pierotii</i>	カヤツリグサ	CR	EX		VU	再発見、標本採集・同定された。
142	ハタケテンツキ	<i>Fimbristylis stauntonii</i> var. <i>stauntonii</i>	カヤツリグサ	CR	DD		EN	情報が集まり評価された。
143	クロタマガヤツリ	<i>Fuirena ciliaris</i>	カヤツリグサ	CR	CR	CR		
144	イヌノハナヒゲ	<i>Rhynchospora japonica</i>	カヤツリグサ	CR	CR	CR		
145	ツクシカンガレイ	<i>Schoenoplectiella multiseta</i>	カヤツリグサ	CR	VU			確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
146	シコクノガリヤス	<i>Calamagrostis tashiroi</i> subsp. <i>sikokiana</i>	イネ	CR	EN			確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
147	ミノボロ	<i>Koeleria macrantha</i>	イネ	CR	CR	CR		
148	ガリヤスモドキ	<i>Miscanthus oligostachyus</i>	イネ	CR	CR	CR		
149	ヌマガヤ	<i>Moliniopsis japonica</i>	イネ	CR	CR	EX		
150	タキキビ	<i>Phaenospema globosum</i>	イネ	CR	DD	DD		情報が集まり評価された。

深刻な危機 (CR : 絶滅危惧ⅠA類)

No.	和 名	学 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
				2020	2010	2000		
151	ホソバヤマブキソウ	<i>Hylomecon japonica</i> f. <i>lanceolata</i>	ケシ	CR	CR			
152	イソヤマアオキ	<i>Cocculus laurifolius</i>	ツツラフジ	CR	CR	CR		
153	シオミイカリソウ	<i>Epimedium trifoliatobinatum</i> subsp. <i>maritimum</i>	メギ	CR	NT		NT	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
154	オキナグサ	<i>Pulsatilla cernua</i>	キンボウゲ	CR	CR	CR	VU	
155	コメカラマツ	<i>Thalictrum microspERMum</i>	キンボウゲ	CR	CR	CR	VU	
156	モミジカラマツ	<i>Trautvetteria carolinensis</i> var. <i>japonica</i>	キンボウゲ	CR	CR	CR		
157	ペコバヤマシヤウヤク	<i>Paonia obovata</i>	ボタン	CR	CR	CR	VU	
158	ヤブサンザシ	<i>Ribes fasciculatum</i>	スグリ	CR	CR	CR		
159	ザンコミ	<i>Ribes maximowiczianum</i>	スグリ	CR	CR	CR		
160	イヌハギ	<i>Lespedeza tomentosa</i>	マメ	CR	CR	CR	VU	
161	マキエハギ	<i>Lespedeza virgata</i>	マメ	CR	CR	CR		
162	ハカマカズラ	<i>Phanera japonica</i>	マメ	CR	CR	CR		
163	シノバネム	<i>Smithia ciliata</i>	マメ	CR	CR	EX	DD	
164	ハマアズキ	<i>Vigna marina</i>	マメ	CR	CR			
165	スナシメ	<i>Zomia cantoniensis</i>	マメ	CR	CR	CR	CR	
166	オオヤマザクラ	<i>Cerasus sargentii</i> var. <i>sargentii</i>	バラ	CR	DD			情報が集まり評価された。
167	オオウラジロノキ	<i>Malus tschonoskii</i>	バラ	CR	CR	CR		
168	ミツモトソウ	<i>Potentilla cryptotaeniae</i>	バラ	CR	CR	CR		
169	ゴショイチゴ	<i>Rubus chingii</i>	バラ	CR	CR	CR	EN	
170	ビロドイチゴ	<i>Rubus corchorifolius</i>	バラ	CR	CR	CR		
171	サナギイチゴ	<i>Rubus pungens</i>	バラ	CR	CR	CR	VU	
172	クマヤマグミ	<i>Elaeagnus epitricha</i>	グミ	CR	CR	CR	CR	
173	ハマナツメ	<i>Paliurus ramosissimus</i>	クロウメモドキ	CR	CR	CR	VU	
174	ネコノチチ	<i>Rhamnella franguloides</i> var. <i>franguloides</i>	クロウメモドキ	CR	CR	CR		
175	クロイゲ	<i>Sageretia thea</i>	クロウメモドキ	CR	CR	EX		
176	カラハナソウ	<i>Humulus lupulus</i> var. <i>cordifolius</i>	アサ	CR	CR	CR		
177	カカツガユ	<i>Madura cochinchinensis</i>	クワ	CR	CR	CR		
178	コノノイラクサ	<i>Urtica laetevirens</i>	イラクサ	CR	EN			確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
179	オオカラスウリ	<i>Trichosanthes laceribractea</i>	ウリ	CR	CR	DD		
180	トサオトギリ	<i>Hypericum tosaense</i>	オトギリソウ	CR	CR	CR	CR	
181	ヒトツバエソスミレ	<i>Viola eizanensis</i> var. <i>simplicifolia</i>	スミレ	CR	DD			情報が集まり評価された。
182	サクラスミレ	<i>Viola hirtipes</i>	スミレ	CR	EN	EN		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
183	キスミレ	<i>Viola orientalis</i>	スミレ	CR	EN	EN		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
184	ノヤナギ	<i>Salix subopposita</i>	ヤナギ	CR	CR	CR		
185	タカトウダイ	<i>Euphorbia lasiocaula</i> var. <i>lasiocaula</i>	トウダイグサ	CR	NT			確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
186	ヒメビシ	<i>Trapa incisa</i>	ミシハギ	CR	EN	EN	VU	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
187	ショウベンノキ	<i>Turpinia temata</i>	ミシバウツギ	CR	CR	CR		
188	タチスズシロソウ	<i>Arabidopsis kamchatica</i> subsp. <i>kawasakiana</i>	アブラナ	CR	CR	CR	EN	
189	ミヤマツチトリモチ	<i>Balanophora nipponica</i>	ツチトリモチ	CR	CR	CR	VU	
190	ヒメタデ	<i>Persicaria erectominor</i> var. <i>erectominor</i>	タデ	CR	CR	CR	VU	
191	マダイオウ	<i>Rumex madaio</i>	タデ	CR	DD	DD		情報が集まり評価された。
192	タチハコベ	<i>Arenaria trinervia</i>	ナデシコ	CR	CR	CR	VU	
193	ヤナギイノコソチ	<i>Achyranthes longifolia</i>	ヒユ	CR	CR	CR		
194	ツガザクラ	<i>Phyllodoce nipponica</i> subsp. <i>nipponica</i>	ツツジ	CR	CR			
195	サクラツツジ	<i>Rhododendron tashiroi</i> var. <i>tashiroi</i>	ツツジ	CR	CR	CR		
196	コバンムグラ	<i>Exallage chrysotricha</i>	アカネ	CR	CR		EN	
197	ハナイカリ	<i>Halenia comiculata</i>	リンドウ	CR	CR	CR		
198	アオカモメヅル	<i>Vincetoxicum ambiguum</i>	キョウチクトウ	CR	EN	EN		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
199	マルバチシャノキ	<i>Ehretia dicksonii</i>	ムラサキ	CR	CR	CR		
200	ムラサキ	<i>Lithospermum murasaki</i>	ムラサキ	CR	CR	CR	EN	

深刻な危機 (CR : 絶滅危惧ⅠA類)

No.	和 名	学 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
				2020	2010	2000		
201	ヤマホオズキ	Archiphysalis chamaesarachoides	ナス	CR	CR	CR	EN	
202	アオホオズキ	Physalistrum japonicum	ナス	CR	CR	CR	VU	
203	カミガモソウ	Gratiola fluviatilis	オオハコ	CR	CR		EN	
204	オオアブノメ	Gratiola japonica	オオハコ	CR	CR	DD	VU	
205	ハマクワガタ	Veronica javanica	オオハコ	CR	CR	DD	VU	
206	ホソヒメトラノオ	Veronica linariifolia var. linariifolia	オオハコ	CR	EN	EN	EN	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
207	ヒメトラノオ	Veronica rotundum var. petiolata	オオハコ	CR	CR	CR		
208	イワダレソウ	Phyla nodiflora	クマツヅラ	CR	CR	CR		
209	カワミドリ	Agastache rugosa	シソ	CR	CR	CR		
210	ヤウシマドウバネ	Clinopodium multicaule var. yakusimense	シソ	CR	DD		NT	情報が集まり評価された。コケトウバネ(RL2010)から和名変更。
211	フトボナギナタコウジュ	Elsholtzia nipponica	シソ	CR	CR	CR		
212	キセウタ	Leonurus macranthus	シソ	CR	CR	CR	VU	
213	ナツソタムラソウ	Salvia lutescens var. intermedia	シソ	CR	CR			
214	ミシデコトシソウ	Salvia nipponica var. trisecta	シソ	CR	CR	CR		
215	オカタツナミソウ	Scutellaria brachyspica	シソ	CR	CR	CR		
216	ハナタツナミソウ	Scutellaria iyoensis	シソ	CR	CR			
217	ヤマタツナミソウ	Scutellaria pekinensis var. transita	シソ	CR	EX	CR		再発見 標本採集・同定された。
218	イヌゴマ	Stachys aspera var. hispidula	シソ	CR	CR	CR		
219	ババノボ	Codonopsis ussuriensis	キキョウ	CR	CR	CR	VU	
220	サウギキョウ	Lobelia sessilifolia	キキョウ	CR	CR	CR		
221	ガガバタ	Nymphoides indica	ミツガシワ	CR	CR	CR	NT	
222	マルハデイショウソウ	Ainsliaea fragrans	キク	CR	CR	CR	VU	
223	カワラハハコ	Anaphalis margaritacea var. yedoensis	キク	CR	CR			
224	ワタヨモギ	Artemisia gilvescens	キク	CR	DD		EN	情報が集まり評価された。
225	ヒロハヤマヨモギ	Artemisia stolonifera	キク	CR	DD	CR	NT	情報が集まり評価された。
226	コモノギク	Aster komonoensis	キク	CR	CR	CR		
227	オケラ	Atractylodes ovata	キク	CR	CR	CR		
228	ヤナギアザミ	Cirsium lineare	キク	CR	CR	CR		
229	ヤナギタンポポ	Hieracium umbellatum	キク	CR	CR	CR		
230	カゼンソウ	Inula salicina var. asiatica	キク	CR	CR	CR		
231	アキノハハコグサ	Pseudognaphalium hypoleucum	キク	CR	CR	CR	EN	
232	ミヤコアザミ	Saussurea maximowiczii	キク	CR	EX	EX		再発見 標本採集・同定された。
233	ヤブレガサモドキ	Syneilesis tagawae	キク	CR	CR	CR	EN	
234	キクハヤマボクチ	Synurus palmatopinnatifidus var. palmatopinnatifidus	キク	CR	CR	CR		
235	オヤマボクチ	Synurus pungens var. pungens	キク	CR	CR	CR		
236	ツクシタンポポ	Taraxacum kiushianum	キク	CR	EN	EN	VU	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
237	オニツクバネウツギ	Abelia serrata var. tomentosa	スイカズラ	CR	CR	CR	CR	
238	タカネマツムシソウ	Scabiosa japonica var. alpina	スイカズラ	CR	CR	EN		
239	マツムシソウ	Scabiosa japonica var. japonica	スイカズラ	CR	CR	CR		
240	カノコソウ	Valeriana fauriei	スイカズラ	CR	EN			確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
241	トウキ	Angelica acutiloba	ゼリ	CR	CR	CR		
242	フキヤミツバ	Sanicula tuberculata	ゼリ	CR	CR	EX	VU	
243	ヌマゼリ	Sium suave var. nipponicum	ゼリ	CR	CR	CR	VU	

危機 (EN : 絶滅危惧ⅠB類) : 230 種類

No.	和 名	学 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
				2020	2010	2000		
1	スギラン	Phlegmariurus cryptomerinus	ヒカゲノカズラ	EN	VU	EN	VU	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
2	オオバシナミズナ	Isoetes sinensis var. coreana	ミズナ	EN	EN		EN	
3	コケホラゴケ	Crepidomanes makinoi	コケシノブ	EN	EN	EN	NT	
4	コケシノブ	Hymenophyllum wrightii	コケシノブ	EN	EN	EN		
5	ウチワホングウシダ	Lindsaea simulans	ホングウシダ	EN	CR	CR	EN	確認個体数・地点数の増加。
6	クジャクシダ	Adiantum pedatum	イノモトソウ	EN	EN	EN		
7	タキシダ	Antrophyum obovatum	イノモトソウ	EN	CR	CR	EN	確認個体数・地点数の増加。
8	ニシノコハチジョウシダ	Pteris kiuschiensis	イノモトソウ	EN	EN	EN		
9	エビラシダ	Gymnocarpium oyamense	ナヨシダ	EN	EN	EN		
10	ヒメイトラノオ	Asplenium capillipes	チャセンシダ	EN	EN	EN		
11	オクタマシダ	Asplenium pseudowilfordii	チャセンシダ	EN	CR	CR	VU	確認個体数・地点数の増加。
12	ナンゴクホウビンシダ	Hymenasplenium murakami-hatanakae	チャセンシダ	EN	EN			
13	ヒメミジシダ	Thelypteris gymnocarpa subsp. amabilis	ヒメシダ	EN	EN		NT	
14	テツホシダ	Thelypteris interrupta	ヒメシダ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
15	ケホシダ	Thelypteris parasitica	ヒメシダ	EN	EN	EN		
16	サカイヌワラビ	Athyrium reflexipinnum	メシダ	EN	CR	EN	EN	確認個体数・地点数の増加。
17	シマシロヤマシダ	Diplazium doederleinii	メシダ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
18	オキナワコクモウクジャク	Diplazium okinawaense	メシダ	EN	CR	CR	NT	確認個体数・地点数の増加。
19	ヒュウガシダ	Diplazium takii	メシダ	EN	EN			
20	ヒメノコギリシダ	Diplazium wichurae var. amabile	メシダ	EN	CR	CR	NT	確認個体数・地点数の増加。
21	ケキンモウワラビ	Hypodematum glandulosopilum	キンモウワラビ	EN	EN	EN		
22	イズヤブソテツ	Cyrtomium atropunctatum	オンシダ	EN	EN			
23	タニハゴ	Dryopteris tokyoensis	オンシダ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
24	ヒロハアツタ	Elaphoglossum tosaense	オンシダ	EN	CR	CR	VU	確認個体数・地点数の増加。
25	タチデンダ	Polystichum deltoodon	オンシダ	EN	EN	EN		
26	アイアスカイノデ	Polystichum longifrons	オンシダ	EN	VU	VU		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
27	クワシノブ	Davallia repens	シノブ	EN	EN	EN	VU	
28	オオクボシダ	Micropolypodium okuboi	ウラボシ	EN	EN	EN		
29	ミヤマウラボシ	Selliguea veitchii	ウラボシ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
30	サダノウ	Peperomia japonica	コショウ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
31	ツチグリカンアオイ	Asarum asperum var. geaster	ウナノズクサ	EN	VU	VU		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
32	オモゴウテンナンショウ	Arisaema iyoanum subsp. iyoanum	サトイモ	EN	CR	CR	EN	確認個体数・地点数の増加。
33	ミミガタテンナンショウ	Arisaema limbatum	サトイモ	EN	EN			オキノシマテンナンショウ(RL2010:DD)を含める。
34	ウラシマノウ	Arisaema thunbergii subsp. urashima	サトイモ	EN	EN	EN		
35	スプタ	Blyxa echinosperma	トチカガミ	EN	EN	CR	VU	
36	ホッスモ	Najas graminea	トチカガミ	EN	EN	EN		
37	トリゲモ	Najas minor	トチカガミ	EN	DD		VU	情報が集まり評価された。
38	オオウミヒルモ	Halophila major	トチカガミ	EN	CR			確認個体数・地点数の増加、ハロフィラ・マヨール(RL2010)から和名変更。
39	ヤマトウミヒルモ	Halophila nipponica	トチカガミ	EN	EN			ハロフィラ・ニポニカ(RL2010)から和名変更。
40	ゼンニンモ	Potamogeton maackianus	ヒルムシロ	EN	EN	EN		
41	カワツルモ	Ruppia maritima	カワツルモ	EN	CR	CR	NT	確認個体数・地点数の増加。
42	ネバノギラン	Aletris foliata	キンコウカ	EN	EN	EN		
43	キシマシヤクジョウ	Burmanna nepalensis	ヒナノシヤクジョウ	EN	CR	EX	VU	確認個体数・地点数の増加。
44	ホンゴウソウ	Sciaphila nana	ホンゴウソウ	EN	CR	CR	VU	確認個体数・地点数の増加。
45	ウエマツソウ	Sciaphila secundiflora	ホンゴウソウ	EN	CR	CR	VU	確認個体数・地点数の増加。
46	アワコバイモ	Fritillaria muraiana	ユリ	EN	CR	CR	VU	確認個体数・地点数の増加。
47	ササユリ	Lilium japonicum	ユリ	EN	EN	CR		
48	ジョウロウホトギス	Tricyrtis macrantha	ユリ	EN	CR	CR	VU	確認個体数・地点数の増加。
49	ヒナラン	Amitostigma gracile	ラン	EN	VU	EN	EN	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
50	ミヤマムギラン	Bulbophyllum japonicum	ラン	EN	VU	VU	NT	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。

危機 (EN : 絶滅危惧ⅠB類)

No.	和 名	学 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
				2020	2010	2000		
51	キエビネ	<i>Calanthe citrina</i>	ラン	EN	CR	CR	EN	確認個体数・地点数の増加。
52	マヤラン	<i>Cymbidium macrorhizon</i>	ラン	EN	EN	CR	VU	
53	キノバナセッコク	<i>Dendrobium catenatum</i>	ラン	EN	EN	CR	EN	
54	タシロラン	<i>Epipogium roseum</i>	ラン	EN	CR	CR	NT	確認個体数・地点数の増加。
55	カシノキラン	<i>Gastrochilus japonicus</i>	ラン	EN	EN	EN	VU	
56	イヨトンボ	<i>Habenaria iyoensis</i>	ラン	EN	EN	CR	EN	
57	ミストンボ	<i>Habenaria sagittifera</i>	ラン	EN	EN	CR	VU	
58	ヒメノヤガラ	<i>Hetaeria sikokiana</i>	ラン	EN	VU	CR	VU	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
59	ホクリクムヨウラン	<i>Lecanorchis japonica</i> var. <i>hokurikuensis</i>	ラン	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
60	エンシュウムヨウラン	<i>Lecanorchis suginoana</i>	ラン	EN	CR	DD		確認個体数・地点数の増加。
61	フagusズムシソウ	<i>Liparis fujisanensis</i>	ラン	EN	EN	CR	VU	
62	ヒメフタバラ	<i>Neottia japonica</i>	ラン	EN	VU	EN		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
63	ミヤマモジスリ	<i>Neottianthe cucullata</i>	ラン	EN	EN	EN		
64	ムカデラン	<i>Pelatanthera scolopendrifolia</i>	ラン	EN	EN	EN	VU	
65	ムカゴトンボ	<i>Peristylus flagellifer</i>	ラン	EN	EN	EN	EN	
66	ガンゼキラン	<i>Phaius flavus</i>	ラン	EN	CR	CR	VU	確認個体数・地点数の増加。
67	ミズチドリ	<i>Platanthera hologlottis</i>	ラン	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
68	マイサギソウ	<i>Platanthera mandarinorum</i> subsp. <i>mandarinorum</i> var. <i>macrocentron</i>	ラン	EN	EN	EN		
69	ヤマサギソウ	<i>Platanthera mandarinorum</i> subsp. <i>mandarinorum</i> var. <i>oreades</i>	ラン	EN	EN	EN		
70	ヤマトキシソウ	<i>Pogonia minor</i>	ラン	EN	EN	EN		
71	ウチヨウラン	<i>Ponerorchis graminifolia</i>	ラン	EN	EN	CR	VU	
72	カゲロウラン	<i>Zeuxine agyokuana</i>	ラン	EN	VU	CR	NT	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
73	コキンバイザサ	<i>Hypoxis aurea</i>	キンバイザサ	EN	EN	EN		
74	ユウスゲ	<i>Hemerocallis citrina</i> var. <i>vespertina</i>	ワスレグサ	EN	EN			
75	ヒメニラ	<i>Allium monanthum</i>	ヒガンバナ	EN	EN	EX		
76	カンザシギボウシ	<i>Hosta capitata</i>	クサスギカズラ	EN	VU			確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
77	ミドリヨウラク	<i>Polygonatum inflatum</i>	クサスギカズラ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
78	ミヤマナルコユリ	<i>Polygonatum lasianthum</i>	クサスギカズラ	EN	EN	EN		
79	ヤマトミクリ	<i>Sparganium fallax</i>	ガマ	EN	DD		NT	情報が集まり評価された。
80	イトヌメヒゲ	<i>Eriocaulon decemflorum</i>	ホシクサ	EN	EN	DD		
81	イヌメヒゲ	<i>Eriocaulon miquelianum</i>	ホシクサ	EN	EN	EN		
82	ゴマシオホシクサ	<i>Eriocaulon nepalense</i>	ホシクサ	EN	CR	DD	EN	確認個体数・地点数の増加。
83	イトイ	<i>Juncus maximowiczii</i>	イグサ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
84	ハリコウガイゼキショウ	<i>Juncus wallichianus</i>	イグサ	EN	VU			確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
85	イトテンツキ	<i>Bulbostylis densa</i> var. <i>capitata</i>	カヤツリグサ	EN	EN	EN	NT	
86	ワンドスゲ	<i>Carex argyi</i>	カヤツリグサ	EN			VU	過去の採集標本が同定され、情報が集まり評価された。
87	コイワカンスゲ	<i>Carex chrysolepis</i>	カヤツリグサ	EN	EN			
88	ウタリスゲ	<i>Carex conicoides</i>	カヤツリグサ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
89	ヒメジュズスゲ	<i>Carex filipes</i> var. <i>tremula</i>	カヤツリグサ	EN	EN	EN		
90	オウノカンスゲ	<i>Carex foliosissima</i> var. <i>foliosissima</i>	カヤツリグサ	EN	VU	VU		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
91	タイワンスゲ	<i>Carex fomesensis</i>	カヤツリグサ	EN	VU		VU	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
92	クロヒナスゲ	<i>Carex gifuensis</i>	カヤツリグサ	EN	VU			確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
93	ホシナシゴウソ	<i>Carex maximowiczii</i> var. <i>levisaccus</i>	カヤツリグサ	EN	DD			情報が集まり評価された。
94	キシュウナキリスゲ	<i>Carex nachiana</i>	カヤツリグサ	EN	EN	EN	VU	
95	ジングウスゲ	<i>Carex sacrosancta</i>	カヤツリグサ	EN	EN	EN	NT	
96	センダイスゲ	<i>Carex sendaica</i>	カヤツリグサ	EN	EN	EN		
97	セイトカハライ	<i>Eleocharis attenuata</i>	カヤツリグサ	EN	VU	NT		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
98	ノテンツキ	<i>Fimbristylis complanata</i>	カヤツリグサ	EN	EN	EN		
99	コイヌハナヒゲ	<i>Rhynchospora fujianiana</i>	カヤツリグサ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
100	ヒメカンガレイ	<i>Schoenoplectiella mucronata</i> var. <i>mucronata</i>	カヤツリグサ	EN	VU		VU	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。

危機 (EN : 絶滅危惧ⅠB類)

No.	和 名	学 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
				2020	2010	2000		
101	タイワンヤマイ	Schoenoplectiella wallichii	カヤツリグサ	EN	EN			
102	マツカサススキ	Scirpus mitsukurianus	カヤツリグサ	EN	EN	NT		
103	ゴウボウ	Anthoxanthum nitens var. sachalinense	イネ	EN	VU	VU		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
104	ミスタカモシグサ	Elymus humidus	イネ	EN	DD	DD	VU	情報が集まり評価された。
105	イワタケソウ	Hystrix duthiei subsp. japonica	イネ	EN	EN	EN		
106	チシマカニツリ	Trisetum sibiricum	イネ	EN	EN	EN		
107	オオハバギ	Berberis tschonoskyana	メギ	EN	VU	VU		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
108	サイコウイカノソウ	Epimedium diphylum subsp. kitamuranum	メギ	EN	EN	EN	VU	
109	サンヨウブシ	Aconitum sanyoense	キンポウゲ	EN	VU	VU		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
110	ヤマハシショウツル	Clematis crassifolia	キンポウゲ	EN				RL 2010 以降に新たに標本採集・同定された。
111	シコクハンショウツル	Clematis obvallata var. sikokiana	キンポウゲ	EN	EN	EN	EN	
112	カザグルマ	Clematis patens	キンポウゲ	EN	EN	EN	NT	
113	イシヅチカラマツ	Thalictrum minus var. yamamotoi	キンポウゲ	EN	CR		EN	確認個体数・地点数の増加。
114	ツゲ	Buxus microphylla var. japonica	ツゲ	EN	EN	EN		
115	コツゲ	Buxus microphylla var. riparia	ツゲ	EN	EN			
116	マルバノキ	Disanthus cercidifolius	マンサク	EN	EN	EN		
117	チダケサシ	Astilbe microphylla	ユキノシタ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
118	イワネコノメソウ	Chrysosplenium echinus	ユキノシタ	EN	EN			
119	ネコノメソウ	Chrysosplenium grayanum	ユキノシタ	EN	EN			
120	トサノチャルメルソウ	Mitella yoshinagae	ユキノシタ	EN	EN	EN		
121	ワタナベソウ	Peltoboykinia watanabei	ユキノシタ	EN	VU	VU	VU	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
122	メノマンネングサ	Sedum japonicum subsp. japonicum var. japonicum	ベンケイソウ	EN	CR	DD		確認個体数・地点数の増加。
123	フジキ	Cladrastis platycarpa	マメ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
124	ヒメノハギ	Leptodesmia microphylla	マメ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
125	シマエンジュ	Maackia tashiroi	マメ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
126	ヨツバハギ	Vicia nipponica	マメ	EN	CR	EX		確認個体数・地点数の増加。
127	ザイフリボク	Amelanchier asiatica	バラ	EN	EN			
128	ハワロバイ	Dasiphora fruticosa var. mandshurica	バラ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
129	シコクシモツケソウ	Filipendula tsuguwoi	バラ	EN	EN	EN	VU	
130	ツルキジムシロ	Potentilla stolonifera	バラ	EN	EN	EN		
131	タカネバラ	Rosa nipponensis	バラ	EN	EN	EN		
132	ハスノハイチゴ	Rubus peltatus	バラ	EN			NT	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
133	コバナワレモコウ	Sanguisorba tenuifolia var. tenuifolia	バラ	EN	VU	EN		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
134	イノミツバイワガサ	Spiraea blumei var. pubescens	バラ	EN	DD			情報が集まり評価された。
135	ケンボナシ	Hovenia dulcis	クロウメモドキ	EN	EN	EN		
136	オヒョウ	Ulmus laciniata	ニレ	EN	VU			確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
137	コバノチョウセンエノキ	Celtis biondii var. biondii	アサ	EN	EN			
138	アカソ	Boehmeria silvestrii	イラクサ	EN	EN	CR		
139	イワガネ	Oreocnide frutescens	イラクサ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
140	ゴミヤマミズ	Pilea notata	イラクサ	EN	CR			確認個体数・地点数の増加。
141	ハナガガシ	Quercus hondae	ブナ	EN	EN	EN	VU	
142	ハンノキ	Alnus japonica	カバノキ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
143	ツバハシバミ	Corylus sieboldiana var. sieboldiana	カバノキ	EN	CR			確認個体数・地点数の増加。
144	ヒロハツリバタ	Euonymus macropterus	ニシキギ	EN	EN	EN		
145	ミヤマカタミ	Oxalis griffithii var. griffithii	カタミ	EN	CR			確認個体数・地点数の増加。
146	アゼオトギリ	Hypericum oliganthum	オトギリソウ	EN	EN	EN	EN	
147	ミスオトギリ	Triadenum japonicum	オトギリソウ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
148	ヒゴスミレ	Viola chaerophylloides var. sieboldiana	スミレ	EN	EN	CR		
149	ホソバシロスミレ	Viola patrinii var. angustifolia	スミレ	EN	EN		VU	
150	サイコクキツネヤナギ	Salix vulpina subsp. alopochroa	ヤナギ	EN	EN			

危機 (EN : 絶滅危惧ⅠB類)

No.	和 名	学 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
				2020	2010	2000		
151	イブキタイゲキ	<i>Euphorbia lasiocaula</i> var. <i>ibukiensis</i>	トウダイグサ	EN	EN			
152	ミズキンバイ	<i>Ludwigia peploides</i> subsp. <i>stipulacea</i>	アカバ	EN	EN	EN	VU	
153	タチバナ	<i>Citrus tachibana</i>	ミカン	EN	VU	EN	NT	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
154	ハマボウ	<i>Hibiscus hamabo</i>	アオイ	EN	EN	CR		
155	シマサクラガンピ	<i>Diplomorpha pauciflora</i> var. <i>yakushimensis</i>	ジンチョウゲ	EN	EN	EN		
156	イヌナズナ	<i>Draba nemorosa</i>	アブラナ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
157	オオバヤドリギ	<i>Taxillus yadoriki</i>	オオバヤドリギ	EN	EN	CR		
158	クノユキフデ	<i>Bistorta suffulta</i>	タデ	EN	EN	EN		
159	ヤマミソノバ	<i>Persicaria thunbergii</i> var. <i>oreophila</i>	タデ	EN	EN			
160	ニセコガネギシ	<i>Rumex trisetifer</i>	タデ	EN	DD		DD	情報が集まり評価された。
161	テノリマンテマ	<i>Silene yanoei</i>	ナデシコ	EN	EN	EN	VU	
162	アオコウツギ	<i>Deutzia ogatae</i>	アジサイ	EN	DD			情報が集まり評価された。
163	カラタチバナ	<i>Ardisia crispa</i> var. <i>crispa</i>	サクラソウ	EN	EN	EN		
164	ツマトリソウ	<i>Lysimachia europaea</i> var. <i>europaea</i>	サクラソウ	EN	EN	EN		
165	シヤクジョウソウ	<i>Hypopitys monotropa</i>	ツツジ	EN	EN	CR		
166	ツルガネツツジ	<i>Rhododendron benhallii</i>	ツツジ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
167	ヤッコソウ	<i>Mitrastemon yamamotoi</i>	ヤッコソウ	EN	EN	EN		
168	ヒロハコンロンカ	<i>Mussaenda shikokiana</i>	アカネ	EN	EN	CR		
169	ヘツカニガキ	<i>Sinoadina racemosa</i>	アカネ	EN	EN	EN		
170	ホソバツルリンドウ	<i>Pterygocalyx volubilis</i>	リンドウ	EN	EN	CR	VU	
171	ムラサキセンブリ	<i>Swertia pseudochinensis</i>	リンドウ	EN	VU	EN	NT	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
172	シノメソウ	<i>Swertia swertopsis</i>	リンドウ	EN	EN	EN	VU	
173	クサタチバナ	<i>Vincetoxicum acuminatum</i>	キョウチクトウ	EN	EN	EN	NT	
174	フナバラソウ	<i>Vincetoxicum atratum</i>	キョウチクトウ	EN	EN	EN	VU	
175	ホウヨカモメツル	<i>Vincetoxicum hoyoense</i>	キョウチクトウ	EN	EN		VU	
176	ツウシガシワ	<i>Vincetoxicum macrophyllum</i>	キョウチクトウ	EN	VU	VU		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
177	ハマネナシカズラ	<i>Cuscuta chinensis</i>	ヒルガオ	EN	EN		VU	
178	ノアサガオ	<i>Ipomoea indica</i>	ヒルガオ	EN	VU	VU		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
179	グンバイヒルガオ	<i>Ipomoea pes-caprae</i>	ヒルガオ	EN	EN	CR		
180	イガホオズキ	<i>Physalistrum echinatum</i>	ナス	EN	EN	CR		
181	ヤマホロシ	<i>Solanum japonense</i> var. <i>japonense</i>	ナス	EN	EN	EN		
182	オオバイボタ	<i>Ligustrum ovalifolium</i> var. <i>ovalifolium</i>	モクセイ	EN	EN	EN		
183	シンラン	<i>Lysionotus pauciflorus</i>	イワタバコ	EN	EN	EN	VU	
184	ムシトリスミレ	<i>Pinguicula macroceras</i>	タヌキモ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
185	ホザキノミカキグサ	<i>Utricularia caerulea</i>	タヌキモ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
186	トサムラサキ	<i>Callicarpa shikokiana</i>	シソ	EN	EN	EN	VU	
187	ヤマウルマバナ	<i>Clinopodium chinense</i> subsp. <i>glabrescens</i>	シソ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
188	マネキグサ	<i>Loxocalyx ambiguus</i>	シソ	EN	VU	VU	NT	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
189	エノシロネ	<i>Lycopus uniflorus</i>	シソ	EN	EN	EN		
190	ヤマシソ	<i>Mosla japonica</i>	シソ	EN	VU	VU	NT	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
191	ヒメナミキ	<i>Scutellaria dependens</i>	シソ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
192	ホクリクツナミソウ	<i>Scutellaria indica</i> var. <i>satokoae</i>	シソ	EN				RL2010以降に新たに標本採集・同定された。
193	タチコゴメグサ	<i>Euphrasia maximowiczii</i> var. <i>maximowiczii</i>	ハマウツボ	EN	EN	EN		
194	ナヨナヨコゴメグサ	<i>Euphrasia microphylla</i>	ハマウツボ	EN	EN	EN	VU	
195	ツウシコゴメグサ	<i>Euphrasia multifolia</i> var. <i>multifolia</i>	ハマウツボ	EN	EN	EN	EN	
196	ヤマウツボ (ケヤマウツボを含む)	<i>Lathraea japonica</i>	ハマウツボ	EN	EN	EN		種内分類群のケヤマウツボ (var. <i>miquelana</i>) を含めることとする。
197	キヨスミウツボ	<i>Phacellanthus tubiflorus</i>	ハマウツボ	EN	EN	EN		
198	ヒキヨモギ	<i>Siphonostegia chinensis</i>	ハマウツボ	EN	VU			確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
199	ヒナシャジン	<i>Adenophora maximowicziana</i>	キキョウ	EN	EN	EN	VU	
200	ツルギキョウ	<i>Codonopsis javanica</i> subsp. <i>japonica</i>	キキョウ	EN	EN	CR	VU	

危機 (EN : 絶滅危惧ⅠB類)

No.	和 名	学 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
				2020	2010	2000		
201	キキョウ	Platycodon grandiflorus	キキョウ	EN	VU	NT	VU	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
202	テイショウソウ	Ainsliaea cordifolia var. cordifolia	キク	EN	EN	EN		
203	ヒロハテイショウソウ	Ainsliaea cordifolia var. maruoi	キク	EN	CR			確認個体数・地点数の増加。
204	ソナレノギク	Aster hispidus var. insularis	キク	EN	EN	EN		
205	ツルギカンギク	Chrysanthemum indicum var. tsurugisanense	キク	EN	EN			
206	フジバカマ	Eupatorium japonicum	キク	EN	CR	CR	NT	確認個体数・地点数の増加。
207	スイラン	Hololeion krameri	キク	EN	NT			確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
208	ホソバオグルマ	Inula linariifolia	キク	EN	CR	CR	VU	確認個体数・地点数の増加。
209	キダチハマグルマ	Melanthera biflora	キク	EN	CR			確認個体数・地点数の増加。分類学的な検討により、オオキダチハマグルマから変更。
210	オオハマグルマ	Melanthera robusta	キク	EN	EN	EN		
211	ヤマタミシガサ	Parasenecio yatabei var. yatabei	キク	EN	VU			確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
212	オオダイトウヒレン	Saussurea nipponica	キク	EN	VU	VU		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
213	キシリマヒゴタイ	Saussurea scaposa	キク	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
214	トサトウヒレン	Saussurea yoshinagae	キク	EN	EN	EN	VU	
215	キオン	Senecio nemorensis	キク	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
216	タムラソウ	Serratula coronata subsp. insularis	キク	EN	EN	EN		
217	ヤマボクチ	Synurus palmatopinnatifidus var. indivisus	キク	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
218	サワオグルマ	Tephrosia pierotii	キク	EN	EN	CR		
219	インダテアザミ	Cirsium ishidatense	キク	EN	CR			確認個体数・地点数の増加。
220	ヤマザトタンポポ	Taraxacum denudatum var. arakii	キク	EN	CR	CR	NT	確認個体数・地点数の増加。
221	ゴマギ	Viburnum sieboldii var. sieboldii	ガマズミ	EN	EN			
222	ウスノヒョウタンボク	Lonicera cerasina	スイカズラ	EN	EN	CR	VU	
223	ミヤマウグイスカグラ	Lonicera gracilipes var. glandulosa	スイカズラ	EN	EN			
224	ヤマウグイスカグラ	Lonicera gracilipes var. gracilipes	スイカズラ	EN	EN	CR		
225	ヤマヒョウタンボク	Lonicera mochidzukiana var. nomurana	スイカズラ	EN	EN	EN		
226	ヒメノダケ	Angelica cartilaginosmarginata var. cartilaginosmarginata	ゼリ	EN	EN	EN		
227	ミシマサイコ	Bupleurum falcatum	ゼリ	EN	VU	EN	VU	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
228	ツルギハナウド	Heracleum sphondylium var. turugisanense	ゼリ	EN	VU	VU	EN	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
229	ヤマゼリ	Ostericum sieboldii	ゼリ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
230	ムカゴニンジン	Sium ninsi	ゼリ	EN	VU	VU		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。

危急 (VU : 絶滅危惧Ⅱ類) : 199 種類

No.	和 名	学 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
				2020	2010	2000		
1	ヒメスギラン	Huperzia miyoshiana	ヒカゲノカズラ	VU	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
2	クサマルハチ	Cyathea hancockii	ヘゴ	VU	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
3	ホウライシダ	Adiantum capillus-veneris	イノモトソウ	VU	VU	VU		
4	ナカミシシラン	Haplopteris fudzinoi	イノモトソウ	VU	VU	VU		
5	ハチジョウシダ	Pteris fauriei	イノモトソウ	VU	VU	VU		
6	アイコハチジョウシダ	Pteris laurilivicola	イノモトソウ	VU	VU	EN		
7	ヤワラハチジョウシダ	Pteris natiensis	イノモトソウ	VU	EN	EN	EN	確認個体数・地点数の増加。
8	イワヤシダ	Diplazopsis cavaleriana	イワヤシダ	VU	VU	CR		
9	クロガネシダ	Asplenium coenobiale	チャセンシダ	VU	EN	EN	VU	確認個体数・地点数の増加。
10	イチョウシダ	Asplenium ruta-muraria	チャセンシダ	VU	VU	VU	NT	
11	トサノミソダモドキ	Thelypteris flexilis	ヒメシダ	VU	EN	EN	VU	確認個体数・地点数の増加。
12	ヨコグラヒメワラビ	Thelypteris hattorii	ヒメシダ	VU	VU			
13	イワハバガネワラビ	Thelypteris musashiensis	ヒメシダ	VU	VU			
14	テハワラビ	Athyrium atkinsonii	メンダ	VU	VU		VU	
15	キリシマヘビノネゴザ	Athyrium kirishimaense	メンダ	VU	VU			分類学的な検討により、ウスノヘビノネゴザ(RL2010:VU)を含めて本記述する。
16	ツクシイヌワラビ	Athyrium kuratae	メンダ	VU	VU			
17	サキモイヌワラビ	Athyrium oblitescens	メンダ	VU	VU			
18	ニセコクモウクジャク	Diplazium conterminum	メンダ	VU	VU	CR		
19	オオノミヤマノコギシダ	Diplazium hayatae	メンダ	VU	VU			
20	オサンダ	Blechnum amabile	シシガシラ	VU	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
21	ハガレカナワラビ	Arachniodes yasui-inoue var. yasui-inoue	オンダ	VU	VU		VU	
22	ハチジョウベニシダ	Dryopteris caudipinna	オンダ	VU	VU			
23	ツクシイワヘゴ	Dryopteris commixta	オンダ	VU	VU	VU		
24	ニセゴレイタシダ	Dryopteris hadanoi	オンダ	VU	VU	EN	NT	
25	ワカナシダ	Dryopteris kuratae	オンダ	VU	VU	VU		
26	キヨミオウクジャク	Dryopteris namekatae	オンダ	VU	VU	VU		
27	オウセベニシダ	Dryopteris nyo-itoana	オンダ	VU	VU			
28	ナガサキシダ	Dryopteris sieboldii	オンダ	VU	NT			確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
29	ヌカイトチシダマガイ	Dryopteris simasaki	オンダ	VU	VU			
30	チャボイノデ	Polystichum igaense	オンダ	VU	VU	VU		
31	イワオモダカ	Pyrosia hastata	ウラボシ	VU	VU			
32	トガサワラ	Pseudotsuga japonica	マツ	VU	VU	VU	VU	
33	コメツガ	Tsuga diversifolia	マツ	VU	VU	VU		
34	ミヤマビャクシン	Juniperus chinensis var. sargentii	ヒノキ	VU	VU	VU		
35	ネズ	Juniperus rigida	ヒノキ	VU	VU	VU		
36	クロハ	Thuja standishii	ヒノキ	VU	VU	VU		
37	コウホネ	Nuphar japonica	スイレン	VU	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
38	ミヤコアオイ	Asarum asperum var. asperum	ウマノスズクサ	VU	VU	VU		
39	ヒメカンアオイ	Asarum fauriei var. takaoi	ウマノスズクサ	VU	VU	VU		
40	ホシザキカンアオイ	Asarum sakawanum var. stellatum	ウマノスズクサ	VU	EN	EN	EN	確認個体数・地点数の増加。
41	ショウブ	Acorus calamus	ショウブ	VU	VU	VU		
42	クワズイモ	Alocasia odora	サトイモ	VU	VU	VU		
43	マイヅルテンナンショウ	Arisaema heterophyllum	サトイモ	VU	VU	EX	VU	
44	シコクテンナンショウ	Arisaema iyoanum subsp. nakaianum	サトイモ	VU	VU	EN	EN	
45	ナンゴクウランマソウ	Arisaema thunbergii subsp. thunbergii	サトイモ	VU	VU	EN		
46	ヤナギスズタ	Blyxa japonica	トチカガミ	VU	VU			
47	ミスオハロ	Ottelia alismoides	トチカガミ	VU	VU	VU	VU	
48	シバサ	Triglochin asiatica	シバサ	VU	VU	VU	NT	
49	アマモ	Zostera marina	アマモ	VU	VU			
50	リュウノヒゲモ	Stuckenia pectinata	ヒルムシロ	VU	VU	VU	NT	

危急 (VU : 絶滅危惧Ⅱ類)

No.	和 名	学 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
				2020	2010	2000		
51	シロジャクシヨウ	Burmanna cryptopetala	ヒナノジャクシヨウ	VU	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
52	チャボシライトソウ	Chionographis koidzumiana	シュロソウ	VU	VU	EN	VU	
53	トサコバイモ	Fritillaria shikokiana	ユリ	VU	VU	EN	VU	
54	エビネ	Calanthe discolor	ラン	VU	VU	CR	NT	
55	ナツエビネ	Calanthe puberula	ラン	VU	VU	VU	VU	
56	キンラン	Cephalanthera falcata	ラン	VU	VU	VU	VU	
57	クマガイソウ	Cypripedium japonicum	ラン	VU	CR	CR	VU	確認個体数・地点数の増加。
58	ベニカヤラン	Gastrochilus matsuran	ラン	VU	VU	VU	VU	
59	アキザキヤツシロラン	Gastrodia confusa	ラン	VU	VU	CR		
60	ヤウシマアカシスラン	Hetaeria yakusimensis	ラン	VU	VU	CR	VU	
61	コオロギラン	Stigmatodactylus sikokianus	ラン	VU	VU	CR	VU	
62	ヒトツボクロ	Tipularia japonica	ラン	VU	VU	EN		
63	キンバイザサ	Curculigo orchoides	キンバイザサ	VU	VU	VU		
64	ヒメウギボウシ	Hosta longipes var. gracillima	クサスギカズラ	VU	VU	VU		
65	ユキザサ	Maianthemum japonicum	クサスギカズラ	VU	VU	VU		
66	ヒロウ	Livistona chinensis var. subglobosa	ヤシ	VU	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
67	ミクリ	Sparganium erectum	ガマ	VU	CR	CR	NT	確認個体数・地点数の増加。
68	オオミクリ	Sparganium erectum var. macrocarpum	ガマ	VU	VU		VU	
69	ナガエミクリ	Sparganium japonicum	ガマ	VU	VU	CR	NT	
70	ニッポニヌメヒゲ	Eriocaulon taquetii	ホシクサ	VU	VU			
71	クロボシソウ	Luzula plumosa subsp. dilatata	イグサ	VU	VU			
72	マツバスゲ	Carex biwensis	カヤツリグサ	VU	NT	NT		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
73	ミヤマジュズスゲ	Carex dissitiflora	カヤツリグサ	VU	VU			
74	ミセンアオスゲ	Carex horikawae	カヤツリグサ	VU	VU			
75	キノクニスゲ	Carex matsumurae	カヤツリグサ	VU	VU	VU	NT	
76	ミヤマウスゲ	Carex odontostoma	カヤツリグサ	VU	VU		VU	
77	オタルスゲ	Carex otaruensis	カヤツリグサ	VU	VU	VU		
78	ツルミヤマカンスゲ	Carex shikokiana	カヤツリグサ	VU	VU			
79	トサノハマスゲ	Cyperus rotundus var. yoshinagae	カヤツリグサ	VU	CR	CR	EN	確認個体数・地点数の増加。
80	ヌマハライ	Eleocharis mamillata var. cyclocarpa	カヤツリグサ	VU	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
81	マシカクイ	Eleocharis tetraquetra	カヤツリグサ	VU	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
82	シオカゼテンツキ	Fimbristylis cymosa	カヤツリグサ	VU	VU	VU		
83	イソテンツキ	Fimbristylis pacifica	カヤツリグサ	VU	VU	VU		
84	ヒメホタルイ	Schoenoplectiella lineolata	カヤツリグサ	VU	VU	VU		
85	エノアブラガヤ	Scirpus asiaticus	カヤツリグサ	VU	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
86	ミヤマヌカホ	Agrostis flaccida	イネ	VU	VU			
87	アオウシノケグサ	Festuca ovina var. coreana	イネ	VU	VU	VU		
88	トキワススキ	Miscanthus floridulus	イネ	VU	EN			確認個体数・地点数の増加。
89	オオネズミガヤ	Muhlenbergia longistolon	イネ	VU	VU			
90	ムカゴツツリ	Poa tuberifera	イネ	VU	VU	EN		
91	オニシバ	Zoysia macrostachya	イネ	VU	VU			
92	ルイヨウボタン	Caulophyllum robustum	メギ	VU	VU	VU		
93	ルイヨウショウマ	Actaea asiatica	キンポウゲ	VU	VU			
94	ニンソウ	Anemone flaccida var. flaccida	キンポウゲ	VU	VU			
95	タマカラマツ	Thalictrum watanabei	キンポウゲ	VU	EN	EN	VU	確認個体数・地点数の増加。
96	コキンポウゲ	Ranunculus japonicus var. rostratus	キンポウゲ	VU	DD			情報が集まり評価された。
97	フッキソウ	Pachysandra terminalis	ツゲ	VU	VU	VU		
98	キリンマミズキ	Corylopsis glabrescens	マンサク	VU	VU	VU	NT	
99	ヤシヤゼジャク	Ribes ambiguum	スグリ	VU	EN	CR	NT	確認個体数・地点数の増加。
100	シコウトリアシショウマ	Astilbe thunbergii var. shikokiana	ユキノシタ	VU	VU			

危急 (VU : 絶滅危惧Ⅱ類)

No.	和 名	学 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
				2020	2010	2000		
101	チャボツメレンゲ	Meterostachys sikokianus	ベンケイソウ	VU	VU	VU	VU	
102	トキリマメ	Rhynchosia acuminatifolia	マメ	VU	VU			
103	ツルフジバカマ	Vicia amoena	マメ	VU	VU	VU		
104	ヒナノキンチャウ	Polygala tatarinowii	ヒメハギ	VU	CR	CR	EN	確認個体数・地点数の増加。
105	ヒナノカンザシ	Salomonina ciliata	ヒメハギ	VU	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
106	チョウセンキンミズヒキ	Agrimonia coreana	バラ	VU	VU		VU	
107	アズキナン	Aria alnifolia	バラ	VU	VU	VU		
108	イシツチザクラ	Cerasus shikokuensis	バラ	VU	VU	NT		
109	テリハキンバイ	Potentilla riparia var. riparia	バラ	VU	VU	CR		
110	マルバアキグミ	Elaeagnus umbellata var. rotundifolia	グミ	VU	VU			
111	クロカンバ	Rhamnus costata	クロウメモドキ	VU	VU	VU		
112	キビノクロウメモドキ	Rhamnus yoshinoi	クロウメモドキ	VU	VU	NT	VU	
113	ヒカゲミズ (タチゲヒカゲミズを含む)	Parietaria micrantha	イラクサ	VU	DD		VU※	タチゲヒカゲミズ (var. coreana, RL2010: DD) を含めることとし、情報が集まり評価された。※環境省はタチゲヒカゲミズの評価。
114	シラヒゲソウ	Pamassia foliosa var. foliosa	ニシキギ	VU	EN			確認個体数・地点数の増加。
115	トモエソウ	Hypericum ascyron var. ascyron	オトギリソウ	VU	VU	EN		
116	アケボノスミレ	Viola rossii	スミレ	VU	EN	DD		確認個体数・地点数の増加。
117	ミヤマスミレ	Viola selkirkii	スミレ	VU	VU			
118	ヒナスミレ	Viola tokubuchiana var. takedana	スミレ	VU	EN			確認個体数・地点数の増加。
119	ヒメフウロ	Geranium robertianum	フウロソウ	VU	VU	VU		
120	ケナシエゾミソハギ	Lythrum salicaria f. glabrum	ミソハギ	VU	VU			
121	ケミヤマタニタデ	Circaea alpina subsp. caulescens	アカハダ	VU	VU			
122	トダイアカハダ	Epilobium platystigmatosum	アカハダ	VU	VU	VU	VU	
123	ヒメノボタン	Osbeckia chinensis	ノボタン	VU	EN	EN	VU	確認個体数・地点数の増加。
124	メグスリノキ	Acer maximowiczianum	ムクロジ	VU	VU			
125	チョウセンナニワズ	Daphne pseudomezereum var. koreana	ジンチョウゲ	VU	VU	VU	VU	
126	オニシバ	Daphne pseudomezereum var. pseudomezereum	ジンチョウゲ	VU	VU			
127	ハクサンハタザオ	Arabidopsis halleri subsp. gemmifera var. senanensis	アブラナ	VU	CR			確認個体数・地点数の増加。
128	スズシロソウ	Arabis flagellosa var. flagellosa	アブラナ	VU	NT			確認個体数・地点数の減少・生育環境の消失・劣化等。
129	ミツバコンロンソウ	Cardamine anemonoides	アブラナ	VU	VU			
130	コイヌガラシ	Rorippa cantoniensis	アブラナ	VU	VU	EX	NT	
131	キイレツチドリモチ	Balanophora tobiicola	ツチドリモチ	VU				RL2010以降に新たに標本採集・同定された。
132	ツクバネ	Buckleya lanceolata	ビャクダン	VU	VU			
133	ハマサジ	Limonium tetragonum	イソマツ	VU	VU	NT	NT	
134	ホソバノウナギツカミ	Persicaria praetermissa	タデ	VU	VU	NT		
135	ヌカボタデ	Persicaria taquetii	タデ	VU	EN	NT	VU	確認個体数・地点数の増加。
136	アキノミチヤナギ	Polygonum polyneuron	タデ	VU	VU	CR		
137	オオヤマフスマ	Arenaria lateriflora	ナデシコ	VU	VU	VU		
138	フングロセンノウ	Silene miqueliana	ナデシコ	VU	VU	VU		
139	ホソバハマアカザ	Atriplex patens	ヒユ	VU	EN			確認個体数・地点数の増加。
140	ハマツナ	Suaeda maritima subsp. asiatica	ヒユ	VU	VU	VU		
141	キレンゲショウマ	Kirengeshoma palmata	アジサイ	VU	VU	VU	VU	
142	イワザクラ	Primula tosaensis var. tosaensis	サクラソウ	VU	EN	EN	NT	確認個体数・地点数の増加。
143	ヒロハノミズノイ	Symplocos tanakae	ハイノキ	VU	VU	VU		
144	イワカガミ	Schizocodon soldanelloides var. soldanelloides	イワウメ	VU	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
145	コアブラツツジ	Enkianthus nudipes	ツツジ	VU	VU	VU		
146	アカモノ	Gaultheria adenostrich	ツツジ	VU	VU	VU		
147	マルバノイチヤクソウ	Pyrola nephrophylla	ツツジ	VU	VU			
148	ツクシアケボノツツジ	Rhododendron pentaphyllum var. pentaphyllum	ツツジ	VU	VU		NT	
149	バイカツツジ	Rhododendron semibarbatum	ツツジ	VU	VU	VU		
150	エゾノヨツバムグラ	Galium kamtschaticum var. kamtschaticum	アカネ	VU	VU			

危急 (VU : 絶滅危惧Ⅱ類)

No.	和 名	学 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
				2020	2010	2000		
151	キクムグラ	Galium kikumugura	アカネ	VU	VU	VU		
152	イヌセンブリ	Swertia tosaensis	リンドウ	VU	VU	EN	VU	
153	イケマ	Cynanchum caudatum var. caudatum	キョウチクトウ	VU	VU	VU		
154	インダテササチバ	Vincetoxicum calcareum	キョウチクトウ	VU	EN	EN	VU	確認個体数・地点数の増加。
155	タチカモヅル	Vincetoxicum glabrum	キョウチクトウ	VU	NT	NT		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
156	クサナギオゴケ	Vincetoxicum katoi	キョウチクトウ	VU	DD	EN	VU	情報が集まり評価された。
157	ホタルカズラ	Aegonychon zollingeri	ムラサキ	VU	VU	VU		
158	チシャノキ	Ehretia acuminata var. obovata	ムラサキ	VU	VU	CR		
159	サイコウイボタ	Ligustrum ibota	モクセイ	VU	VU	VU		
160	イワギリソウ	Opithandra primuloides	イワタバコ	VU	EN	EN	VU	確認個体数・地点数の増加。
161	キウカラクサ	Ellisiophyllum pinnatum	オオハコ	VU	EN	EN	NT	確認個体数・地点数の増加。
162	イヌノフグリ	Veronica polita	オオハコ	VU	VU	NT	VU	
163	オオヒナノウスツボ	Scrophularia kakudensis	ゴマノハグサ	VU	VU	EN		
164	シソバウリクサ	Vandellia setulosa	アゼナ	VU	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
165	スズムシバ	Strobilanthes oligantha	キツネノマゴ	VU	VU	EN		
166	ラショウモンカズラ	Meehania urticifolia	シソ	VU	VU	VU		
167	コナミキ	Scutellaria guilielmii	シソ	VU	CR	CR	VU	確認個体数・地点数の増加。
168	ミヤマナミキ	Scutellaria shikokiana var. shikokiana	シソ	VU	VU			
169	オオナンバンギセル	Aeginetia sinensis	ハマウツボ	VU	VU			
170	ゴマクサ	Centranthera cochinchinensis var. lutea	ハマウツボ	VU	CR	CR	VU	確認個体数・地点数の増加。
171	ハマウツボ	Orobanche coerulescens	ハマウツボ	VU	VU	EX	VU	
172	ツゲモチ	Ilex goshiensis	モチノキ	VU	VU	VU		
173	ツルツゲ	Ilex rugosa var. rugosa	モチノキ	VU	VU			
174	ソバタ	Adenophora remotiflora	キキョウ	VU	VU	VU		
175	ヤナギノギク	Aster hispidus var. leptodadus	キク	VU	NT	NT	VU	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
176	ヤハズハハコ	Anaphalis sinica var. sinica	キク	VU	NT			確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
177	シコクシロギク	Aster yoshinaganus	キク	VU	VU	VU		
178	コバサガングビソウ	Carpesium faberi	キク	VU	VU	VU	VU	
179	イワギク	Chrysanthemum zawadskii	キク	VU	CR	CR	VU	確認個体数・地点数の増加。
180	マルバダケブキ	Ligularia dentata	キク	VU	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
181	ミヤマコウモリソウ	Parasenecio farfarifolius var. acerinus	キク	VU			EN	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
182	ヒメコウモリソウ	Parasenecio shikokianus	キク	VU	VU	VU	VU	
183	コウシュウヒゴタイ	Saussurea amabilis	キク	VU	VU	VU		
184	ホクチアザミ	Saussurea gracilis	キク	VU	DD	CR		情報が集まり評価された。
185	ミヤマトウヒレン	Saussurea pennata	キク	VU	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
186	キビシロタンポポ	Taraxacum hideoi	キク	VU				RL2010以降に新たに標本採集・同定された。
187	カンサイタンポポ	Taraxacum japonicum	キク	VU	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
188	クシバタンポポ	Taraxacum pectinatum	キク	VU	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
189	ウラギク	Tripolium pannonicum	キク	VU	VU	NT	NT	
190	キダチニンドウ	Lonicera hypoglauca	スイカズラ	VU	VU			
191	コウゲイスカズラ	Lonicera ramosissima var. ramosissima	スイカズラ	VU	VU	VU		
192	ウラジロウコギ	Eleutherococcus hypoleucus	ウコギ	VU	VU			
193	ヤマウコギ	Eleutherococcus spinosus var. spinosus	ウコギ	VU	VU			
194	ホソバクセツニンジン	Panax japonicus var. angustatus	ウコギ	VU	VU			
195	ミヤマノダケ	Angelica cryptotaeniifolia	ゼリ	VU			CR	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
196	ヒュウガセンキュウ	Angelica minamitanii	ゼリ	VU			CR	RL2010以降に新たに標本採集・同定された。
197	イシヅチボウフウ	Angelica saxicola	ゼリ	VU	EN	EN	CR	確認個体数・地点数の増加。
198	トサボウフウ	Angelica yoshinagae	ゼリ	VU	VU	VU	VU	
199	イブキボウフウ	Libanotis coreana var. coreana	ゼリ	VU	VU	VU		

準絶滅危惧種 (NT) : 93 種類

No.	和 名	学 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
				2020	2010	2000		
1	シチトウハナワラビ	<i>Botrychium atrovirens</i>	ハナヤスリ	NT	NT			
2	ヒロハハナヤスリ	<i>Ophioglossum vulgatum</i>	ハナヤスリ	NT	NT			
3	リュウビンタイ	<i>Angiopteris lygodiiifolia</i>	リュウビンタイ	NT	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
4	ヤマドリゼンマイ	<i>Osmundastrum cinnamomeum</i> var. <i>fokiense</i>	ゼンマイ	NT	NT	NT		
5	アカウキクサ	<i>Azolla pinnata</i> subsp. <i>asiatica</i>	サンショウモ	NT	NT	EN	EN	
6	エビガラシダ	<i>Cheilanthes chusana</i>	イノモトソウ	NT	NT	NT	VU	
7	ハチショウシダモドキ	<i>Pteris oshimensis</i>	イノモトソウ	NT	NT	VU		
8	アミシダ	<i>Thelypteris griffithii</i> var. <i>wilfordii</i>	ヒメシダ	NT	VU	EN		確認個体数・地点数の増加。
9	コガネシダ	<i>Woodsia macrochaena</i>	イワデンダ	NT	NT			
10	イワデンダ	<i>Woodsia polystichoides</i>	イワデンダ	NT	NT			
11	ハコネシゲチシダ	<i>Athyrium christensenianum</i>	メシダ	NT	NT			
12	サトメシダ	<i>Athyrium deltoideifrons</i>	メシダ	NT	NT			
13	ギフヘシダ	<i>Dryopteris kinkiensis</i>	オンシダ	NT	NT			
14	オリヅルシダ	<i>Polystichum lepidocaulon</i>	オンシダ	NT	VU			確認個体数・地点数の増加。
15	ホテイシダ	<i>Lepisorus annuifrons</i>	ウラボシ	NT	NT			
16	カラクサシダ	<i>Pleurosoriopsis makinoi</i>	ウラボシ	NT	NT			
17	トサノアオイ	<i>Asarum costatum</i>	ウマノスズクサ	NT	VU	VU	NT	確認個体数・地点数の増加。
18	クロフネサイシン	<i>Asarum dimidiatum</i>	ウマノスズクサ	NT	VU	VU	NT	確認個体数・地点数の増加。
19	サンヨウアオイ	<i>Asarum hexalobum</i> var. <i>hexalobum</i>	ウマノスズクサ	NT	NT	NT		
20	コウキクサ	<i>Lemna minor</i>	サトイモ	NT	NT			
21	シロ/ハエンレイソウ	<i>Trillium tschonoskii</i>	シュロソウ	NT	NT	NT		
22	マル/ハサンキライ	<i>Smilax stans</i>	サルトリイバラ	NT	NT			
23	マメツタラン	<i>Bulbophyllum drymoglossum</i>	ラン	NT	NT	NT	NT	
24	クロヤツシロラン	<i>Gastrodia pubilabiata</i>	ラン	NT	NT	CR		
25	ウスギムヨウラン	<i>Lecanorchis kiusiana</i>	ラン	NT	NT	EN	NT	ウスギムヨウラン(RL2010)から和名変更。
26	クロムヨウラン	<i>Lecanorchis nigricans</i>	ラン	NT	NT	VU		
27	ムカゴサイシン	<i>Nervilia nipponica</i>	ラン	NT	EN	CR	EN	確認個体数・地点数の増加。
28	アウラン	<i>Vanda falcata</i>	ラン	NT	VU	VU	VU	確認個体数・地点数の増加。
29	コ/バギボウシ	<i>Hosta sieboldii</i>	クサスギカズラ	NT	NT			
30	クロホシクサ	<i>Eriocaulon parvum</i>	ホシクサ	NT	NT	NT	VU	
31	ホソイ	<i>Juncus setchuensis</i>	イグサ	NT	NT	DD		
32	クシュウスゲ	<i>Carex alterniflora</i> var. <i>elongatula</i>	カヤツリグサ	NT	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
33	サナギスゲ	<i>Carex grallatoria</i> var. <i>heteroclita</i>	カヤツリグサ	NT	NT	NT		
34	タカネマスキサ	<i>Carex planata</i> var. <i>planata</i>	カヤツリグサ	NT	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
35	チャボイ	<i>Eleocharis parvula</i>	カヤツリグサ	NT	NT		VU	
36	ナガボテンツキ	<i>Fimbristylis longispica</i> var. <i>longispica</i>	カヤツリグサ	NT	NT			
37	ヒロードテンツキ	<i>Fimbristylis sericea</i>	カヤツリグサ	NT	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
38	イガクサ	<i>Rhynchospora rubra</i>	カヤツリグサ	NT	NT	VU		
39	コシンジュガヤ	<i>Scleria parvula</i>	カヤツリグサ	NT	NT			
40	ヒメコヌカグサ	<i>Agrostis valvata</i>	イネ	NT	NT	EN	NT	
41	ウンヌケモドキ	<i>Eulalia quadrinervis</i>	イネ	NT	NT	EN	NT	
42	チイサンウシノケグサ	<i>Festuca ovina</i> var. <i>chiisanensis</i>	イネ	NT	VU	VU	VU	確認個体数・地点数の増加。
43	コバノウシノシツペイ	<i>Hemarthria compressa</i>	イネ	NT	NT			
44	アシカキ	<i>Leersia japonica</i>	イネ	NT	NT			
45	ハイキビ	<i>Panicum repens</i>	イネ	NT	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
46	アイアシ	<i>Phacelurus latifolius</i>	イネ	NT	NT	EN		
47	ナガミノオニシバ	<i>Zoysia sinica</i> var. <i>nipponica</i>	イネ	NT	NT	NT		
48	ハイカイガリソウ	<i>Epimedium diphyllum</i>	メギ	NT	NT	NT		
49	ヤチマタイガリソウ	<i>Epimedium grandiflorum</i> var. <i>grandiflorum</i>	メギ	NT	NT	NT	NT	
50	ヒメイガリソウ	<i>Epimedium trifoliatobinatum</i>	メギ	NT	NT			

準絶滅危惧 (NT)

No.	和 名	学 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
				2020	2010	2000		
51	ヒメイチゲ	Anemone debilis	キンポウゲ	NT	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
52	トリガタハンショウツル	Clematis tosaensis	キンポウゲ	NT	NT			
53	コゼリハオウレン	Coptis japonica var. japonica	キンポウゲ	NT	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
54	センダイソウ	Saxifraga sendaica	ユキノシタ	NT	VU	VU	NT	確認個体数・地点数の増加。
55	ツメレンゲ	Orostachys japonica	ベンケイソウ	NT	NT	NT	NT	
56	ヤハズマンネングサ	Sedum tosaense	ベンケイソウ	NT	NT	EN	VU	
57	タコノアシ	Penthorum chinense	タコノアシ	NT	NT	NT	NT	
58	シコクエビラフジ	Vicia venosa subsp. yamanakae	マメ	NT	VU			確認個体数・地点数の増加。
59	ツルキンバイ	Potentilla rosulifera	バラ	NT	CR			確認個体数・地点数の増加。
60	コウヤグミ	Elaeagnus numajiriana	グミ	NT	NT	EN		
61	ヨコグラノキ	Berchemiella berchemiifolia	クロウメモドキ	NT	NT	VU		
62	キバナノコマノツメ	Viola biflora var. biflora	スミレ	NT	VU	VU		確認個体数・地点数の増加。
63	オノエヤナギ	Salix udensis	ヤナギ	NT	NT	EN		
64	ミズマツバ	Rotala mexicana	ミソハギ	NT	NT	VU	VU	
65	ミズカシグサ	Rotala rosea	ミソハギ	NT	NT	CR	VU	
66	ウシタキシソウ	Circaea cordata	アカバナ	NT	NT			
67	ナガバノウナギツカミ	Persicaria hastatosagittata	タデ	NT	NT		NT	
68	オオネバリタデ	Persicaria viscofera var. robusta	タデ	NT	NT	EN		
69	コギシギシ	Rumex dentatus subsp. klotzschianus	タデ	NT	NT	VU	VU	
70	コモウセンゴケ	Drosera spatulata	モウセンゴケ	NT	NT	NT		
71	マルミヤマゴボウ	Phytolacca japonica	ヤマゴボウ	NT	NT	EN		
72	ユキワリソウ	Primula modesta var. modesta	サクラソウ	NT	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
73	ドウダンツツジ	Enkianthus perulatus	ツツジ	NT	NT	EN		
74	スズサイコ	Vincetoxicum pycnostelma	キョウチクトウ	NT	NT	EN	NT	
75	マルバノサウトウガラシ	Deinostema adenocaulum	オオハコ	NT	NT	CR	VU	
76	トラノオスズカケ	Veronicastrum axillare	オオハコ	NT	NT	VU		
77	ミミカキグサ	Utricularia bifida	タヌキモ	NT	NT	EN		
78	ミヤマヒキオコン	Isodon shikokianus var. shikokianus	シソ	NT	VU	VU		確認個体数・地点数の増加。
79	コシロネ	Lycopus cavaleriei	シソ	NT	NT	NT		分類学的な検討により、ヒメサルタレコ(RL2010:NT)を含めて本種とする。
80	ミズネコノオ	Pogostemon stellatus	シソ	NT	NT	NT	NT	
81	ミノコウジュ	Salvia plebeia	シソ	NT	NT	VU	NT	
82	スズメハコベ	Microcarpaea minima	ハエドクソウ	NT	NT	CR	VU	
83	シュンジュギク	Aster savatieri var. pygmaeus	キク	NT	NT	VU		
84	ミヤマヤブタハコ	Carpesium triste	キク	NT	NT			
85	トゲアザミ	Cirsium japonicum var. horridum	キク	NT	NT	NT		
86	ヤマヒヨドリ	Eupatorium variabile	キク	NT	VU	EN		確認個体数・地点数の増加。
87	ヒメヒゴタイ	Saussurea pulchella	キク	NT	NT	VU	VU	
88	オオトウヒレン	Saussurea shikokiana	キク	NT	VU	VU		確認個体数・地点数の増加。
89	クマノギク	Sphagneticola calendulacea	キク	NT	NT	NT		
90	イワツクバネウツギ	Zabelia integrifolia	スイカズラ	NT	NT	NT	VU	
91	イヌトウキ	Angelica shikokiana	ゼリ	NT	NT	NT	VU	
92	シヤク	Anthriscus sylvestris	ゼリ	NT	EN	CR		確認個体数・地点数の増加。
93	ハマゼリ	Cnidium japonicum	ゼリ	NT	NT	NT		

情報不足 (DD) :49 種類

No.	和 名	学 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
				2020	2010	2000		
1	エゾノヒメクラマゴケ	Selaginella helvetica	イワヒバ	DD	DD	CR		
2	タチクラマゴケ	Selaginella nipponica	イワヒバ	DD	DD	DD		
3	アカハナワラビ	Botrychium nipponicum	ハナヤスリ	DD				過去に採集された標本と他地点で現存が確認されたが、評価のための情報不足。
4	アイノコホラシノブ	Odontosoria intermedia	ホングウシダ	DD	DD			
5	セイタカイワヒメワラビ	Hypolepis alpina	コバノイシカグマ	DD	DD			
6	アオチャセンシダ	Asplenium viride	チャセンシダ	DD	DD	CR		
7	ヒメシケシダ	Deparia petersenii var. yakusimensis	メシダ	DD	DD			
8	クロミノイタチシダ	Dryopteris melanocarpa	オンシダ	DD				標本採集・同定されているが、評価のための情報不足。
9	ヒツジグサ	Nymphaea tetragona var. tetragona	スイレン	DD	DD	CR		
10	クロモジ	Lindera umbellata var. umbellata	クスノキ	DD	DD			
11	ヤマコンニャク	Amorphophallus kiusianus	サトイモ	DD	DD	EX	VU	
12	トチカガミ	Hydrocharis dubia	トチカガミ	DD	DD	DD	NT	
13	ツツイトモ	Potamogeton pusillus	ヒルムシロ	DD	DD		VU	
14	タチコウガイゼキショウ	Juncus krameri	イグサ	DD	DD	DD		
15	アリマイトスゲ	Carex alterniflora var. arimaensis	カヤツリグサ	DD				標本採集・同定されているが、現状不明。
16	ビロードスゲ	Carex miyabei	カヤツリグサ	DD	DD	CR		
17	シロガヤツリ	Cyperus pacificus	カヤツリグサ	DD	DD			
18	エノハライ	Eleocharis maximowiczii	カヤツリグサ	DD	DD	CR		
19	イトヌノハナヒゲ	Rhynchospora faberi	カヤツリグサ	DD	DD	EX		
20	ヒメタイヌビエ	Echinochloa crus-galli var. formosensis	イネ	DD	DD			
21	ヒロハノオオウシノケグサ	Festuca rubra var. pacifica	イネ	DD	DD	EX		
22	カモノハシ	Ischaemum aristatum var. crassipes	イネ	DD	DD			
23	キタササガヤ	Leptatherum japonicum var. boreale	イネ	DD	DD			
24	ウンゼンザサ	Sasa gracillima	イネ	DD	DD			
25	コウシュンシバ	Zoysia matrella	イネ	DD	DD			
26	タンナドリカブト	Aconitum japonicum subsp. napiforme	キンボウゲ	DD	DD	NT		
27	フジセンニンソウ	Clematis fujisanensis	キンボウゲ	DD	DD			
28	ショウドシマベンケイソウ	Hylotelephium verticillatum var. lithophilos	ベンケイソウ	DD	DD			
29	ギンソウ	Phedimus aizoon var. floribundus	ベンケイソウ	DD	CR	CR		評価のための情報不足。
30	タチネコハギ	Lespedeza pilosa var. erecta	マメ	DD	DD			
31	クサフジ	Vicia cracca	マメ	DD	DD			
32	ツクシヤマザクラ	Cerasus jamasakura var. chikusiensis	バラ	DD	DD			ツクシザクラ(RL2010)から和名変更。
33	カスミザクラ	Cerasus leveilleana	バラ	DD	DD			
34	ハルニレ	Ulmus davidiana var. japonica	ニレ	DD	DD	CR		
35	ツルコウゾ	Broussonetia kaempferi var. kaempferi	クワ	DD	DD			
36	トカリバヤブマオ	Boehmeria japonica var. japonica	イラクサ	DD	DD			
37	ミノハコベ	Elatine triandra	ミノハコベ	DD	DD	DD		
38	ヒメナツトウダイ	Euphorbia tsukamotoi	トウダイグサ	DD	DD			
39	オニビシ	Trapa natans var. quadrispinosa	ミソハギ	DD	DD			
40	ミヤマシキミ	Skimmia japonica var. japonica	ミカン	DD	DD			
41	コカラスザンショウ	Zanthoxylum fauriei	ミカン	DD	DD			
42	ヤマハコベ	Stellaria uchiyamana	ナデシコ	DD	DD	EN		
43	ハチジョウイノコツチ	Achyranthes bidentata var. hachijoensis	ヒユ	DD	DD			
44	ムラサキミカキグサ	Utricularia uliginosa	タヌキモ	DD	DD	EX	NT	
45	セトエゴマ	Perilla setoyensis	シソ	DD	DD			
46	アソノコギリソウ	Achillea alpina subsp. subcartilaginea	キク	DD	DD		NT	
47	ヒメアザミ	Cirsium buergeri	キク	DD	DD			
48	ハクサンボク	Viburnum japonicum var. japonicum	ガマズミ	DD	DD			
49	ハコネウツギ	Weigela coraeensis var. coraeensis	スイカズラ	DD	DD			

高知県レッドリスト（植物編）2020年改訂版（50音順）

No.	和名	科名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
			2020	2010	2000		
1	アイアシ	イネ	NT	NT	EN		
2	アイアスカイノデ	オシダ	EN	VU	VU		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
3	アイコハチジョウシダ	イノモトソウ	VU	VU	EN		
4	アイノコホラシノブ	ホングウシダ	DD	DD			
5	アオウシノケグサ	イネ	VU	VU	VU		
6	アオカモメツル	キョウチクトウ	CR	EN	EN		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
7	アオコウガイゼキショウ	イグサ	CR	CR	CR		
8	アオコウツギ	アジサイ	EN	DD			情報が集まり評価された。
9	アオチドリ	ラン	CR	CR	EN		
10	アオチャセンシダ	チャセンシダ	DD	DD	CR		
11	アオホオズキ	ナス	CR	CR	CR	VU	
12	アカウキクサ	ザンショウモ	NT	NT	EN	EN	
13	アカソ	イラクサ	EN	EN	CR		
14	アカハナワラビ	ハナヤスリ	DD				過去に採集された標本と他地点で現存が確認されたが、評価のための情報不足。
15	アカモノ	ツツジ	VU	VU	VU		
16	アキザキナギラン	ラン	CR	CR	CR	EN	
17	アキザキヤツシロラン	ラン	VU	VU	CR		
18	アキタスズムシソウ	ラン	CR	VU	EN		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。分類学的研究により、セイタカスズムシソウから変更。
19	アキノハハコグサ	キク	CR	CR	CR	EN	
20	アキノミチヤナギ	タデ	VU	VU	CR		
21	アケボノスミレ	スミレ	VU	EN	DD		確認個体数・地点数の増加。
22	アシカキ	イネ	NT	NT			
23	アスカイノデ	オシダ	EX	EX	EX		
24	アズキナシ	バラ	VU	VU	VU		
25	アゼオトギリ	オトギリソウ	EN	EN	EN	EN	
26	アゼスゲ	カヤツリグサ	CR	CR	EN		
27	アソノコギリソウ	キク	DD	DD		NT	
28	アソイタ	オシダ	CR	CR	CR	VU	
29	アツギノヌカイタチシダマガイ	オシダ	CR	CR			
30	アマモ	アマモ	VU	VU			
31	アミシダ	ヒメシダ	NT	VU	EN		確認個体数・地点数の増加。
32	アリマイトスゲ	カヤツリグサ	DD				標本採集・同定されているが、現状不明。
33	アワコノバイモ	ユリ	EN	CR	CR	VU	確認個体数・地点数の増加。
34	アワボスゲ	カヤツリグサ	EX	EX	EX		
35	イヌマムカゴ	ラン	CR	CR	CR	EN	
36	イガクサ	カヤツリグサ	NT	NT	VU		
37	イガホオズキ	ナス	EN	EN	CR		
38	イケマ	キョウチクトウ	VU	VU	VU		
39	インダテアザミ	キク	EN	CR			確認個体数・地点数の増加。
40	インダテクサタチバナ	キョウチクトウ	VU	EN	EN	VU	確認個体数・地点数の増加。
41	イシヅチカラマツ	キンポウゲ	EN	CR		EN	確認個体数・地点数の増加。
42	イシヅチザクラ	バラ	VU	VU	NT		
43	イシヅチデンナンショウ	サトイモ	CR	CR	CR	CR	
44	イシヅチボウフウ	セリ	VU	EN	EN	CR	確認個体数・地点数の増加。
45	イズヤブノテツ	オシダ	EN	EN			
46	インテンツキ	カヤツリグサ	VU	VU	VU		
47	インヤマアオキ	ツツラフジ	CR	CR	CR		
48	イチョウシダ	チャセンシダ	VU	VU	VU	NT	
49	イチヨウラン	ラン	CR	EN	CR		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
50	イトイ	イグサ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。

No.	和 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
			2020	2010	2000		
51	イトヌノハヒゲ	カヤツリグサ	DD	DD	EX		
52	イトヌノヒゲ	ホシクサ	EN	EN	DD		
53	イトテンツキ	カヤツリグサ	EN	EN	EN	NT	
54	イトトリゲモ	トチカガミ	CR	CR	CR	NT	
55	イヌクログワイ	カヤツリグサ	CR	CR	CR		
56	イヌゴマ	シソ	CR	CR	CR		
57	イヌセンブリ	リンドウ	VU	VU	EN	VU	
58	イヌタマシダ	オシダ	EX	CR	CR		標本(確認・同定済)が採集されてから50年が経過した。
59	イヌトウキ	ゼリ	NT	NT	NT	VU	
60	イヌナズナ	アブラナ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
61	イヌノハヒゲ	カヤツリグサ	CR	CR	CR		
62	イヌノヒゲ	ホシクサ	EN	EN	EN		
63	イヌノフグリ	オオバコ	VU	VU	NT	VU	
64	イヌハギ	マメ	CR	CR	CR	VU	
65	イバラモ	トチカガミ	EX	EX	DD		
66	イブキタイゲキ	トウダイグサ	EN	EN			
67	イブキボウフウ	ゼリ	VU	VU	VU		
68	イモネヤガラ	ラン	CR			EN	RL2010以降に新たに標本採集・同定された。
69	イヨクジャク	メシダ	CR	CR	CR	EN	
70	イヨトンボ	ラン	EN	EN	CR	EN	
71	イヨノミツバウガサ	バラ	EN	DD			情報が集まり評価された。
72	イワイヌワラビ	メシダ	CR	CR	DD		
73	イワウサギシダ	ナヨシダ	CR	CR	EN		
74	イワオモダカ	ウラボシ	VU	VU			
75	イワカガミ	イワウメ	VU	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
76	イワガネ	イラクサ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
77	イワギク	キク	VU	CR	CR	VU	確認個体数・地点数の増加。
78	イワギリソウ	イワタバコ	VU	EN	EN	VU	確認個体数・地点数の増加。
79	イワザクラ	サクラソウ	VU	EN	EN	NT	確認個体数・地点数の増加。
80	イワタケソウ	イネ	EN	EN	EN		
81	イワダレソウ	クマツヅラ	CR	CR	CR		
82	イワチドリ	ラン	CR	CR	CR	EN	
83	イワツクバネウツギ	スイカズラ	NT	NT	NT	VU	
84	イワデンダ	イワデンダ	NT	NT			
85	イワネコノメソウ	ユキノシタ	EN	EN			
86	イワハリガネワラビ	ヒメシダ	VU	VU			
87	イワヤシダ	イワヤシダ	VU	VU	CR		
88	ウエマツソウ	ホンゴウソウ	EN	CR	CR	VU	確認個体数・地点数の増加。
89	ウキヤガラ	カヤツリグサ	CR	EN			確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
90	ウシタキシソウ	アカバタ	NT	NT			
91	ウスギムヨウラン	ラン	NT	NT	EN	NT	ウスギムヨウラン(RL2010)から和名変更。
92	ウスバインシカガマ	コバノイシカガマ	CR	CR	CR	NT	
93	ウスバヒョウタンボク	スイカズラ	EN	EN	CR	VU	
94	ウスヒメワラビモドキ	ナヨシダ	CR				RL2010以降に新たに標本採集・同定された。
95	ウチヨウラン	ラン	EN	EN	CR	VU	
96	ウチワホングウシダ	ホングウシダ	EN	CR	CR	EN	確認個体数・地点数の増加。
97	ウマスゲ	カヤツリグサ	CR	CR	EX		
98	ウラギク	キク	VU	VU	NT	NT	
99	ウラシマソウ	サトイモ	EN	EN	EN		
100	ウラシロウコギ	ウコギ	VU	VU			

No.	和 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
			2020	2010	2000		
101	ウンゼンザサ	イネ	DD	DD			
102	ウンヌケモドキ	イネ	NT	NT	EN	NT	
103	エソアブラガヤ	カヤツリグサ	VU	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
104	エゾシロネ	シソ	EN	EN	EN		
105	エソスズラン	ラン	CR	EN	CR		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
106	エゾヒメクランマゴケ	イワヒバ	DD	DD	CR		
107	エソフユノハナワラビ	ハナヤスリ	CR				RL2010以降に新たに標本採集・同定された。
108	エソノヨツバムグラ	アカネ	VU	VU			
109	エソハルイ	カヤツリグサ	DD	DD	CR		
110	エビガラシダ	イノモトソウ	NT	NT	NT	VU	
111	エビネ	ラン	VU	VU	CR	NT	
112	エビラシダ	ナヨシダ	EN	EN	EN		
113	エンジュウムヨウラン	ラン	EN	CR	DD		確認個体数・地点数の増加。
114	オオアブノメ	オオハコ	CR	CR	DD	VU	
115	オオウミヒルモ	トチカガミ	EN	CR			確認個体数・地点数の増加。ハロフィラ・マヨール(RL2010)から和名変更。
116	オオウラジロノキ	バラ	CR	CR	CR		
117	オオカラスウリ	ウリ	CR	CR	DD		
118	オオウボシダ	ウラボシ	EN	EN	EN		
119	オオダイトウヒレン	キク	EN	VU	VU		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
120	オオタニワタリ	チャセンシダ	EW	EW	EW	VU	
121	オオトウヒレン	キク	NT	VU	VU		確認個体数・地点数の増加。
122	オオナギリスゲ	カヤツリグサ	CR	VU	VU		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
123	オオナンバンギセル	ハマウツボ	VU	VU			
124	オオネズミガヤ	イネ	VU	VU			
125	オオネハルタデ	タデ	NT	NT	EN		
126	オオハイボタ	モクセイ	EN	EN	EN		
127	オオハギボウシ	クサスギカズラ	CR	CR	CR		
128	オオバシナミズニラ	ミズニラ	EN	EN		EN	
129	オオバショリマ	ヒメシダ	EX	EX			
130	オオバノヨツバムグラ	アカネ	EX	EX			
131	オオハマグルマ	キク	EN	EN	EN		
132	オオバミヤマノコギリシダ	メシダ	VU	VU			
133	オオバメギ	メギ	EN	VU	VU		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
134	オオバヤドリギ	オオバヤドリギ	EN	EN	CR		
135	オオハヨウラクラン	ラン	CR	CR	CR	CR	
136	オオヒナノウスツボ	ゴマノハグサ	VU	VU	EN		
137	オオホシクサ	ホシクサ	CR	CR	CR		
138	オオミクリ	ガマ	VU	VU		VU	
139	オオヤマザクラ	バラ	CR	DD			情報が集まり評価された。
140	オオヤマフスマ	ナデシコ	VU	VU	VU		
141	オカタツナミノウ	シソ	CR	CR	CR		
142	オキナグサ	キンボウゲ	CR	CR	CR	VU	
143	オキナワコクモウクジャク	メシダ	EN	CR	CR	NT	確認個体数・地点数の増加。
144	オウタマシダ	チャセンシダ	EN	CR	CR	VU	確認個体数・地点数の増加。
145	オウノカンスゲ	カヤツリグサ	EN	VU	VU		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
146	オグラコウホネ	スイレン	CR			VU	過去の採集標本が同定され、情報が集まり評価された。
147	オケラ	キク	CR	CR	CR		
148	オサンダ	シシガシラ	VU	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
149	オサラン	ラン	CR	CR	CR	VU	
150	オタルスゲ	カヤツリグサ	VU	VU	VU		

No.	和 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
			2020	2010	2000		
151	オトコシダ	オンダ	CR	CR	CR		
152	オナモミ	キク	EX	EX		VU	
153	オニノデ	オンダ	CR	CR	CR	VU	
154	オニクラマゴケ	イワヒバ	CR	CR	CR		
155	オニシバ	イネ	VU	VU			
156	オニシバリ	ジンチョウゲ	VU	VU			
157	オニツクバネウツギ	スイカズラ	CR	CR	CR	CR	
158	オノノヤガラ	ラン	CR	CR	CR		
159	オニビシ	ミノハギ	DD	DD			
160	オノエテンツキ	カヤツリグサ	EX	EX	EX	VU	
161	オノエヤナギ	ヤナギ	NT	NT	EN		
162	オヒョウ	ニレ	EN	VU			確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
163	オヒルムシロ	ヒルムシロ	CR	CR			
164	オモゴウテンナンショウ	サトイモ	EN	CR	CR	EN	確認個体数・地点数の増加。
165	オヤマボクチ	キク	CR	CR	CR		
166	オシヅルシダ	オンダ	NT	VU			確認個体数・地点数の増加。
167	オウセベニシダ	オンダ	VU	VU			
168	カカツガユ	クワ	CR	CR	CR		
169	ガガブタ	ミツガシワ	CR	CR	CR	NT	
170	カゲロウラン	ラン	EN	VU	CR	NT	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
171	カザグルマ	キンボウゲ	EN	EN	EN	NT	
172	カシノキラン	ラン	EN	EN	EN	VU	
173	カスミザクラ	バラ	DD	DD			
174	カセンソウ	キク	CR	CR	CR		
175	カタクリ	ユリ	CR	CR	CR		
176	カノコソウ	スイカズラ	CR	EN			確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
177	カノツメソウ	セリ	EX	EX	CR		
178	カミガモシダ	チャセンシダ	CR	CR	CR		
179	カミガモソウ	オオハコ	CR	CR		EN	
180	カモノハシ	イネ	DD	DD			
181	カモメラン	ラン	CR	CR	CR	NT	
182	カラクサシダ	ウラボシ	NT	NT			
183	カラタチバナ	サクラソウ	EN	EN	EN		
184	カラハナソウ	アサ	CR	CR	CR		
185	カハヤスモドキ	イネ	CR	CR	CR		
186	カワツルモ	カワツルモ	EN	CR	CR	NT	確認個体数・地点数の増加。
187	カワミドリ	シソ	CR	CR	CR		
188	カワラサイコ	バラ	EX	EX	CR		
189	カワラハハコ	キク	CR	CR			
190	カンサイタンポポ	キク	VU	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
191	カンザシギボウシ	クサスギカズラ	EN	VU			確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
192	ガンゼキラン	ラン	EN	CR	CR	VU	確認個体数・地点数の増加。
193	カンラン	ラン	CR	CR	CR	EN	
194	キイレツチドリモチ	ツチドリモチ	VU				RL2010以降に新たに標本採集・同定された。
195	キエビネ	ラン	EN	CR	CR	EN	確認個体数・地点数の増加。
196	キオン	キク	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
197	キキョウ	キキョウ	EN	VU	NT	VU	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
198	キクガラクサ	オオハコ	VU	EN	EN	NT	確認個体数・地点数の増加。
199	キクシノブ	シノブ	EN	EN	EN	VU	
200	キクバヤマボクチ	キク	CR	CR	CR		

No.	和 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
			2020	2010	2000		
201	キクムグラ	アカネ	VU	VU	VU		
202	キシュウナキリスゲ	カヤツリグサ	EN	EN	EN	VU	
203	キスミレ	スミレ	CR	EN	EN		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
204	キセウタ	シソ	CR	CR	CR	VU	
205	キソチドリ(広義)	ラン	CR	DD	EN		分類学的な検討により、ナガバキソチドリ(RL2010:CR)を含める。
206	キタササガヤ	イネ	DD	DD			
207	キダチニンドウ	スイカズラ	VU	VU			
208	キダチハマグルマ	キク	EN	CR			確認個体数・地点数の増加。分類学的な検討により、オオキダチハマグルマから変更。
209	キドノモトソウ	イノモトソウ	CR	CR	CR	VU	
210	キヌラン	ラン	CR				RL2010 以降に新たに標本採集・同定された。
211	キノクスゲ	カヤツリグサ	VU	VU	VU	NT	
212	キバナノアマナ	ユリ	CR	CR	CR		
213	キバナノコマツメ	スミレ	NT	VU	VU		確認個体数・地点数の増加。
214	キバナノショウキラン	ラン	CR	EN	CR	EN	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
215	キバナノセッコク	ラン	EN	EN	CR	EN	
216	キビシロタンポポ	キク	VU				RL2010 以降に新たに標本採集・同定された。
217	キビノクロウメドキ	クロウメドキ	VU	VU	NT	VU	
218	ギフベニシダ	オシダ	NT	NT			
219	ギボウシラン	ラン	CR	CR	EN	EN	
220	キヨスミウツボ	ハマウツボ	EN	EN	EN		
221	キヨズミオウジャク	オシダ	VU	VU	VU		
222	クリシマエビネ	ラン	CR	EX	CR	EN	再発見、標本採集・同定された。
223	クリシマジャクジョウ	ヒナノジャクジョウ	EN	CR	EX	VU	確認個体数・地点数の増加。
224	クリシマヒゴタイ	キク	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
225	クリシマヘビノネゴザ	メシダ	VU	VU			分類学的な検討により、ウスバヘビノネゴザ(RL2010:VU)を含めて本種とする。
226	クリシマミズキ	マンサク	VU	VU	VU	NT	
227	キンソウ	ベンケイソウ	DD	CR	CR		評価のための情報が不足。
228	キレンゲショウマ	アジサイ	VU	VU	VU	VU	
229	キンセイラン	ラン	CR	EN	CR	VU	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
230	キンバイザサ	キンバイザサ	VU	VU	VU		
231	キンモウワラビ	キンモウワラビ	CR	CR	CR	VU	
232	キンラン	ラン	VU	VU	VU	VU	
233	クサスゲ	カヤツリグサ	CR	CR	CR		
234	クサタチバネ	キョウチクトウ	EN	EN	EN	NT	
235	クサナギオゴケ	キョウチクトウ	VU	DD	EN	VU	情報が集まり評価された。
236	クサフジ	マメ	DD	DD			
237	クサマルハチ	ヘゴ	VU	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
238	クシバタンポポ	キク	VU	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
239	クジャクシダ	イノモトソウ	EN	EN	EN		
240	クジュウスゲ	カヤツリグサ	NT	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
241	クマガイソウ	ラン	VU	CR	CR	VU	確認個体数・地点数の増加。
242	クマノギク	キク	NT	NT	NT		
243	クマヤマガミ	グミ	CR	CR	CR	CR	
244	クラガリシダ	ウラボシ	EX	EX	CR	EN	
245	クリンユキフデ	タデ	EN	EN	EN		
246	クルマバツクバネソウ	シュロソウ	CR	CR	CR		
247	クロイゲ	クロウメドキ	CR	CR	EX		
248	クロガネシダ	チャセンシダ	VU	EN	EN	VU	確認個体数・地点数の増加。
249	クロガネシダモドキ	チャセンシダ	CR	CR	CR		
250	クロカワズスゲ	カヤツリグサ	EX	EX	EX		

No.	和 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
			2020	2010	2000		
251	クロカンバ	クロウメドキ	VU	VU	VU		
252	クロタマガヤツリ	カヤツリグサ	CR	CR	CR		
253	クロヒナスゲ	カヤツリグサ	EN	VU			確認個体数・地点数の減少, 生育環境の消失・劣化等。
254	クロフネサイシン	ウマノスズクサ	NT	VU	VU	NT	確認個体数・地点数の増加。
255	クロバ	ヒノキ	VU	VU	VU		
256	クロホシクサ	ホシクサ	NT	NT	NT	VU	
257	クロボシソウ	イグサ	VU	VU			
258	クロミノイタチシダ	オシダ	DD				標本採集・同定されているが, 評価のための情報不足。
259	クロムヨウラン	ラン	NT	NT	VU		
260	クロモジ	クスノキ	DD	DD			
261	クロヤツシロラン	ラン	NT	NT	CR		
262	クワズイモ	サトイモ	VU	VU	VU		
263	グンバイヒルガオ	ヒルガオ	EN	EN	CR		
264	キンモウワラビ	キンモウワラビ	EN	EN	EN		
265	ケナシエゾミソハギ	ミソハギ	VU	VU			
266	ケヒエスゲ	カヤツリグサ	EX	EX	EN		
267	ケホシダ	ヒメシダ	EN	EN	EN		
268	ケミヤマタニタデ	アカバナ	VU	VU			
269	ケンボナン	クロウメドキ	EN	EN	EN		
270	コアツモリソウ	ラン	CR	CR	CR	NT	
271	コアブラツツジ	ツツジ	VU	VU	VU		
272	コイチヨウラン	ラン	CR	CR	CR		
273	コイヌガラシ	アブラナ	VU	VU	EX	NT	
274	コイヌノハナヒゲ	カヤツリグサ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
275	コイワカンスゲ	カヤツリグサ	EN	EN			
276	コウキクサ	サトイモ	NT	NT			
277	コウグイスカグラ	スイカズラ	VU	VU	VU		
278	コウシュウヒゴタイ	キク	VU	VU	VU		
279	コウシュンシバ	イネ	DD	DD			
280	コウボウ	イネ	EN	VU	VU		確認個体数・地点数の減少, 生育環境の消失・劣化等。
281	コウホネ	スイレン	VU	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
282	コウヤグミ	グミ	NT	NT	EN		
283	コウライイヌワラビ	メシダ	CR	CR	CR	VU	
284	コオロギラン	ラン	VU	VU	CR	VU	
285	コガネシダ	イワデンダ	NT	NT			
286	コカラスザンショウ	ミカン	DD	DD			
287	コギシギシ	タデ	NT	NT	VU	VU	
288	コキンバイザサ	キンバイザサ	EN	EN	EN		
289	コキンボウゲ	キンボウゲ	VU	DD			情報が集まり評価された。
290	コケシノブ	コケシノブ	EN	EN	EN		
291	コケホラゴケ	コケシノブ	EN	EN	EN	NT	
292	コゴメカラマツ	キンボウゲ	CR	CR	CR	VU	
293	ゴショイチゴ	バラ	CR	CR	CR	EN	
294	コシロネ	シソ	NT	NT	NT		分類学的な検討により, ヒメサルダヒコ(RL2010:NT)を含めて本種とする。
295	コシシユガヤ	カヤツリグサ	NT	NT			
296	コセリハオウレン	キンボウゲ	NT	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
297	コタニワタリ	チャセンシダ	CR	EN	EN		確認個体数・地点数の減少, 生育環境の消失・劣化等。
298	コツゲ	ツゲ	EN	EN			
299	コナミキ	シソ	VU	CR	CR	VU	確認個体数・地点数の増加。
300	コバギボウシ	クサスギカズラ	NT	NT			

No.	和 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
			2020	2010	2000		
301	コバナガンクビソウ	キク	VU	VU	VU	VU	
302	コバナワレモコウ	バラ	EN	VU	EN		確認個体数・地点数の減少, 生育環境の消失・劣化等。
303	コバノイラクサ	イラクサ	CR	EN			確認個体数・地点数の減少, 生育環境の消失・劣化等。
304	コバノウシノシツパイ	イネ	NT	NT			
305	コバノチョウセンエノキ	アサ	EN	EN			
306	コバナムグラ	アカネ	CR	CR		EN	
307	コフタバラン	ラン	CR	EN	EN		確認個体数・地点数の減少, 生育環境の消失・劣化等。
308	ゴマギ	ガマズミ	EN	EN			
309	ゴマクサ	ハマツツボ	VU	CR	CR	VU	確認個体数・地点数の増加。
310	ゴマシオホシクサ	ホシクサ	EN	CR	DD	EN	確認個体数・地点数の増加。
311	コミヤマミズ	イラクサ	EN	CR			確認個体数・地点数の増加。
312	コメツガ	マツ	VU	VU	VU		
313	コモウセンゴケ	モウセンゴケ	NT	NT	NT		
314	コモノギク	キク	CR	CR	CR		
315	サイコウイカリソウ	メギ	EN	EN	EN	VU	
316	サイコウイボタ	モクセイ	VU	VU	VU		
317	サイコウイワギボウシ	クサスギカズラ	CR	EN			確認個体数・地点数の減少, 生育環境の消失・劣化等。
318	サイコウキツネヤナギ	ヤナギ	EN	EN			
319	サイコウヒメコウホネ	スイレン	CR	CR			分類学的な検討により, ヒメコウホネ及びヒメコウホネ(広義)から変更。
320	サイゴウホングウシダ	ホングウシダ	CR	CR	EN		
321	ザイフリボク	バラ	EN	EN			
322	サカバイヌワラビ	メシダ	EN	CR	EN	EN	確認個体数・地点数の増加。
323	サカバサトメシダ	メシダ	CR	CR	CR	VU	
324	サガミトリゲモ	トチカガミ	CR	CR	CR	VU	
325	サギソウ	ラン	EX	EX	EX	NT	
326	サキモイヌワラビ	メシダ	VU	VU			
327	サクラスミレ	スミレ	CR	EN	EN		確認個体数・地点数の減少, 生育環境の消失・劣化等。
328	サクラツツジ	ツツジ	CR	CR	CR		
329	ササノハスゲ	カヤツリグサ	CR	CR	CR		
330	ササバギンラン	ラン	CR	CR	CR		
331	ササバラ	ラン	CR	CR	EN	EN	
332	ササユリ	ユリ	EN	EN	CR		
333	サダノウ	コショウ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
334	サツマシダ	オシダ	CR	CR		EN	
335	サトメシダ	メシダ	NT	NT			
336	サナギイチゴ	バラ	CR	CR	CR	VU	
337	サナギスゲ	カヤツリグサ	NT	NT	NT		
338	ザンミ	スグリ	CR	CR	CR		
339	サルメンエビネ	ラン	CR	CR	CR	VU	
340	サワオグルマ	キク	EN	EN	CR		
341	サワギキョウ	キキョウ	CR	CR	CR		
342	サワヒメスゲ	カヤツリグサ	CR	EX	EX		再発見, 標本採集・同定された。
343	サンショウモ	サンショウモ	CR	CR	CR	VU	
344	サンヨウアオイ	ウマノスズクサ	NT	NT	NT		
345	サンヨウブシ	キンボウゲ	EN	VU	VU		確認個体数・地点数の減少, 生育環境の消失・劣化等。
346	シイバサトメシダ	メシダ	CR	CR		CR	
347	シオカゼテンツキ	カヤツリグサ	VU	VU	VU		
348	シオイカリソウ	メギ	CR	NT		NT	確認個体数・地点数の減少, 生育環境の消失・劣化等。
349	シコウエビラフジ	マメ	NT	VU			確認個体数・地点数の増加。
350	シコウシモツケソウ	バラ	EN	EN	EN	VU	

No.	和 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
			2020	2010	2000		
351	シコクシラベ	マツ	CR	VU	VU		確認個体数・地点数の減少, 生育環境の消失・劣化等。
352	シコクシロギク	キク	VU	VU	VU		
353	シコクテンナンショウ	サトイモ	VU	VU	EN	EN	
354	シコクトリアシショウマ	ユキノシタ	VU	VU			
355	シコクノガリヤス	イネ	CR	EN			確認個体数・地点数の減少, 生育環境の消失・劣化等。
356	シコクハンショウヅル	キンボウゲ	EN	EN	EN	EN	
357	シコクヒロハテンナンショウ	サトイモ	CR	CR	CR	EN	
358	シシラン	イワタバコ	EN	EN	EN	VU	
359	シシバウリクサ	アゼナ	VU	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
360	シチドウハナワラビ	ハナヤスリ	NT	NT			
361	シデンクモキリ	ラン	CR				RL2010 以降に新たに標本採集・同定された。
362	シノメソウ	リンドウ	EN	EN	EN	VU	
363	シバナ	シバナ	VU	VU	VU	NT	
364	シバネム	マメ	CR	CR	EX	DD	
365	シマイヌワラビ	メシダ	CR	CR	CR	CR	
366	シマエンジュ	マメ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
367	シマサクラガンピ	ジンチョウゲ	EN	EN	EN		
368	シマシロヤマシダ	メシダ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
369	シヤク	セリ	NT	EN	CR		確認個体数・地点数の増加。
370	シヤクジョウソウ	ツツジ	EN	EN	CR		
371	シュンジュギク	キク	NT	NT	VU		
372	ショウキズイセン	ヒガンバナ	EX	EX	EX		
373	ショウキラン	ラン	CR	CR	CR		
374	ショウドシマベンケイソウ	ベンケイソウ	DD	DD			
375	ショウブ	ショウブ	VU	VU	VU		
376	ショウベンノキ	ミツバウツギ	CR	CR	CR		
377	ショウロウホトトギス	ユリ	EN	CR	CR	VU	確認個体数・地点数の増加。
378	シラヒゲソウ	ニシキギ	VU	EN			確認個体数・地点数の増加。
379	シロガヤツリ	カヤツリグサ	DD	DD			
380	シロシャクジョウ	ヒナノシャクジョウ	VU	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
381	シロテンマ	ラン	CR	除外	CR	CR	分類学的な検討による。品種としてオニノヤガラ(CR)に含めていたが、変種として再評価した。
382	シロバナエンレイソウ	シュロソウ	NT	NT	NT		
383	シンエダウチホングウシダ	ホングウシダ	CR	EN	EN		確認個体数・地点数の減少, 生育環境の消失・劣化等。
384	ジنگウスゲ	カヤツリグサ	EN	EN	EN	NT	
385	ジンバイソウ	ラン	CR	CR	CR		
386	スイラン	キク	EN	NT			確認個体数・地点数の減少, 生育環境の消失・劣化等。
387	スギラン	ヒカゲノカズラ	EN	VU	EN	VU	確認個体数・地点数の減少, 生育環境の消失・劣化等。
388	スジヌマハライ	カヤツリグサ	CR	CR		VU	分類学的な検討により、コツプヌマハライから変更。
389	スズサイコ	キョウチクトウ	NT	NT	EN	NT	
390	スズシロソウ	アブラナ	VU	NT			確認個体数・地点数の減少, 生育環境の消失・劣化等。
391	スズムシソウ	ラン	CR	CR	EN		
392	スズムシバナ	キツネノマゴ	VU	VU	EN		
393	スズメハコベ	ハエドクソウ	NT	NT	CR	VU	
394	スナジマメ	マメ	CR	CR	CR	CR	
395	スナヅル	クスノキ	CR				RL2010 以降に新たに標本採集・同定された。
396	スプタ	トチカガミ	EN	EN	CR	VU	
397	セイタカイワヒメワラビ	コバノシカグマ	DD	DD			
398	セイタカハライ	カヤツリグサ	EN	VU	NT		確認個体数・地点数の減少, 生育環境の消失・劣化等。
399	セトエゴマ	シソ	DD	DD			
400	センダイスゲ	カヤツリグサ	EN	EN	EN		

No.	和 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
			2020	2010	2000		
401	センダイソウ	ユキノシタ	NT	VU	VU	NT	確認個体数・地点数の増加。
402	センニンモ	ヒルムシロ	EN	EN	EN		
403	ソナレノギク	キク	EN	EN	EN		
404	ソバチ	キキョウ	VU	VU	VU		
405	ダイサギソウ	ラン	CR	CR	CR	EN	
406	タイワンスゲ	カヤツリグサ	EN	VU		VU	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
407	タイワンヤマイ	カヤツリグサ	EN	EN			
408	タカマソウ	ホンゴウソウ	CR			EN	RL2010 以降に新たに標本採集・同定された。
409	タカサゴソウ	キク	EX	CR	CR	VU	標本(確認・同定済)が採集されてから50年が経過した。
410	タカトウダイ	トウダイグサ	CR	NT			確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
411	タカネバラ	バラ	EN	EN	EN		
412	タカネマスカサ	カヤツリグサ	NT	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
413	タカネマツムシソウ	スイカズラ	CR	CR	EN		
414	タキキビ	イネ	CR	DD	DD		情報が集まり評価された。
415	タキミシダ	イノモトソウ	EN	CR	CR	EN	確認個体数・地点数の増加。
416	ダケトンボ	ラン	CR				過去の採集標本が同定され、情報が集まり評価された。
417	タコノアシ	タコノアシ	NT	NT	NT	NT	
418	タシロラン	ラン	EN	CR	CR	NT	確認個体数・地点数の増加。
419	タチカモメツル	キョウチクトウ	VU	NT	NT		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
420	タチクラマゴケ	イワヒバ	DD	DD	DD		
421	タチコウガイゼキショウ	イグサ	DD	DD	DD		
422	タチコメグサ	ハマウツボ	EN	EN	EN		
423	タチンオデ	サルトリイバラ	CR	CR	CR		
424	タチズシロソウ	アブラナ	CR	CR	CR	EN	
425	タチデンダ	オシダ	EN	EN	EN		
426	タチネコハギ	マメ	DD	DD			
427	タチハコバ	ナデシコ	CR	CR	CR	VU	
428	タチバチ	ミカン	EN	VU	EN	NT	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
429	タチヒメワラビ	ヒメシダ	CR	CR	CR		
430	タニハゴ	オシダ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
431	タマカラマツ	キンボウゲ	VU	EN	EN	VU	確認個体数・地点数の増加。
432	タムラソウ	キク	EN	EN	EN		
433	タンナトリカブト	キンボウゲ	DD	DD	NT		
434	チイサンウシノケグサ	イネ	NT	VU	VU	VU	確認個体数・地点数の増加。
435	チシマカエツリ	イネ	EN	EN	EN		
436	チシヤノキ	ムラサキ	VU	VU	CR		
437	チダケサシ	ユキノシタ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
438	チチブホラゴケ	コケシノブ	CR	EN	EN		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
439	チャボイ	カヤツリグサ	NT	NT		VU	
440	チャボイノデ	オシダ	VU	VU	VU		
441	チャボシライトソウ	シュロソウ	VU	VU	EN	VU	
442	チャボツメレンゲ	ベンケイソウ	VU	VU	VU	VU	
443	チョウセンキンミズヒキ	バラ	VU	VU		VU	
444	チョウセンナニワズ	ジンチョウゲ	VU	VU	VU	VU	
445	ツガザクラ	ツツジ	CR	CR			
446	ツクヌキオトギリ	オトギリソウ	EW	EX	EX	EN	県内産の栽培されている個体が確認された。
447	ツクシアケボノツツジ	ツツジ	VU	VU		NT	
448	ツクシイヌワラビ	メシダ	VU	VU			
449	ツクシイワハゴ	オシダ	VU	VU	VU		
450	ツクシオオクジャク	オシダ	CR	EN	EN		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。

No.	和 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
			2020	2010	2000		
451	ツウシガシワ	キョウチクトウ	EN	VU	VU		確認個体数・地点数の減少, 生育環境の消失・劣化等。
452	ツウシカンガレイ	カヤツリグサ	CR	VU			確認個体数・地点数の減少, 生育環境の消失・劣化等。
453	ツウシコメグサ	ハマウツボ	EN	EN	EN	EN	
454	ツウシタンポポ	キク	CR	EN	EN	VU	確認個体数・地点数の減少, 生育環境の消失・劣化等。
455	ツウシヤマザクラ	バラ	DD	DD			ツウシザクラ(RL2010)から和名変更。
456	ツウバネ	ヒャクダン	VU	VU			
457	ツゲ	ツゲ	EN	EN	EN		
458	ツゲモチ	モチノキ	VU	VU	VU		
459	ツチグサカンアオイ	ウマノスズクサ	EN	VU	VU		確認個体数・地点数の減少, 生育環境の消失・劣化等。
460	ツツイトモ	ヒルムシロ	DD	DD		VU	
461	ツノハシナミ	カバノキ	EN	CR			確認個体数・地点数の増加。
462	ツマトリソウ	サクラソウ	EN	EN	EN		
463	ツメレンゲ	ベンケイソウ	NT	NT	NT	NT	
464	ツリガネツツジ	ツツジ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
465	ツリシュラン	ラン	CR	CR	CR		
466	ツルギカンギク	キク	EN	EN			
467	ツルギキョウ	キキョウ	EN	EN	CR	VU	
468	ツルギジムシロ	バラ	EN	EN	EN		
469	ツルギテンナンショウ	サトイモ	CR	CR	CR	EN	
470	ツルギハナウド	セリ	EN	VU	VU	EN	確認個体数・地点数の減少, 生育環境の消失・劣化等。
471	ツルキンバイ	バラ	NT	CR			確認個体数・地点数の増加。
472	ツルクウゾ	クワ	DD	DD			
473	ツルツゲ	モチノキ	VU	VU			
474	ツルフジバカマ	マメ	VU	VU	VU		
475	ツルミヤマカンスゲ	カヤツリグサ	VU	VU			
476	ツレサギソウ	ラン	CR	CR	CR		
477	テイショウソウ	キク	EN	EN	EN		
478	テツホシダ	ヒメシダ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
479	テバコマンテマ	ナデシコ	EN	EN	EN	VU	
480	テバコワラビ	メシダ	VU	VU		VU	
481	テリハキンバイ	バラ	VU	VU	CR		
482	デンジソウ	デンジソウ	CR	CR	CR	VU	
483	トウキ	セリ	CR	CR	CR		
484	トウダンハツジ	ツツジ	NT	NT	EN		
485	トガサワラ	マツ	VU	VU	VU	VU	
486	トガリヤブマオ	イラクサ	DD	DD			
487	トキシソウ	ラン	CR	CR	CR	NT	
488	トキリマメ	マメ	VU	VU			
489	トキワススキ	イネ	VU	EN			確認個体数・地点数の増加。
490	トゲアザミ	キク	NT	NT	NT		
491	トゲカラクサイヌワラビ	メシダ	CR	CR	CR		
492	トケンラン	ラン	CR	CR	CR	VU	
493	トサオトギリ	オトギリソウ	CR	CR	CR	CR	
494	トサコノイモ	ユリ	VU	VU	EN	VU	
495	トサトウヒレン	キク	EN	EN	EN	VU	
496	トサノアオイ	ウマノスズクサ	NT	VU	VU	NT	確認個体数・地点数の増加。
497	トサノクロムヨウラン	ラン	CR	DD	DD		情報が集まり評価された。
498	トサノコメグサ	ハマウツボ	EX	CR	CR		標本(確認・同定済)が採集されてから50年が経過した。
499	トサノチャルメルソウ	ユキノシタ	EN	EN	EN		
500	トサノハマスゲ	カヤツリグサ	VU	CR	CR	EN	確認個体数・地点数の増加。

No.	和 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
			2020	2010	2000		
501	トサノミゾシダモドキ	ヒメシダ	VU	EN	EN	VU	確認個体数・地点数の増加。
502	トサボウフウ	セリ	VU	VU	VU	VU	
503	トサムラサキ	シソ	EN	EN	EN	VU	
504	トダイアカバタ	アカバタ	VU	VU	VU	VU	
505	トチカガミ	トチカガミ	DD	DD	DD	NT	
506	トモエソウ	オトギリソウ	VU	VU	EN		
507	トラノオスズカケ	オオハコ	NT	NT	VU		
508	トリガタハンショウヅル	キンボウゲ	NT	NT			
509	トリゲモ	トチカガミ	EN	DD		VU	情報が集まり評価された。
510	ナガエミクリ	ガマ	VU	VU	CR	NT	
511	ナガサキシダ	オシダ	VU	NT			確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
512	ナガバノウナギツカミ	タデ	NT	NT		NT	
513	ナガボテンツキ	カヤツリグサ	NT	NT			
514	ナガホノナツノハナワラビ	ハナヤスリ	CR	CR	CR		
515	ナカミシラン	イノモトソウ	VU	VU	VU		
516	ナガミノオニシバ	イネ	NT	NT	NT		
517	ナゴラン	ラン	CR	CR	CR	EN	
518	ナツエビネ	ラン	VU	VU	VU	VU	
519	ナツノタムラソウ	シソ	CR	CR			
520	ナミキソウ	シソ	EX	EX	EX		
521	ナヨテンマ	ラン	CR	CR	CR	EN	
522	ナヨオコゴメグサ	ハマウツボ	EN	EN	EN	VU	
523	ナンカウラン	ヒカゲノカズラ	CR	CR	EN		
524	ナンゴクウラシマソウ	サトイモ	VU	VU	EN		
525	ナンゴクホウビシダ	チャセンシダ	EN	EN			
526	ニシノコハチジョウシダ	イノモトソウ	EN	EN	EN		
527	ニセコガネギンギン	タデ	EN	DD		DD	情報が集まり評価された。
528	ニセコクモウクジャク	メシダ	VU	VU	CR		
529	ニセヒロハノコギリシダ	メシダ	CR	CR			
530	ニセヨレイタチシダ	オシダ	VU	VU	EN	NT	
531	ニッポニヌノヒゲ	ホシクサ	VU	VU			
532	ニリンソウ	キンボウゲ	VU	VU			
533	ヌカイタチシダマガイ	オシダ	VU	VU			
534	ヌカボタデ	タデ	VU	EN	NT	VU	確認個体数・地点数の増加。
535	ヌマガヤ	イネ	CR	CR	EX		
536	ヌマセリ	セリ	CR	CR	CR	VU	
537	ヌマハリイ	カヤツリグサ	VU	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
538	ネコノチチ	クロウメモドキ	CR	CR	CR		
539	ネコノメソウ	ユキノシタ	EN	EN			
540	ネズ	ヒノキ	VU	VU	VU		
541	ネバハリギラン	キンコウカ	EN	EN	EN		
542	ノアサガオ	ヒルガオ	EN	VU	VU		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
543	ノタヌキモ	タヌキモ	EX	EX	EX	VU	
544	ノテンツキ	カヤツリグサ	EN	EN	EN		
545	ノハナショウブ	アヤメ	CR	CR	CR		
546	ノハラテンツキ	カヤツリグサ	CR	EX		VU	再発見、標本採集・同定された。
547	ノビネチドリ	ラン	CR	EN	EN		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
548	ノヤナギ	ヤナギ	CR	CR	CR		
549	ノバソブ	キキョウ	CR	CR	CR	VU	
550	バイカイカリソウ	メギ	NT	NT	NT		

No.	和 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
			2020	2010	2000		
551	バイカツツジ	ツツジ	VU	VU	VU		
552	ハイキビ	イネ	NT	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
553	ハガクレカナワラビ	オンダ	VU	VU		VU	
554	ハカマカズラ	マメ	CR	CR	CR		
555	ハクウンボク	エゴノキ	EX	EX	CR		
556	ハクサンハザオ	アブラナ	VU	CR			確認個体数・地点数の増加。
557	ハクサンボク	ガマズミ	DD	DD			
558	ハクロバイ	バラ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
559	ハコネウツギ	スイカズラ	DD	DD			
560	ハコネケチシダ	メシダ	NT	NT			
561	ハコネハナゼキショウ	チシマゼキショウ	CR	CR			
562	ハシナガヤマサギソウ	ラン	CR	CR	CR		
563	ハスノイチゴ	バラ	EN			NT	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
564	ハタケテンツキ	カヤツリグサ	CR	DD		EN	情報が集まり評価された。
565	ハチジョウイノコツチ	ヒユ	DD	DD			
566	ハチジョウシダ	イノモトソウ	VU	VU	VU		
567	ハチジョウシダモドキ	イノモトソウ	NT	NT	VU		
568	ハチジョウベニシダ	オンダ	VU	VU			
569	ハナイカリ	リンドウ	CR	CR	CR		
570	ハナガガシ	ブナ	EN	EN	EN	VU	
571	ハナタツナミソウ	シソ	CR	CR			
572	ハマアズキ	マメ	CR	CR			
573	ハマウツボ	ハマウツボ	VU	VU	EX	VU	
574	ハマクワガタ	オオハコ	CR	CR	DD	VU	
575	ハマサジ	イソマツ	VU	VU	NT	NT	
576	ハマゼリ	ゼリ	NT	NT	NT		
577	ハマナツメ	クロウメモドキ	CR	CR	CR	VU	
578	ハマネナシカズラ	ヒルガオ	EN	EN		VU	
579	ハマハナヤスリ	ハナヤスリ	CR	CR	CR		
580	ハマボウ	アオイ	EN	EN	CR		
581	ハママツナ	ヒユ	VU	VU	VU		
582	ハリコウガイゼキショウ	イグサ	EN	VU			確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
583	ハルニレ	ニレ	DD	DD	CR		
584	ハンノキ	カバノキ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
585	ヒカゲアマクサシダ	イノモトソウ	CR	CR		EN	
586	ヒカゲミズ (タチゲヒカゲミズを含む)	イラクサ	VU	DD		VU※	タチゲヒカゲミズ(var. coreana, RL2010:DD)を含めることとし、情報が集まり評価された。※環境省はタチゲヒカゲミズの評価。
587	ヒキノカサ	キンボウゲ	EX	EX		VU	
588	ヒキヨモギ	ハマウツボ	EN	VU			確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
589	ヒゲシバ	イネ	EX	EX	EN		
590	ヒゲネワチガイソウ	ナデシコ	EX	EX	CR		
591	ヒゴスミレ	スミレ	EN	EN	CR		
592	ヒツジグサ	スイレン	DD	DD	CR		
593	ヒトツバエゾスミレ	スミレ	CR	DD			情報が集まり評価された。
594	ヒトツボクロ	ラン	VU	VU	EN		
595	ヒナザサ	イネ	EX	EX	EX	NT	
596	ヒナジャシソ	キキョウ	EN	EN	EN	VU	
597	ヒナスミレ	スミレ	VU	EN			確認個体数・地点数の増加。
598	ヒナチドリ	ラン	CR	CR	CR	VU	
599	ヒナノカンザシ	ヒメハギ	VU	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
600	ヒナノキンチャク	ヒメハギ	VU	CR	CR	EN	確認個体数・地点数の増加。

No.	和 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
			2020	2010	2000		
601	ヒナラン	ラン	EN	VU	EN	EN	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
602	ヒメアザミ	キク	DD	DD			
603	ヒメカリソウ	メギ	NT	NT			
604	ヒメイチゲ	キンボウゲ	NT	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
605	ヒメワギボウシ	クサスギカズラ	VU	VU	VU		
606	ヒメイトラノオ	チャセンシダ	EN	EN	EN		
607	ヒメカンアオイ	ウマノスズクサ	VU	VU	VU		
608	ヒメカンガレイ	カヤツリグサ	EN	VU		VU	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
609	ヒメカシグサ	ミソハギ	EX	EX	EX	CR	
610	ヒメキセツタ	シソ	EX	EX	EX	VU	
611	ヒメコウモリソウ	キク	VU	VU	VU	VU	
612	ヒメコヌカグサ	イネ	NT	NT	EN	NT	
613	ヒメシオン	キク	EX	EX	CR		
614	ヒメシケシダ	メシダ	DD	DD			
615	ヒメジュズスゲ	カヤツリグサ	EN	EN	EN		
616	ヒメシロネ	シソ	EX	EX			
617	ヒメスギラン	ヒカゲノカズラ	VU	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
618	ヒメタイヌビエ	イネ	DD	DD			
619	ヒメタデ	タデ	CR	CR	CR	VU	
620	ヒメトケラン	ラン	CR	CR	EX	VU	
621	ヒメトラノオ	オオハコ	CR	CR	CR		
622	ヒメナツトウダイ	トウダイグサ	DD	DD			
623	ヒメナミキ	シソ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
624	ヒメニラ	ヒガンバナ	EN	EN	EX		
625	ヒメノコギリシダ	メシダ	EN	CR	CR	NT	確認個体数・地点数の増加。
626	ヒメノダケ	ゼリ	EN	EN	EN		
627	ヒメノハギ	マメ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
628	ヒメノボタン	ノボタン	VU	EN	EN	VU	確認個体数・地点数の増加。
629	ヒメノヤガラ	ラン	EN	VU	CR	VU	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
630	ヒメヒゴタイ	キク	NT	NT	VU	VU	
631	ヒメビシ	ミソハギ	CR	EN	EN	VU	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
632	ヒメフウロ	フウロソウ	VU	VU	VU		
633	ヒメフタバラン	ラン	EN	VU	EN		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
634	ヒメホタルイ	カヤツリグサ	VU	VU	VU		
635	ヒメミクリ	ガマ	CR	CR		VU	
636	ヒメミゾシダ	ヒメシダ	EN	EN		NT	
637	ヒメムカゴシダ	コバノイシカグマ	CR	CR	CR	EN	
638	ヒメユリ	ユリ	CR	CR	CR	EN	
639	ヒモラン	ヒカゲノカズラ	CR	CR	CR	EN	
640	ヒュウガシダ	メシダ	EN	EN			
641	ヒュウガセンキュウ	ゼリ	VU			CR	RL2010以降に新たに標本採集・同定された。
642	ビロウ	ヤシ	VU	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
643	ビロードイチゴ	バラ	CR	CR	CR		
644	ビロードスゲ	カヤツリグサ	DD	DD	CR		
645	ビロードテンツキ	カヤツリグサ	NT	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
646	ヒロハアツタ	オンダ	EN	CR	CR	VU	確認個体数・地点数の増加。
647	ヒロハコンロンカ	アカネ	EN	EN	CR		
648	ヒロハツリハナ	ニシキギ	EN	EN	EN		
649	ヒロハテイショウソウ	キク	EN	CR			確認個体数・地点数の増加。
650	ヒロハヌマゼリ	ゼリ	EX	EX			

No.	和 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
			2020	2010	2000		
651	ヒロノソエビモ	ヒルムシロ	CR	CR	DD		
652	ヒロノオオウシノケサ	イネ	DD	DD	EX		
653	ヒロノコウガイゼキショウ	イグサ	EX	EX	DD		
654	ヒロノコギリシダ	メシダ	CR	CR	CR		
655	ヒロノミズノイ	ハノキ	VU	VU	VU		
656	ヒロノハナヤスリ	ハナヤスリ	NT	NT			
657	ヒロノヒメウラボシ	ウラボシ	EX	CR	DD	CR	標本(確認・同定済)が採集されてから 50 年が経過した。
658	ヒロノヤマヨモギ	キク	CR	DD	CR	NT	情報が集まり評価された。
659	アウラン	ラン	NT	VU	VU	VU	確認個体数・地点数の増加。
660	フガクスズムシソウ	ラン	EN	EN	CR	VU	
661	フキヤミツバ	ゼリ	CR	CR	EX	VU	
662	フクヨウサイ	キク	EX	EX	EX		
663	フジキ	マメ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
664	フシグロセンノウ	ナデシコ	VU	VU	VU		
665	フジセンニンソウ	キンポウゲ	DD	DD			
666	フジバカマ	キク	EN	CR	CR	NT	確認個体数・地点数の増加。
667	フッキソウ	ツゲ	VU	VU	VU		
668	フトボナギナタコウジュ	シソ	CR	CR	CR		
669	フナバラソウ	キョウチクトウ	EN	EN	EN	VU	
670	ヘゴ	ヘゴ	CR	CR	EX		
671	ヘツカニガキ	アカネ	EN	EN	EN		
672	ヘニオグラコウホネ	スイレシ	CR	CR			
673	ヘニカヤラン	ラン	VU	VU	VU	VU	
674	ヘニバナヤマジャウヤク	ボタン	CR	CR	CR	VU	
675	ホウキガヤツリ	カヤツリガサ	EX	EX	EX	CR	
676	ホウヨカモメヅル	キョウチクトウ	EN	EN		VU	
677	ホウライシダ	イノモトソウ	VU	VU	VU		
678	ポウラン	ラン	CR	CR	EN	NT	
679	ホクチアザミ	キク	VU	DD	CR		情報が集まり評価された。
680	ホクリクタツナミソウ	シソ	EN				RL2010 以降に新たに標本採集・同定された。
681	ホクリクムヨウラン	ラン	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
682	ホザキイチヨウラン	ラン	CR	EN	EN		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
683	ホザキノミカキグサ	タヌキモ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
684	ホシザキカンアオイ	ウマノスズクサ	VU	EN	EN	EN	確認個体数・地点数の増加。
685	ホシナシゴウソ	カヤツリガサ	EN	DD			情報が集まり評価された。
686	ホソイ	イグサ	NT	NT	DD		
687	ホソバオグルマ	キク	EN	CR	CR	VU	確認個体数・地点数の増加。
688	ホソバシロスマレ	スマレ	EN	EN		VU	
689	ホソバチクセツニンジン	ウコギ	VU	VU			
690	ホソバノウナギツカミ	タデ	VU	VU	NT		
691	ホソバノツルリンドウ	リンドウ	EN	EN	CR	VU	
692	ホソバノハマアカザ	ヒユ	VU	EN			確認個体数・地点数の増加。
693	ホソバヒメトラノオ	オオハコ	CR	EN	EN	EN	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
694	ホソバヤマブキソウ	ケシ	CR	CR			
695	ホタルカズラ	ムラサキ	VU	VU	VU		
696	ホタルサイコ	ゼリ	EX	EX	CR		
697	ホッスモ	トチカガミ	EN	EN	EN		
698	ホテイシダ	ウラボシ	NT	NT			
699	ホンゴウシダ	ホンゴウシダ	CR	CR			
700	ホンゴウソウ	ホンゴウソウ	EN	CR	CR	VU	確認個体数・地点数の増加。

No.	和 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
			2020	2010	2000		
701	ボンテンカ	アオイ	EX	EX	EX		
702	マイサギソウ	ラン	EN	EN	EN		
703	マイツルテンナンショウ	サトイモ	VU	VU	EX	VU	
704	マキエハギ	マメ	CR	CR	CR		
705	マシカウイ	カヤツリグサ	VU	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
706	マダイオウ	タデ	CR	DD	DD		情報が集まり評価された。
707	マツカサススキ	カヤツリグサ	EN	EN	NT		
708	マツバスゲ	カヤツリグサ	VU	NT	NT		確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
709	マツムシソウ	スイカズラ	CR	CR	CR		
710	マネキグサ	シソ	EN	VU	VU	NT	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
711	ママコナ	ハマウツボ	EX	EX			
712	マメダオシ	ヒルガオ	EX	EX	VU	CR	
713	マメツタラン	ラン	NT	NT	NT	NT	
714	マヤラン	ラン	EN	EN	CR	VU	
715	マルバアキグミ	グミ	VU	VU			
716	マルバオモダカ	オモダカ	EX	EX	EX	VU	
717	マルバサンキライ	サルトリイバラ	NT	NT			
718	マルバダケブキ	キク	VU	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
719	マルバチシャノキ	ムラサキ	CR	CR	CR		
720	マルバテイショウソウ	キク	CR	CR	CR	VU	
721	マルバヌカイタチシダモドキ	オンダ	CR	CR	CR	CR	
722	マルバレイチャクソウ	ツツジ	VU	VU			
723	マルバノキ	マンサク	EN	EN	EN		
724	マルバノサウトウガラシ	オオハコ	NT	NT	CR	VU	
725	マルミスブタ	トチカガミ	CR	CR	EX	VU	
726	マルミノヤマゴボウ	ヤマゴボウ	NT	NT	EN		
727	ミクリ	ガマ	VU	CR	CR	NT	確認個体数・地点数の増加。
728	ミシマサイコ	セリ	EN	VU	EN	VU	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
729	ミスアオイ	ミスアオイ	EX	EX		NT	
730	ミスオオハコ	トチカガミ	VU	VU	VU	VU	
731	ミスオトギリ	オトギリソウ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
732	ミスキカシグサ	ミソハギ	NT	NT	CR	VU	
733	ミスギボウシ	クサスギカズラ	CR	CR	CR		
734	ミズキンバイ	アカバタ	EN	EN	EN	VU	
735	ミズタカモジグサ	イネ	EN	DD	DD	VU	情報が集まり評価された。
736	ミズチドリ	ラン	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
737	ミズトンボ	ラン	EN	EN	CR	VU	
738	ミズニラ	ミズニラ	CR	CR		NT	
739	ミズネコノオ	シソ	NT	NT	NT	NT	
740	ミズマツバ	ミソハギ	NT	NT	VU	VU	
741	ミセンアオスゲ	カヤツリグサ	VU	VU			
742	ミソコウジュ	シソ	NT	NT	VU	NT	
743	ミソハコベ	ミソハコベ	DD	DD	DD		
744	ミツデコトシソウ	シソ	CR	CR	CR		
745	ミツハコロンソウ	アブラナ	VU	VU			
746	ミツモトソウ	バラ	CR	CR	CR		
747	ミドリヨウラク	クサスギカズラ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
748	ミドリワラビ	メシダ	CR	CR	CR		
749	ミノボロ	イネ	CR	CR	CR		
750	ミカキグサ	タヌキモ	NT	NT	EN		

No.	和 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
			2020	2010	2000		
751	ミミガタテンナンショウ	サトイモ	EN	EN			オキノシマテンナンショウ(RL2010:DD)を含める。
752	ミヤコアオイ	ウマノスズクサ	VU	VU	VU		
753	ミヤコアザミ	キク	CR	EX	EX		再発見 標本採集・同定された。
754	ミヤマイワスゲ	カヤツリグサ	VU	VU		VU	
755	ミヤマウグイスカグラ	スイカズラ	EN	EN			
756	ミヤマウラボシ	ウラボシ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
757	ミヤマカタバミ	カタバミ	EN	CR			確認個体数・地点数の増加。
758	ミヤマコウモリソウ	キク	VU			EN	確認個体数・地点数の減少 生育環境の消失・劣化等。
759	ミヤマシキミ	ミカン	DD	DD			
760	ミヤマジュズスゲ	カヤツリグサ	VU	VU			
761	ミヤマスマレ	スマレ	VU	VU			
762	ミヤマツチトリモチ	ツチトリモチ	CR	CR	CR	VU	
763	ミヤマトウヒレン	キク	VU	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
764	ミヤマナミキ	シソ	VU	VU			
765	ミヤマナルコユリ	クサスギカズラ	EN	EN	EN		
766	ミヤマヌカボ	イネ	VU	VU			
767	ミヤマノダケ	ゼリ	VU			CR	確認個体数・地点数の減少 生育環境の消失・劣化等。
768	ミヤマヒキオコシ	シソ	NT	VU	VU		確認個体数・地点数の増加。
769	ミヤマビャクシン	ヒノキ	VU	VU	VU		
770	ミヤマベニシダ	オシダ	CR	CR			
771	ミヤマムギラン	ラン	EN	VU	VU	NT	確認個体数・地点数の減少 生育環境の消失・劣化等。
772	ミヤマモジズリ	ラン	EN	EN	EN		
773	ミヤマヤブタバコ	キク	NT	NT			
774	ミヨウギシダ	ウラボシ	CR	CR		EN	
775	ムカゴサイシン	ラン	NT	EN	CR	EN	確認個体数・地点数の増加。
776	ムカゴソウ	ラン	CR	CR	CR	EN	
777	ムカゴツツリ	イネ	VU	VU	EN		
778	ムカゴトンボ	ラン	EN	EN	EN	EN	
779	ムカゴニンジン	ゼリ	EN	VU	VU		確認個体数・地点数の減少 生育環境の消失・劣化等。
780	ムカデラン	ラン	EN	EN	EN	VU	
781	ムギガラガヤツリ	カヤツリグサ	CR	CR	EX	CR	
782	ムサンモ	トチカガミ	CR			EN	RL2010 以降に新たに標本採集・同定された。
783	ムシトリスミレ	タヌキモ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
784	ムラサキ	ムラサキ	CR	CR	CR	EN	
785	ムラサキセンブリ	リンドウ	EN	VU	EN	NT	確認個体数・地点数の減少 生育環境の消失・劣化等。
786	ムラサキベニシダ	オシダ	CR	CR	CR	CR	
787	ムラサキミミカキグサ	タヌキモ	DD	DD	EX	NT	
788	ムロトムヨウラン	ラン	CR	DD			情報が集まり評価された。
789	メアゼテンツキ	カヤツリグサ	EX	EX	DD		
790	メグスリノキ	ムクロジ	VU	VU			
791	メノマンネングサ	ベンケイソウ	EN	CR	DD		確認個体数・地点数の増加。
792	モイワラン (トクシマサイハイランを含む)	ラン	CR			CR	RL2010 以降に新たに標本採集・同定された。
793	モミジカラマツ	キンポウゲ	CR	CR	CR		
794	モミラン	ラン	CR	CR	EN	VU	
795	モリアザミ	キク	EX	EX	CR		
796	ヤクシマアカシュスラン	ラン	VU	VU	CR	VU	
797	ヤクシマウラボシ	ウラボシ	CR	CR	CR	EN	
798	ヤクシマトウバサ	シソ	CR	DD		NT	情報が集まり評価された。コケトウバサ(RL2010)から和名変更。
799	ヤクシマネツタイラン	ラン	CR	CR	CR	EN	
800	ヤシヤビジャク	スグリ	VU	EN	CR	NT	確認個体数・地点数の増加。

No.	和 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
			2020	2010	2000		
801	ヤチマタイカリソウ	メギ	NT	NT	NT	NT	
802	ヤッコソウ	ヤッコソウ	EN	EN	EN		
803	ヤナギアザミ	キク	CR	CR	CR		
804	ヤナギイノコツチ	ヒユ	CR	CR	CR		
805	ヤナギスズタ	トチカガミ	VU	VU			
806	ヤナギタンポポ	キク	CR	CR	CR		
807	ヤナギヌカボ	タデ	EX	EX		VU	
808	ヤナギノギク	キク	VU	NT	NT	VU	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
809	ヤハズハハコ	キク	VU	NT			確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
810	ヤハズマンネングサ	ベンケイソウ	NT	NT	EN	VU	
811	ヤブサンザシ	スグリ	CR	CR	CR		
812	ヤブレガサモドキ	キク	CR	CR	CR	EN	
813	ヤマウグイスカグラ	スイカズラ	EN	EN	CR		
814	ヤマウコギ	ウコギ	VU	VU			
815	ヤマウツボ (ケヤマウツボを含む)	ハマウツボ	EN	EN	EN		種内分類群のケヤマウツボ (var. miqueliana) を含めることとする。
816	ヤマクラマゴケ	イワヒバ	CR	CR			
817	ヤマクルマバサ	シソ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
818	ヤマコンニャク	サトイモ	DD	DD	EX	VU	
819	ヤマサギソウ	ラン	EN	EN	EN		
820	ヤマザトタンポポ	キク	EN	CR	CR	NT	確認個体数・地点数の増加。
821	ヤマジソ	シソ	EN	VU	VU	NT	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
822	ヤマゼリ	ゼリ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
823	ヤマタイミンガサ	キク	EN	VU			確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
824	ヤマタツナミソウ	シソ	CR	EX	CR		再発見、標本採集・同定された。
825	ヤマトウミヒルモ	トチカガミ	EN	EN			ハロフィラ・ニポニカ(RL2010) から和名変更。
826	ヤマトキシソウ	ラン	EN	EN	EN		
827	ヤマトミクリ	ガマ	EN	DD		NT	情報が集まり評価された。
828	ヤマドリゼンマイ	ゼンマイ	NT	NT	NT		
829	ヤマハコバ	ナデシコ	DD	DD	EN		
830	ヤマハンショウヅル	キンポウゲ	EN				RL2010 以降に新たに標本採集・同定された。
831	ヤマヒョウタンボク	スイカズラ	EN	EN	EN		
832	ヤマヒヨドリ	キク	NT	VU	EN		確認個体数・地点数の増加。
833	ヤマホオズキ	ナス	CR	CR	CR	EN	
834	ヤマボクチ	キク	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
835	ヤマホロシ	ナス	EN	EN	EN		
836	ヤマミソソバ	タデ	EN	EN			
837	ヤリハリイ	カヤツリグサ	CR	CR	CR		
838	ヤワラハチジョウシダ	イノモトソウ	VU	EN	EN	EN	確認個体数・地点数の増加。
839	ユウシュンラン	ラン	CR	EN	EN	VU	確認個体数・地点数の減少、生育環境の消失・劣化等。
840	ユウスゲ	ワスレグサ	EN	EN			
841	ユキザサ	クサスギカズラ	VU	VU	VU		
842	ユキワリソウ	サクラソウ	NT	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
843	ユノミネシダ	コバノイシカグマ	CR	CR			
844	ヨコグラノキ	クロウメモドキ	NT	NT	VU		
845	ヨコグラヒメワラビ	ヒメシダ	VU	VU			
846	ヨコグラブドウ	ブドウ	EX	EX	EX		
847	ヨコレイタチシダ	オシダ	CR	CR	EN		
848	ヨツバハギ	マメ	EN	CR	EX		確認個体数・地点数の増加。
849	ラショウモンカズラ	シソ	VU	VU	VU		
850	リュウキュウコケシノブ	コケシノブ	CR	EX	EX		再発見、標本採集・同定された。

No.	和 名	科 名	高知県			環境省 2020	変更の理由等
			2020	2010	2000		
851	リュウノヒゲモ	ヒルムシロ	VU	VU	VU	NT	
852	リュウビンタイ	リュウビンタイ	NT	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
853	ルイヨウショウマ	キンボウゲ	VU	VU			
854	ルイヨウボタン	メギ	VU	VU	VU		
855	ワカナシダ	オンダ	VU	VU	VU		
856	ワタナベソウ	ユキノシタ	EN	VU	VU	VU	確認個体数・地点数の減少, 生育環境の消失・劣化等。
857	ワタヨモギ	キク	CR	DD		EN	情報が集まり評価された。
858	ワタリスゲ	カヤツリガサ	EN	CR	CR		確認個体数・地点数の増加。
859	ワンドスゲ	カヤツリガサ	EN			VU	過去の採集標本が同定され, 情報が集まり評価された。

除外した種類のリスト：110 種類

No.	和名	科名	高知県		環境省 2020	変更の理由等
			2010	2000		
1	イヌカヒバ	イワヒバ	DD		VU	帰化・逸出と判断した。
2	トクサ	トクサ	DD			帰化・逸出と判断した。
3	マツバラソ	マツバラソ	VU	EN	NT	野生個体と逸出個体の区別困難で、確認される個体数が多い。
4	オニコケシノブ	コケシノブ	VU	VU		分類学的な検討により、オニコケシノブに含める。
5	スジヒトツバ	ヤブレガサウラボシ	VU	EN		確認個体数・地点数の増加。
6	ヤマソテツ	キジノオシダ	NT			確認個体数・地点数の増加。
7	コスギダニキジノオ	キジノオシダ	DD			分類学的な問題がある。
8	サンカクホンゴウシダ	ホンゴウシダ	CR	CR		標本の同定変更による。
9	ヒノキシダ	チャセンシダ	NT	VU		確認個体数・地点数の増加。
10	アラゲヒメワラビ	ヒメシダ	DD			標本の同定変更による。
11	コシケシダ	メシダ	DD			分類学的な検討により、ナチシケシダに含める。
12	コウヤワラビ	コウヤワラビ	DD			帰化・逸出と判断した。
13	クサソテツ	コウヤワラビ	DD	CR		帰化・逸出と判断した。
14	ヤブソテツ	オシダ	DD			分類学的な問題がある。
15	ハイヌガヤ	イチイ	VU			確認個体数・地点数の増加。
16	ウスバサイシン	ウマノスズクサ	DD	CR		分類学的な問題がある。
17	ウマノスズクサ	ウマノスズクサ	VU	VU		確認個体数・地点数の増加。
18	フタバアイ	ウマノスズクサ	NT	NT		確認個体数・地点数の増加。
19	サカワサイシン	ウマノスズクサ	NT	VU	VU	確認個体数・地点数の増加。注目種とする。
20	オキノシマテンナンショウ	サトイモ	DD	EN		分類学的な検討により、ミミカタテンナンショウ(EN)に含める。
21	ユキモチソウ	サトイモ	NT	VU	VU	確認個体数・地点数の増加。注目種とする。
22	ヒメウキクサ	サトイモ	DD			帰化・逸出と判断した。
23	コアマモ	アマモ	NT	EN		確認個体数・地点数の増加。
24	ヒナノジャクジョウ	ヒナノジャクジョウ	VU	EN		確認個体数・地点数の増加。
25	ウナズキツクバネソウ	シュロソウ	CR	CR		分類学的な検討により、品種としてツクバネソウに含める。
26	タキユリ	ユリ	NT	VU	VU	確認個体数・地点数の増加。注目種とする。
27	シラン	ラン	NT	VU	NT	野生個体と逸出個体の区別困難で、確認される個体数が多い。
28	キノエビネ	ラン	CR	CR	CR	分布の誤認。
29	ホソバシラン	ラン	EN	EN		分類学的な検討により、品種としてシランに含める。
30	ナギラン	ラン	NT	NT	VU	確認個体数・地点数の増加。
31	ハルザキヤツシロラン	ラン	NT	VU	VU	確認個体数・地点数の増加。
32	ハクウンラン	ラン	CR	EN		分類学的な検討による。
33	キムヨウラン	ラン	DD	DD		分布の誤認。
34	アナムヨウラン	ラン	DD	DD	CR	分布の誤認。
35	ニラバラソ	ラン	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
36	アリオシラン	ラン	CR	CR		標本の同定変更による。
37	ナガバキノチドリ	ラン	CR	CR		分類学的な検討により、キノチドリ(広義)(CR)に含める。
38	アヤメ	アヤメ	DD			帰化・逸出と判断した。
39	オニツルボ	クサスギカズラ	VU	VU		分類学的な検討により、ツルボに含める。
40	バラギボウシ	クサスギカズラ	CR	CR		分類学的な検討による。
41	シマイボクサ	ツククサ	VU			標本の同定変更による。
42	ヒメコウガイゼキショウ	イグサ	DD	DD		RL2010 以降標本が採集され、調査の結果確認個体数多数のため。
43	イセウキヤガラ	カヤツリグサ	VU	VU		確認個体数・地点数の増加。
44	シバズ	カヤツリグサ	VU	VU		確認個体数・地点数の増加。
45	ミギワダシバ	イネ	DD		VU	分類学的な検討による。
46	イブキトシガラ	イネ	NT	VU	VU	確認個体数・地点数の増加。
47	チャボチヂミザサ	イネ	DD			分類学的な検討により、チヂミザサに含める。
48	センダイザサ	イネ	DD			分類学的な検討による。
49	タンガザサ	イネ	DD			分類学的な検討による。
50	シコウザサ	イネ	DD			分類学的な検討による。

除外した種類のリスト

No.	和名	科名	高知県		環境省 2020	変更の理由等
			2010	2000		
51	マキヤマザサ	イネ	DD			分類学的な検討による。
52	アヲノミネザサ	イネ	DD			分類学的な検討による。
53	サイゴクザサ	イネ	DD			分類学的な検討による。
54	チマキザサ	イネ	DD			帰化・逸出と判断した。
55	ミアケザサ	イネ	DD			分類学的な検討による。
56	チトセナンブス	イネ	DD			分類学的な検討による。
57	イストクガワザサ	イネ	DD			分類学的な検討による。
58	トクガワザサ	イネ	DD			分類学的な検討による。
59	イヌアワ	イネ	NT	EN		確認個体数・地点数の増加。
60	シコクフクジュソウ	キンポウゲ	NT		VU	確認個体数・地点数の増加。注目種とする。
61	オオクサボタン	キンポウゲ	VU	VU		確認個体数・地点数の増加。注目種とする。
62	ハイキツネノボタン	キンポウゲ	DD			分類学的な検討により、品種としてキツネノボタンに含める
63	コウヤミズキ	マンサク	DD			証拠とされる標本に問題がある。
64	トサミズキ	マンサク	NT	EN	NT	確認個体数・地点数の増加。注目種とする。
65	ヒロハカツラ	カツラ	DD			文献情報のみで、証拠となる標本がない。
66	ミツバベンケイソウ	ベンケイソウ	VU	VU		確認個体数・地点数の増加。
67	ヒメキンソウ	ベンケイソウ	VU	VU	EN	確認個体数・地点数の増加。注目種とする。
68	オグラノフサモ	アリノトウグサ	DD		VU	証拠とされる標本に問題がある。
69	ヒメフジ	マメ	DD			分類学的な検討により、品種としてナツフジに含める。
70	ズミ	バラ	VU	VU		確認個体数・地点数の増加。
71	アオナシ	バラ	DD	CR	VU	分類学的な検討による。
72	オキナワバイイチゴ	バラ	CR			標本の同定変更による。県内の既知の個体は雑種の可能性。
73	トサンモツケ	バラ	VU	VU		確認個体数・地点数の増加。注目種とする。
74	ササガハヤブマオ	イラクサ	DD			分類学的な検討による。
75	ケナガハヤブマオ	イラクサ	DD			分類学的な検討による。
76	リュウハヤブマオ	イラクサ	DD			分類学的な検討による。
77	アオナラガシフ	フナ	DD			分類学的な検討により、品種としてナラガシフに含める。
78	ジャヤナギ	ヤナギ	DD			帰化・逸出と判断した。
79	カワヤナギ	ヤナギ	VU	VU		帰化・逸出と判断した。
80	ケナシニシキソウ	トウダイグサ	DD			分類学的な検討により、品種としてニシキソウに含める。
81	ミズユキノシタ	アカハサ	NT	NT		確認個体数・地点数の増加。
82	ジャニンジン	アブラナ	CR			分類学的な検討により、ケニンジンと区別しない。
83	ヒカゲミノソバ	タデ	DD			分類学的な検討により、ミノソバに含める。
84	ヒメハマナデシコ	ナデシコ	DD			分類学的な検討による。
85	ヤマゴボウ	ヤマゴボウ	DD			帰化・逸出と判断した。
86	モミジウリノキ	ミズキ	EN	EN		分類学的な検討により、品種としてウリノキに含める。
87	クサレダマ	サクラソウ	DD	CR		分布の誤認。
88	アウシバ	ツツジ	DD	EN		標本の同定変更による。
89	シチョウゲ	アカネ	NT	NT	NT	確認個体数・地点数の増加。注目種とする。
90	シラタマカズラ	アカネ	VU	VU		確認個体数・地点数の増加。
91	ヤマワキオゴケ	キョウチクトウ	EN	CR	VU	分類学的な検討により、クサナギオゴケ(VU)に含める。
92	ケアオダモ	モクセイ	VU	VU		分類学的な検討により、アオダモと区別しない。
93	ケイワタハコ	イワタハコ	DD			標本の同定変更による。
94	カワチシャ	オオハコ	NT	NT	NT	確認個体数・地点数の増加。
95	ヒロードムラサキ	シソ	NT	NT	VU	確認個体数・地点数の増加。注目種とする。
96	イガタツナミ	シソ	CR	CR		分類学的な検討により、シソバツナミと区別しない。
97	ホナガタツナミソウ	シソ	DD	EN		分類学的な検討により、シソバツナミと区別しない。
98	ケミヤマナミキ	シソ	CR		EN	標本の同定変更により、ミヤマナミキ(VU)となった。
99	アサザ	ミツガシフ	DD	CR	NT	帰化・逸出と判断した。
100	オオハヨメナ	キク	VU	NT		確認個体数・地点数の増加。

除外した種類のリスト

No.	和名	科名	高知県		環境省 2020	変更の理由等
			2010	2000		
101	ミヤマヨメナ	キク	NT	EN		確認個体数・地点数の増加。
102	ヤマアザミ	キク	VU	VU		確認個体数・地点数の増加。
103	クサノオウバノギク	キク	VU	VU	VU	確認個体数・地点数の増加。
104	オオツワブキ	キク	DD			分類学的な検討による。
105	カニコウモリ	キク	EN	EN		確認個体数・地点数の増加。
106	ミヤマアキノキリンソウ	キク	DD			分類学的な検討による。
107	ハリブキ	ウコギ	CR			分布の誤認。
108	ホリバナダケ	ゼリ	DD			分類学的な検討により、品種としてノダケに含める。
109	ウバタケニンジン	ゼリ	CR	CR	EN	分布の誤認。
110	ヒナセントウソウ	ゼリ	VU			分類学的な検討により、品種としてセントウソウに含める。

※後述の種類については、除外した種類のリストには載せない。コツブヌマハリイ（→スジヌマハリイ）、ヒメコウホネ及びヒメコウホネ（広義）（→サイコクヒメコウホネ）、セイタカスズムシソウ（→アキタスズムシソウ）、オオキダチハマグルマ（→キダチハマグルマ）は県内で生育が確認されている分類群が変更となり、ヒメサルダヒコはコシロネに、ウスバヘビノネゴザはキリシマヘビノネゴザに、タチゲヒカゲミズはヒカゲミズに含めることとした。コケトウバナ（→ヤクシマトウバナ）、ツクシザクラ（→ツクシヤマザクラ）、ハロフィラ・マヨール（→オオウミヒルモ）、ハロフィラ・ニポニカ（→ヤマトウミヒルモ）、ウスギムヨウラン（→ウスキムヨウラン）は和名を変更した。

注目種リスト

No.	和名	学名	科名	高知県		環境省 2020	選定理由※
				2010	2000		
1	サカワサイシン	<i>Asarum sakawanum</i> var. <i>sakawanum</i>	ウマノスズクサ	NT	VU	VU	②, ③
2	ユキモチソウ	<i>Arisaema sikokianum</i>	サトイモ	NT	VU	VU	③
3	タキユリ	<i>Lilium speciosum</i> var. <i>clivorum</i>	ユリ	NT	VU	VU	③
4	シコクフクジュソウ	<i>Adonis shikokuensis</i>	キンポウゲ	NT		VU	③
5	オオクサボタン	<i>Clematis speciosa</i>	キンポウゲ	VU	VU		②
6	トサミズキ	<i>Corylopsis spicata</i>	マンサク	NT	EN	NT	②
7	ヒメキンソウ	<i>Phedimus sikokianus</i>	ベンケイソウ	VU	VU	EN	③
8	トサシモツケ	<i>Spiraea nipponica</i> var. <i>tosaensis</i>	バラ	VU	VU		②
9	シチョウゲ	<i>Leptodermis pulchella</i>	アカネ	NT	NT	NT	②
10	ヒロードムラサキ	<i>Callicarpa kochiana</i>	シソ	NT	NT	VU	③
11	タイキンギク	<i>Senecio scandens</i>	キク	除外	NT	NT	③

※注目種の選定理由については以下の通り。

- ① 本県にのみ生育している。
- ② 本県の生育地が北限や南限等となっている。
- ③ 本県では普通であるが、全国的には希少である。
- ④ 本県の生育地が他の生育地から地理的に隔離されている。